



ごあいさつ

このたびは、本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機は、大型液晶ディスプレイを装備したデジタル孔版印刷機です。
操作が簡単な「タッチパネル方式」を採用し、各画面では操作に必要なボタンのみが表示されるので、わかりやすく作業がスムーズに進みます。また、ガイダンスに従って操作を進める「対話方式」により、高度なプリント設定も簡単に行うことができます。

この説明書は、本機の基本的操作や応用機能、各種機能の設定方法をはじめ、使用上のご注意、各種消耗品の取り扱いや交換方法、およびトラブルの対処方法などについて詳しく記載しています。

ご使用になる前によくお読みください。また、ご使用中不明な点があるときや、必要なときに本書をお読みいただき、本機とともに末永くお役立てください。



RISO は理想科学工業株式会社の登録商標です。

riso i Quality System™ は理想科学工業株式会社の商標です。



は理想科学工業株式会社の商標です。

この取扱説明書は、RISOソイインクを使用し、理想環境用紙に印刷しています。



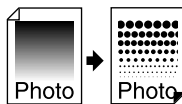
機能一覧

製版、印刷の通常のプリント動作の他に、設定できる機能の一覧です。

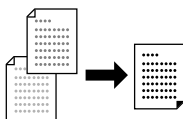
製版時に設定する機能



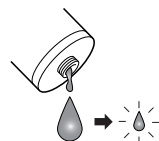
原稿モード(☞ P.42)
原稿の種類に適したモード
を選択できます。



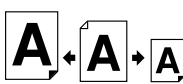
網点(☞ P.49)
写真原稿に網点をかけて鮮明
にプリントします。



読取濃度(☞ P.43)
原稿を読み取る濃度を選択
できます。



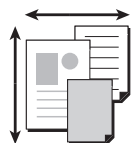
省インク(☞ P.50)
インクを節約してプリント
します。



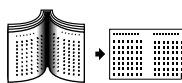
変倍設定(☞ P.44)
原稿を拡大／縮小して
プリントします。



連写(☞ P.51)
1枚の用紙に2面取りして
プリントします。



**用紙サイズ
(☞ P.47)**
印刷用紙が不定形のと
き、用紙
サイズを設定します。

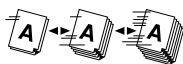


ブックモード(☞ P.55)
雑誌や本のとじ部分の影を
消去してプリントします。



連続(☞ P.48)
製版から印刷までの動作を
自動的に連続して行います。

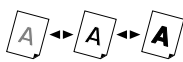
印刷時に設定する機能



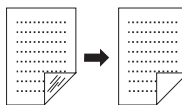
印刷速度(☞ P.58)
印刷速度を調節できます。



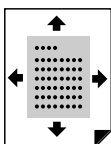
試し刷り(☞ P.62)
印刷の仕上がりを確認します。



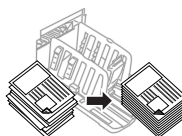
印刷濃度(☞ P.59)
印刷濃度を調節できます。



**インターバル印刷
(☞ P.63)**
印刷の裏移りを防ぎます。

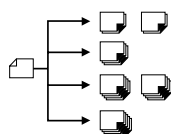


印刷位置(☞ P.60)
印刷位置を調整できます。



**排紙ウイング特殊
(☞ P.64)**
特殊な用紙を使用する場合、
設定します。

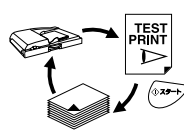
その他の機能



製版

プログラム(☛ P.66)

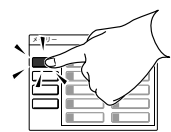
指定した枚数にグループ分けしてプリントします。



製版

AFオート製版(☛ P.89)

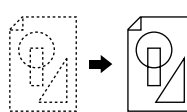
自動原稿送り装置にセットされた原稿を、自動的に製版し、試し刷りします。



製版 印刷

メモリー(☛ P.76)

プリント時に行った各種の設定を登録します。



製版

再製版(☛ P.87)

最後に製版したマスターのデータを利用して製版しなおします。



印刷

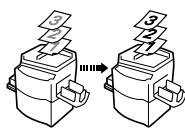
占有延長(☛ P.84)

パソコンからのデータ出力指示による使用中マスターの喪失や、各種設定値のクリアを防止します。



環境設定(☛ P.91)

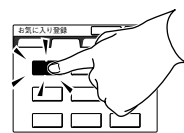
使用状況に合わせて、各種設定の初期値を変更します。



製版

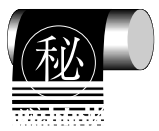
アイドリング(☛ P.85)

長時間使用していなかったときに、刷り始めのかすれを防止します。



POP/お気に入り(☛ P.97)

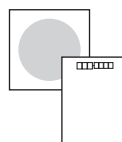
よく使う機能をPOPやお気に入りに登録すると、ワンタッチで呼び出すことができます。



印刷

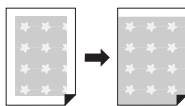
機密(☛ P.86)

機密書類の複製を防止します。



用紙サイズ登録(☛ P.101)

定形外サイズの用紙を使用してプリントできるように登録します。



製版

フルサイズ製版(☛ P.88)

用紙サイズに関わらず、最大印刷範囲で製版を行います。

製版 ……製版モードのPOP/お気に入りに登録すると便利です

印刷 ……印刷モードのPOP/お気に入りに登録すると便利です

参考

連携機PrioA (別売) を接続すると、次の機能が設定できます。

連携機情報の設定(☛ P.107)

連携機や装着しているオプション機能を使用できるように設定を変更します。

連携機のオプション機能(☛ P.114)

連携機や装着しているオプション機能を使用するときの各種設定を行います。

目次

2	機能一覧	57	印刷するときに設定する機能
6	文中の表記について	58	印刷速度を変える【印刷速度調節】
7	安全上のご注意	59	印刷濃度を変える【印刷濃度調節】
9	ご使用の前に	60	印刷位置を調整する【印刷位置調整】
14	各部の名称とはたらき	62	試し刷りをする【試し刷り】
18	ディスプレイ	63	裏移りを防ぐ【インターバル印刷】
22	プリントの流れ	64	特別な設定で排紙を行う【排紙ウイング特殊】
25	基本操作	65	その他の機能
26	プリント前の準備	66	グループに分けてプリントする【プログラム】
26	給紙台と用紙のセット	68	プログラムの設定
28	排紙台のセット	70	プログラムの登録
30	紙原稿をプリントする	71	プログラムの名称入力
35	パソコンデータをプリントする【ダイレクトプリント】	73	プログラムの消去
39	出力指示の変更	74	プログラムの呼び出し
40	本機での停止タイミングの変更	75	プログラムの設定内容の変更
41	製版するときに設定する機能	76	メモリー機能を使う【メモリー】
42	原稿に適したモードを選択する【原稿モード】	77	メモリーの登録
43	原稿の読取濃度を選択する【読取濃度】	78	メモリーの名称入力
44	原稿を拡大／縮小する【固定変倍】	80	メモリーを呼び出してプリントする
45	固定倍率の拡大／縮小【固定変倍】【周囲余白】	82	メモリーの消去
46	ズームでの拡大／縮小【ズーム変倍】	84	占有時間を延長する【占有延長】
47	不定形用紙に印刷する【用紙サイズ】	85	アイドリングをする【アイドリング】
48	続けてプリントする【連続】	86	機密書類の複製を防止する【機密】
49	写真に網点をかける【網点】	87	再製版する【再製版】
50	インクを節約する【省インク】	88	最大印刷範囲で製版する【フルサイズ製版】
51	1枚の用紙に2面取りする【かんたん連写】【2原稿連写】	89	試し刷りを確認しながらプリントする【AFオート製版】
52	連写を使用するときの注意	91	初期設定を変更する【環境設定】
53	操作のしかた	91	設定可能な項目一覧
55	雑誌や本をプリントする【ブックモード】	95	初期設定の変更
		97	POP／お気に入りの設定【POP】【お気に入り】
		101	不定形の用紙を登録する【用紙サイズ登録】
		101	用紙サイズの登録と名称変更
		104	登録した用紙サイズの消去

105 連携機（別売品）を接続して使う

- 106 連携機を使用したプリント機能について
- 107 連携機を使うための準備
[RLP 情報設定]
 - 107 連携機情報の設定一覧
 - 110 連携機情報の設定
- 111 紙原稿を読み取り連携機から出力する
[RLP モード]
- 114 連携機のオプション機能を使用する
 - 115 設定可能な項目一覧
- 118 両面印刷のしかた [両面]

121 消耗品の交換

- 122 消耗品の残量を確認する
- 123 マスター交換のしかた
- 126 インクボトル交換のしかた
- 128 排版ボックスのマスターの処理
- 129 ドラムのセット（交換）
 - 129 ドラムの取り出ししかた
 - 130 ドラムのセットのしかた
- 132 使用済み消耗品の回収・廃棄について

133 お手入れについて

- 134 クリーナーについて
- 135 お手入れのしかた

139 こんなときには

- 140 こんなメッセージが表示されたら
 - 140 エラーメッセージの見かた
 - 148 ワーニングメッセージ（ウインドウ表示）の見かた
 - 154 消耗品情報入力画面が表示されたら
- 157 「故障？」と思ったとき

165 付録

- 166 消耗品について
- 167 オプションについて
- 168 仕様
- 170 索引

文中の表記について

本書では本文中の表記を次のように行っています。

■ 注意事項等の表記について

全ページ通して、注意事項などは次のようなマークで統一して表しています。



気をつけていただきたいことや禁止事項などを記載しています。
よく読んで指示に従ってください。



参照ページを示しています。



原稿を表しています。



本機をご利用いただく上で、知っておくことになる情報や便利な情報を記載しています。



ディスプレイ上のボタンにタッチすることを表しています。



印刷物を表しています。

「⚠警告」および「⚠注意」についてはP.7をご覧ください。

■ 操作説明や機能説明の表記について

機能や操作説明は、次のような表記で行っています。

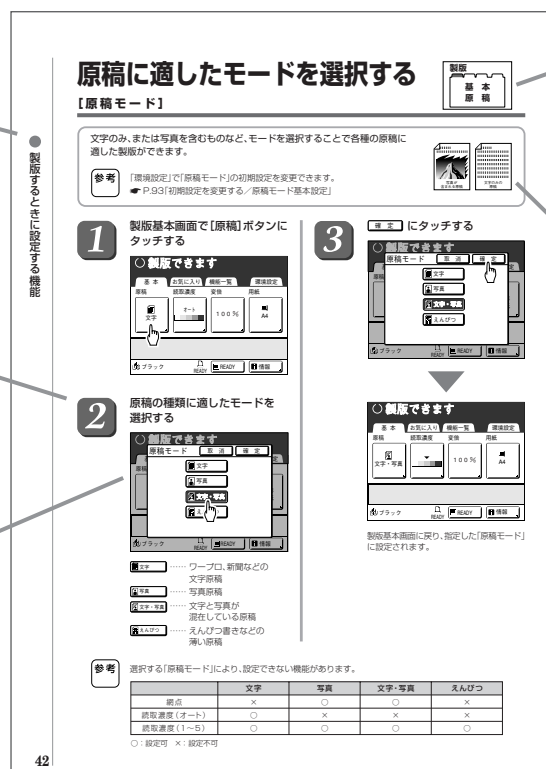
章タイトル

操作手順

操作手順をステップで説明しています。このステップにそって操作を行います。

ディスプレイ

各ステップで説明している操作を行う画面を表示しています。



操作パターン表示

このページで説明している機能の操作を行う場所（操作パネル上のキー、またはディスプレイ）を示しています。

イメージイラスト

このページで説明している機能を、イラストで表しています。

■ 本書で使用している用語について

製版 原稿を読み取ってマスターを作成する動作
印刷 製版されたマスターを使用して用紙に印刷する動作
プリント 製版から印刷までの動作

押す 操作パネルのキーを押すとき
タッチする ディスプレイ（液晶パネル）のボタンを押すとき
ジョブ 出力可能な状態となった原稿データ
初期設定 電源を「ON」にしたときの設定値（各画面に表示される値）

■ 本書の記載内容・使用しているイラストについて

ディスプレイのイラストは、初期設定では表示されていないボタンや、オプションを装着した場合にのみ表示されるボタンも、表示している状態で記載しています。

安全上のご注意

本機を設置する場所や電源に関する注意など、ご使用前に必ず知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。

警告表示について

本機を正しくお使いいただき人体への危害や財産への損害を未然に防止するため、次のような警告表示を使用しています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

設置場所について

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

電源の接続について

⚠ 警告

- 電源90～100Vの範囲内で、電流8A以上の電源をご使用ください。火災、感電のおそれがあります。
- 分岐コンセントのご使用、タコ足配線はおやめください。延長コードが必要なときは125V/8A以上の規格のケーブルを使用し、5m以上延長しないようにしてください。火災、感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



⚠ 注意

- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください(必ずプラグを持って抜いてください)。コードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。

- 連休などで長期間、本機をご使用にならない場合は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

アースの接続について

⚠ 警告

- アース線を必ず接続してください。アースの接続は、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
アース接続しないで万一、漏電した場合は、火災や感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご相談ください。
- 次のようなところには絶対にアース線を取り付けしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 - ・ ガス管
 - ・ 電話専用アース線
 - ・ 避雷針
 - ・ 途中がプラスチックになっている水道管や蛇口
- アース線は次の場所に取り付けてください。
 - ・ 電源コンセントのアース端子
 - ・ 銅片などを、65cm以上地中に埋めたもの
 - ・ 接地工事(第1種～第3種)が行われている接地端子
 - ・ 水道局がアースの対象物として承認した水道管



安全上のご注意

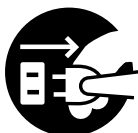
取り扱いについて

⚠ 警告

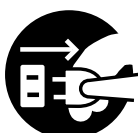
- 本機の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
- 本機のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としこんだりしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本機のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- 本機を分解したり改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。



- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。



- 万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



⚠ 注意

- 給紙台や排紙台回りのすきまには、絶対に指などを差し込まないでください。けがの原因となることがあります。
- ドラム周辺や、ドラムユニットを外した本体内部にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないようにご注意ください。手などにインクが付いた場合は、早めに洗剤で洗い落とすようにしてください。
- 本体内部に手を入れて用紙を取り除く際には、分離爪に触れないように注意してください。分離爪の先端は鋭利になっているので、けがの原因となることがあります。
- ドラムは垂直に立てないでください。床などを汚すことがあります。

- クリーニングに使うクリーナーは事務機専用です。顔や手など人体に付いた汚れには使用しないでください。クリーナー使用後は必ず手を洗ってください。
- 本機を移動する場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。無理に移動させると、機械が転倒して、けがの原因となることがあります。

インクについて

⚠ 注意

- 目に入った場合は、速やかに多量の水でよく洗い流してください。
- 皮膚に付いた場合は、せっけんなどでよく洗ってください。
- 誤って飲み込んだ場合は、吐かせずに多量の水（または牛乳）を飲ませ、様子をみてください。
- 万一、異常を感じた場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- 印刷中は十分な換気を行ってください。
- 印刷以外の用途には使用しないでください。
- 小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。

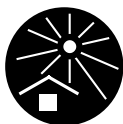
ご使用の前に

本機をご使用になる際に気をつけていただきたいことや、ご使用前に必ず知っておいていただきたいことを記載しています。

設置上の注意

設置場所について

- 本機の設置場所につきましては、納入時にお客様とご相談のうえ決定させていただきます。
- 本機は設置場所を固定することになっています。本機を移動するときは、販売会社(あるいは保守・サービス会社)に連絡してください。
- 次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障、事故の原因となる場合があります。
 - ・ 直射日光のあたる場所や窓際などの明るい場所(やむをえない場合は、窓にカーテンなどを付けてください)
 - ・ 温度が急激に変化する場所
 - ・ 高温多湿、低温少湿の場所
 - ・ 火気・熱気のある場所、クーラー等の冷風、ストーブ等の温風、ふく射熱などが直接あたる場所
 - ・ 通気性、換気性の悪い場所



使用環境について

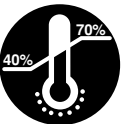
- 本機が水平に設置できる場所を選んでください。(設置の水平度:前後10mm以下、左右10mm以下)



- 適正環境は次のとおりです。
温度範囲: 15℃～30℃

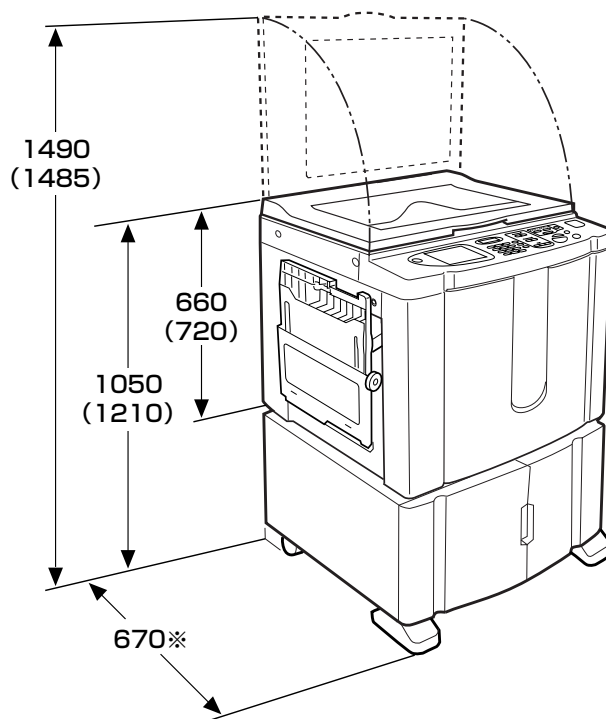


湿度範囲: 40%～70%
(結露しないこと)

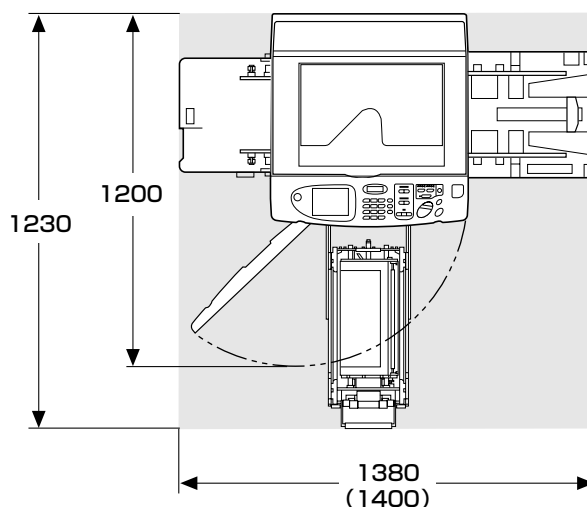


専有面積について

本機は給紙台、排紙台を広げたり、ドラムを引き出す場所を必要とするため、以下のスペースが必要です。



上から見た図



単位:mm

()内は自動原稿送り装置(オプション)装着時

※本体奥行きサイズには架台の補助足を含んでいます。

ご使用の前に

接続上の注意

電源の接続について

- 電源プラグ部の接触不良がないように、プラグはコンセントに確実に接続してください。
- 本機はコンセントの近くに設置してください。
- 本機には、電源を「ON」にしたまま、一定時間使用しないときに、自動的に消費電力を下げる、または電源を「OFF」にして電力を節約する「省エネモード」機能および、決まった時間に本機の電源を「OFF」にする「シャットOFF」機能が搭載されています。
 - ☛ P.93「初期設定を変更する／省エネモード」
 - ☛ P.93「初期設定を変更する／シャットOFF時刻」

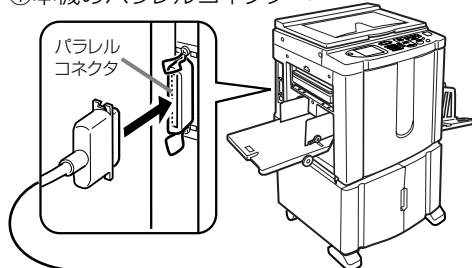


パソコンとの接続について

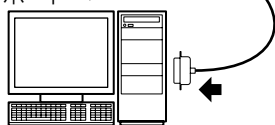
本機をパソコン(Windows-PC)と接続して、パソコンで作成した原稿データを直接本機でプリントできます。

市販の平行ケーブル(IEEE1284準拠品)で、本機とパソコンを接続してください。

①本機の平行コネクタへ



②パソコンの平行ポートへ



重要

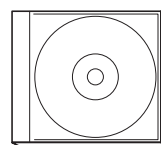
接続するときはパソコンと本機の電源を切ってください。

参考

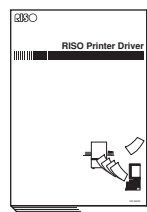
- 平行コネクタの入力／出力の最大許容電圧は5Vです。
- 次のときには、オプションのネットワークインターフェース(RISORINC-NET)と市販のイーサネットケーブル(10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したシールドケーブル)が必要です。詳細については、「RISORINC-NET取扱説明書」を参照してください。
 - ・ パソコンとネットワーク接続する
 - ・ Macintoshと接続する

ソフトウェアについて

同梱のCD-ROMには次のソフトウェアを収録しています。初めてプリントを行うときにはインストールが必要です。



CD-ROM



取扱説明書

RISO Printer Driver

パソコンから原稿データを送信してプリントするためのプリンタドライバです。

インストール方法についてはRISO Printer Driver取扱説明書」を参照してください。

参考

RISORINC-NET(オプション)

本機をネットワークプリンタとしてWindowsまたはMacintosh/パソコンから使用するためには、ネットワークインターフェース(RISORINC-NET)が必要です。

RISORINC-NETをインストールすると、パソコンから本機の状態を確認できるモニタリング機能を利用できます。

ご使用上の注意

操作について

- 動作中に電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。
- 動作中にカバーを開けたり、機械を移動させたりしないでください。
- カバー類の開閉は静かに行ってください。
- 機械の上に重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。

取り扱いについて

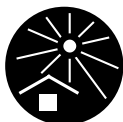
- 機械内部には精密部品および駆動機構部がありますので、取扱説明書に書かれていること以外は行わないでください。
- 機械を移動するときは、販売会社(あるいは保守・サービス会社)に連絡してください。
- 日本国外へ移動した場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。

消耗品などの保管について

用紙、マスター、インクなどの消耗品やドラムは正しく保管してください。

次のような場所での保管は、おやめください。

- ・ 直射日光のあたる場所や窓際などの明るい場所（やむをえない場合は、窓にカーテンなどを付けてください）
- ・ 温度が急激に変化する場所
- ・ 高温多湿、低温少湿の場所

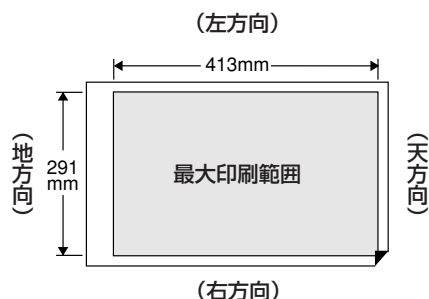


印刷範囲について

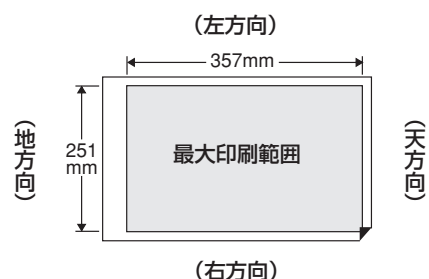
最大印刷範囲

本機で印刷可能な範囲(最大印刷範囲)は次のとおりです。

RZ570:291mm×413mm



RZ530:251mm×357mm

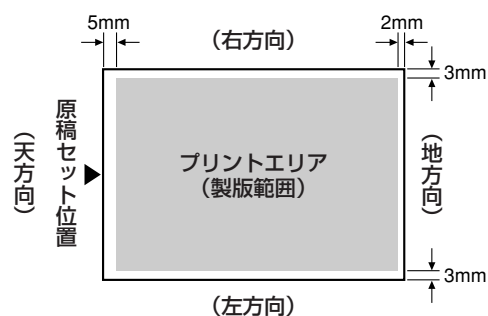


重要

最大サイズ(297mm×420mm)の用紙、あるいは長尺(天地方向421mm～555mmまで)用紙を使用したときでも、上記の最大印刷範囲内に印刷されます。

プリントエリア(製版可能範囲)について

原稿のサイズにかかわらず、給紙台にセットした用紙サイズで、プリントエリア(製版範囲)が決まります。プリントエリアは、印刷用紙サイズに対して、下図の余白を除いた範囲です。原稿は、あらかじめこの余白を考慮して作成してください。



A4(297mm×210mm)サイズの印刷用紙(縦方向セット)の場合、プリントエリアのサイズは290mm×204mmになります。

パソコンから原稿データを送信して印刷する場合もプリントエリアは同様です。

参考

- 周囲に余白のない原稿をプリントするときば周囲余白(縮小)を利用すると便利です。
☞ P.45「固定倍率の拡大／縮小」
- 印刷用紙のサイズに関係なく、最大印刷範囲で製版することができます。
☞ P.88「最大印刷範囲で製版する」

ご使用の前に

印刷用紙に関する注意

印刷に使用できる用紙について

印刷用紙はなるべく専用の用紙をご使用ください。
機械の性能やインクの特性を十分に活かす「理想用紙」の
使用をおすすめします。

☛ P.166「消耗品について」

本機仕様で定められている範囲を超える用紙をご利用い
ただく場合は、その紙に対しての通紙および印刷に関し
ては製品保証対象外となります。

■ サイズ



参考

本機は「用紙サイズ登録」を設定することによ
り、天地555mmまでの長尺用紙を使用(通紙)
できます。

- ☛ P.103「奉書(長尺の用紙)にプリントするときは」
- ☛ P.101「不定形の用紙を登録する」

■ 重さ

46~210g/m²

(40kg連量:四六判~180kg連量:四六判)

重要

- 本機仕様内の「用紙サイズ」および「用紙重
量」であっても、紙質・環境・保管状態等
により通紙できない場合があります。あらか
じめ、ご了承ください。詳しくは、お買い上
げの販売会社(あるいは、保守・サービス会
社)にご相談ください。
- 不適切な印刷用紙の使用は、紙詰まりや
故障、印刷品質の低下の原因になることが
ありますので注意してください。
- 給紙フェンスや排紙フェンス、ストッパー
は、必ず印刷用紙のサイズに合わせてセッ
トしてください。
☛ P.26「プリント前の準備」
- 画用紙などの厚紙や滑りやすい紙を使用す
るときは、給紙圧調節レバーや排紙台の紙揃
えプレートを調節してください。
☛ P.26「給紙台と用紙のセット」
- 裁断が悪い紙や表面が粗い紙(画用紙など)
は、よくさばいてから使用してください。
- 横目の用紙は紙詰まりの原因になる場合が
ありますので、用紙は縦目のものを使用し
てください。

- 使用する紙によっては機械の使用時に紙粉
が発生することがあります。清掃、換気を充
分に行うように心がけてください。

用紙の保管について

用紙は湿気の少ない場所に保管してくださ
い。湿気を含んだ用紙は、紙詰まりや印刷品質
の低下の原因になります。



印刷に適さない用紙について

次のような用紙は、紙詰まりなどの原因となりますので
使用しないでください。

- 紙厚の薄い用紙(46g/m²(40kg連量:四六判)未満)
- 紙厚の厚い用紙(210g/m²(180kg連量:四六判)を
超えるもの)
- 感熱紙、表カーボン紙等、化学処理した用紙
- しわ、カール、折り曲がり、破損(破れ)などの激しい
用紙
- 表または裏がコーティングされている用紙
- 先端がギザギザになっている用紙
- アート紙
- 糊付け、穴あけがある用紙

原稿に関する注意

重要

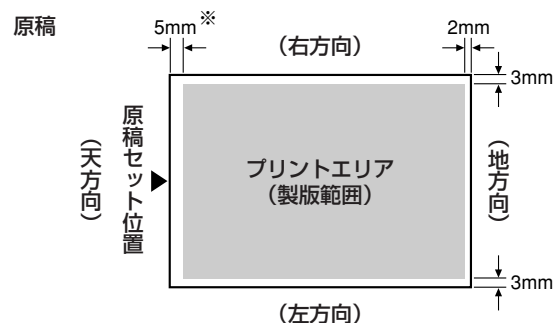
不適切な原稿の使用は、紙詰まりや印刷品質の
低下の原因になることがありますので注意し
てください。

原稿の余白について

原稿の天方向には、必ず5mm以上の余白を取ってくだ
さい。

原稿と同じサイズの用紙に等倍で印刷するときには、
原稿の天地左右すべてに余白が必要です。

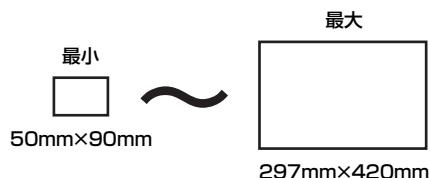
等倍でのプリントの際に必要な余白



※ 等倍／縮小／拡大に関係なく、天方向には5mm以上の
余白が必要です。

原稿台ガラスへセットする場合

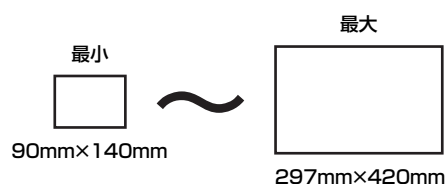
- 原稿サイズ



- 原稿面を下向きにセットします。
- 10kg以上の重さの原稿は、使用できません。
- しわ、カール、折れ曲がりの激しい原稿は、よく伸ばして原稿台ガラスから浮かないようにセットしてください。浮いている部分が黒くプリントされることがあります。
- インクや修正液を使用した原稿は、よく乾かしてからセットしてください。原稿台ガラスが汚れ、きれいに印刷できなくなります。

自動原稿送り装置(オプション)へセットする場合

- 原稿サイズ



- 原稿面を下向きにセットします。
- 原稿(用紙)の重さ: 50g/m²~110g/m²
(43kg連量: 四六判~94.6kg連量: 四六判)
- サイズの異なる原稿を混ぜてセットしないでください。
- 一度にセットできる原稿は約50枚までです。
(64g/m²(55kg連量: 四六判)以下の原稿使用時)
- 次の原稿は自動原稿送り装置では使用できません。
原稿台ガラスにセットしてください。
 - ・ 切り張りされたもの
 - ・ しわ、カール、折れ曲がりが激しいもの
 - ・ 糊付け、穴あけがあるもの
 - ・ 破れていたり、先端がギザギザなもの
 - ・ 感熱紙、カーボン紙等化学処理されたもの
 - ・ OHPフィルム、トレーシングペーパーなど透視度が高いもの
 - ・ 修正液、糊などを使用しているもの
 - ・ 紙厚の薄い原稿(50g/m²未満)
 - ・ 紙厚の厚い原稿(110g/m²以上)
 - ・ アート紙、コート紙などの表面が滑りやすいもの
 - ・ 2枚以上重ねたもの、またはクリップやホチキスでとじてあるもの
 - ・ キャリアシート(別売)

印刷に関する注意

個人が利用する場合でも、自由に何でも複写してよいというわけではありません。

特に、単にその印刷物を所有しているだけでも、法律的に罰せられる種類の印刷物がありますので、十分ご注意ください。

法律で印刷を禁止されているもの

次の文書は、法律で印刷を禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
(たとえ「見本」の印があっても複写することは禁じられています)
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用郵便切手、郵便はがきの類で、政府の模造許可をとっていない場合
- 政府発行の印紙、酒税法などで規定されている証紙類

参考

関係法律

- 通貨及び証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法



営利目的での印刷を禁止されているもの

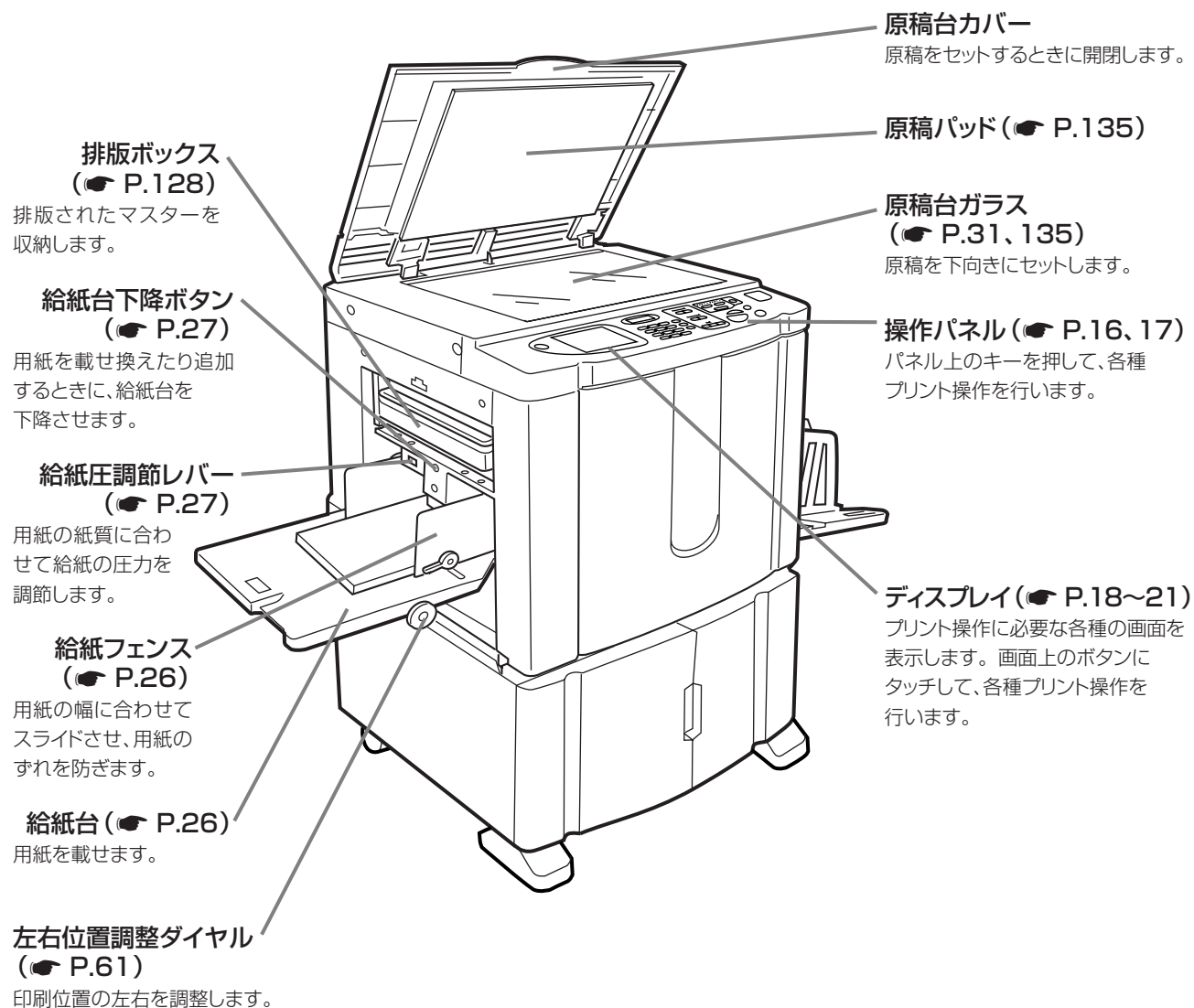
次のような複写は、おやめください。

- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などの、事業会社が業務に使用する最低必要部数以外の複写
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類の複写
- 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、写真など著作権の対象となっているものの複写(個人的または家庭内、あるいはこれに準ずる限られた範囲内で使用する場合以外、複写することを禁じられています。)

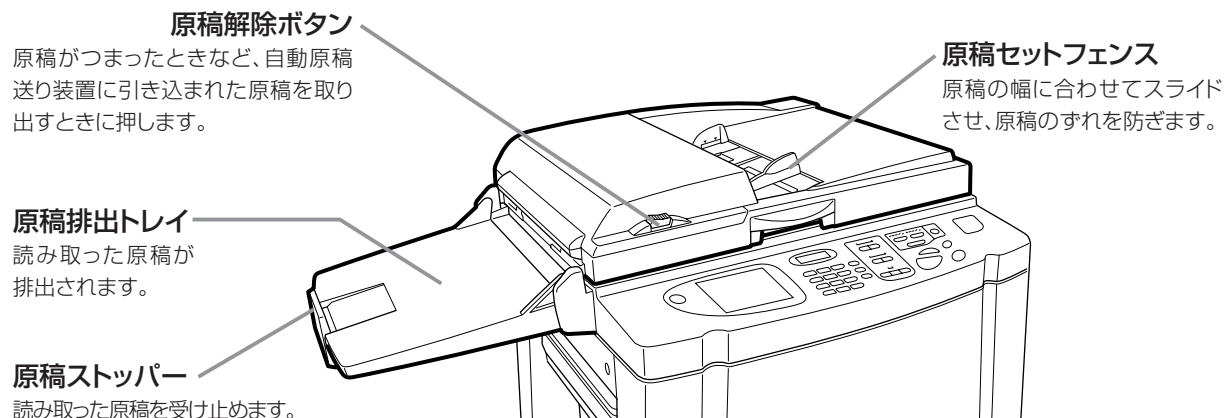


各部の名称とはたらき

給紙側



自動原稿送り装置 (オプション)



排紙側

インクキャップ留め (☛ P.127)

インクボトルのキャップを留めておくことができます。

前カバー

ドラム (☛ P.129)

インクボトル (☛ P.126)

ドラムレバー (☛ P.129)

レバーを握ってドラムを引き出します。

ドラムOK ボタン (☛ P.129)

ボタン点灯時にドラムを引き出せます。消えているときは、ボタンを押して点灯させてから引き出してください。

カウンター

印刷枚数をカウントするトータルカウンターと、製版回数をカウントするマスターカウンターがあります。

製版ユニットレバー (☛ P.123)

レバーを握って製版ユニットを引き出します。

製版ユニットOK ボタン (☛ P.123)

ボタン点灯時に製版ユニットを引き出せます。消えているときは、ボタンを押して点灯させてから引き出してください。

製版ユニット (☛ P.123) 下欄参照

排紙ウイング (☛ P.64)

印刷された用紙の紙揃えがよくなるように自動的に調整されます。

紙揃えプレートノブ (☛ P.29)

ノブを押すと紙揃えプレートが出ます。印刷された用紙の紙揃えをよくします。

排紙フェンス (☛ P.28)

フェンスをスライドさせて、用紙のサイズにあわせます。

ストッパー (☛ P.28)

スライドさせて、用紙のサイズにあわせます。

排紙台 (☛ P.28)

印刷された用紙が排出されます。

電源スイッチ (☛ P.26)

電源のON/OFFを切り替えます。

スタビライザー (補助足)

製版ユニット引き出し時

製版ユニットカバー (☛ P.124)

マスターをセットするときに開閉します。

マスターガイド (☛ P.125)

サーマルヘッド (☛ P.135)

マスターを製版します。

マスターロールストッパー (☛ P.124)

セットしたマスターを固定します。

マスター (☛ P.123)

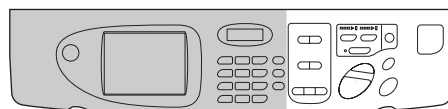
各部の名称とはたらき

操作パネル

操作パネルは や などの実装キーおよび、各種のメッセージや機能ボタンなどを表示する大型ディスプレイで構成されています。

ここでは各実装キーの名称とはたらき、ディスプレイ各部の名称について説明しています。

操作パネル左側部分



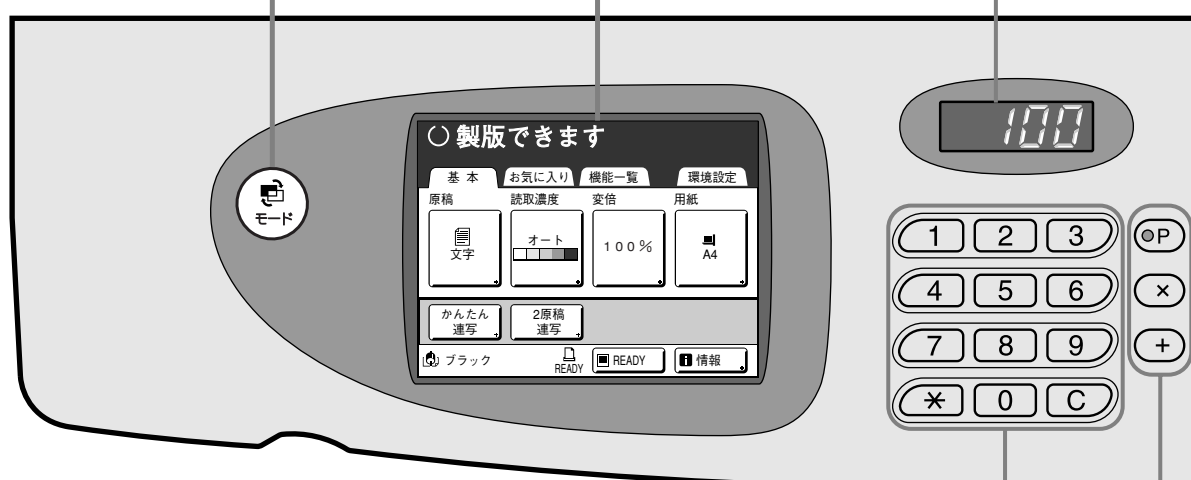
モードキー (P.18)

モードを切り替えるときに押します。
画面の切り替わり方は設定によって異なります。

ディスプレイ (P.18～21)

枚数カウンター

印刷枚数や各種設定で入力した数値を表示します。



～

テンキー

印刷枚数や、各種設定で数値を入力するときに、使用します。

＊キー (P.68、76)

設定画面での項目間の移動や、メモリーの呼び出しなどに使用します。

Cキー

入力した数値を取り消したり、枚数カウンターを0に戻すときに使用します。

プログラムキー (P.68)

プログラムを呼び出すときに使用します。
設定時には、キー上のランプが点灯します。

×キー (P.68)

設定画面での項目間の移動や、プログラム印刷設定時などに使用します。

+キー (P.68)

設定画面での項目間の移動や、プログラム印刷設定時などに使用します。



印刷

印刷ができる状態にします。

設定時には、キー左部のランプが点灯します。

点灯／点滅位置により、現在のモードと
プリントの進捗状況がわかります。(下欄参照)

The control panel features three main buttons, each with a scale from 1 to 5 and left/right arrow buttons:

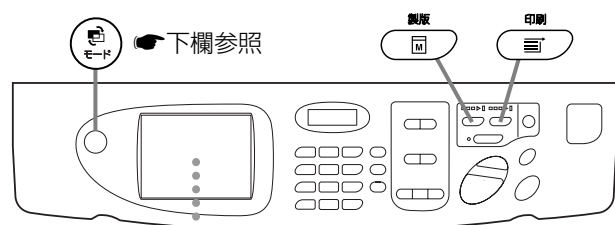
- 速度 (Speed):** The top button, with a speedometer icon. The scale ranges from 1 to 5, with 'おそく' (slow) on the left and 'はやく' (fast) on the right.
- 温度 (Temperature):** The middle button, with a thermometer icon. The scale ranges from 1 to 5, with 'うすく' (thin) on the left and 'こく' (thick) on the right.
- 印刷位置 (Print Position):** The bottom button, with a printer icon. The scale ranges from 1 to 5, with '-' (left) on the left and '+' (right) on the right.

ストップキー
 実行中の動作を
 中止します。
 ただし、製版動作中
 は製版終了後に停止
 します。

印刷可能

ディスプレイ

画面の移り変わり



起動画面



電源を入れると起動画面の表示後、初期画面が表示されます。

参考

初期画面の設定

[環境設定] 画面で **初期画面設定** を選択してください。



モード選択画面

モードを選択してください

RISO RZ570



製版

印刷

連携機 (別売) を接続しているとき

モードを選択してください

RISO RZ570



製版

印刷



Prloa

RLP出力

初期画面を
**モード
選択画面**
に設定して
いるとき

初期画面を **製版/印刷** に設定しているとき

初期画面を **RLP** に設定しているとき

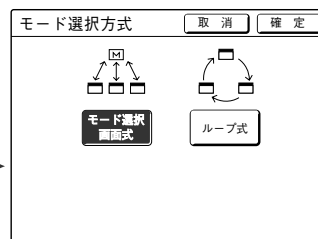
●連携機 (別売) と接続しているときに設定できます。

参考

キーについて

キーのはたらきを「モード選択画面式」と「ループ式」のいずれかに設定することができます。

[環境設定] 画面で **モード選択方式** を選んでください。



を押すと基本画面やサブ画面からモード選択画面に戻ります。

下欄参照

基本画面

製版基本画面

○製版できます

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
原稿 文字	読取濃度 オート	変倍 100%	用紙 A4

ブラック READY READY 情報

印刷基本画面

○印刷できます

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
印刷位置 0.0mm			用紙 A4

ブラック READY READY 情報

RLP基本画面

○Prioαへ出力できます α

Prioα01 READY

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
原稿 文字	読取濃度 オート	変倍 100%	用紙 A4

その他のタブ画面

お気に入り画面

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
メモリー	機密		
2原稿連写	ブックモード		
プログラム	インターバル印刷		

ワンタッチで機能を設定したり、設定画面を呼び出すことができます。

機能一覧画面

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
プログラム	連続連写		
メモリー	2原稿連写		
網点	ブックモード		
省インク	フルサイズ製版		

P.1/3

各種機能の設定を行います。

環境設定画面

環境設定

○製版できます

環境設定に入ると、現在設定中の各種プリント機能設定はリセットされます

環境設定

すべて POP登録

表示設定 お気に入り登録

基本設定 初期画面設定 =モード選択画面

システム モード選択方式 =選択画面式

RLP 起動アニメ選択 =RISOロゴ

P.1/7

各種機能の初期値を変更します。

モード選択画面式

を押すと基本画面やサブ画面からモード選択画面に戻ります。

ループ式

を押すたびに次のように画面が切り替わります。

- 通常の場合:「製版基本画面」↔「印刷基本画面」
- 連携機を接続している場合:「RLP基本画面」↔「製版／印刷基本画面」

ディスプレイ

基本画面の見かた

基本画面の各エリアの名称と、はたらきを説明します。基本画面は本機に原稿をセットしてプリントする場合とパソコンからの原稿データを受信してプリントする場合で表示が異なります。

■ 紙原稿をプリントする場合

タブエリア
各タブにタッチすると、選択したタブの画面が表示されます。

基本機能エリア
製版／印刷時に設定できる基本機能が表示されています。各ボタンには、現在設定されている内容が表示されます。ボタンにタッチすると設定変更画面が表示されます。

POPエリア
あらかじめ登録することで、4つまでのボタンを表示させることができます。よく使う機能を表示しておく便利です。登録は「環境設定」で行います。
☛ P.97「POP／お気に入りの設定」

○ 製版できます

基本 お気に入り 機能一覧 環境設定

原稿 読取濃度 変倍 用紙

文字 オート 100% A4

かんたん 2原稿 連続 連続

ブラック READY READY 情報

ステータスエリア
本機および連携機（別売）の現在の状態を表示しています。

：セットしているドラムの色を示しています。

：連携機の現在の状態を示しています。（連携機が、環境設定で登録されているときのみ表示されます。）

…… ネットワークなどのエラーが発生しています

…… 連携機情報を取得できません

…… 出力できます

：パソコンから送信された原稿データの状態を示しています。タッチすると、受信中の原稿データリストを確認できます。
☛ P.37「受信ジョブ画面について」

…… 受信待ち
 …… プリントするための処理を行っています
 …… 出力待ち
 …… 受信中にエラーが発生しています
 …… 受信できません

：タッチすると 情報（消耗品情報、ドラム情報、日付・時刻）が確認できます。
☛ P.122「（ 情報ボタン）について」

ディスプレイ上のボタンについて

ディスプレイ上のボタンは、軽く指で触れる（タッチする）ことにより選択されます。再度触れると選択が解除されます。ボタンは決して強く押さないでください。

文字 選択されていない状態。

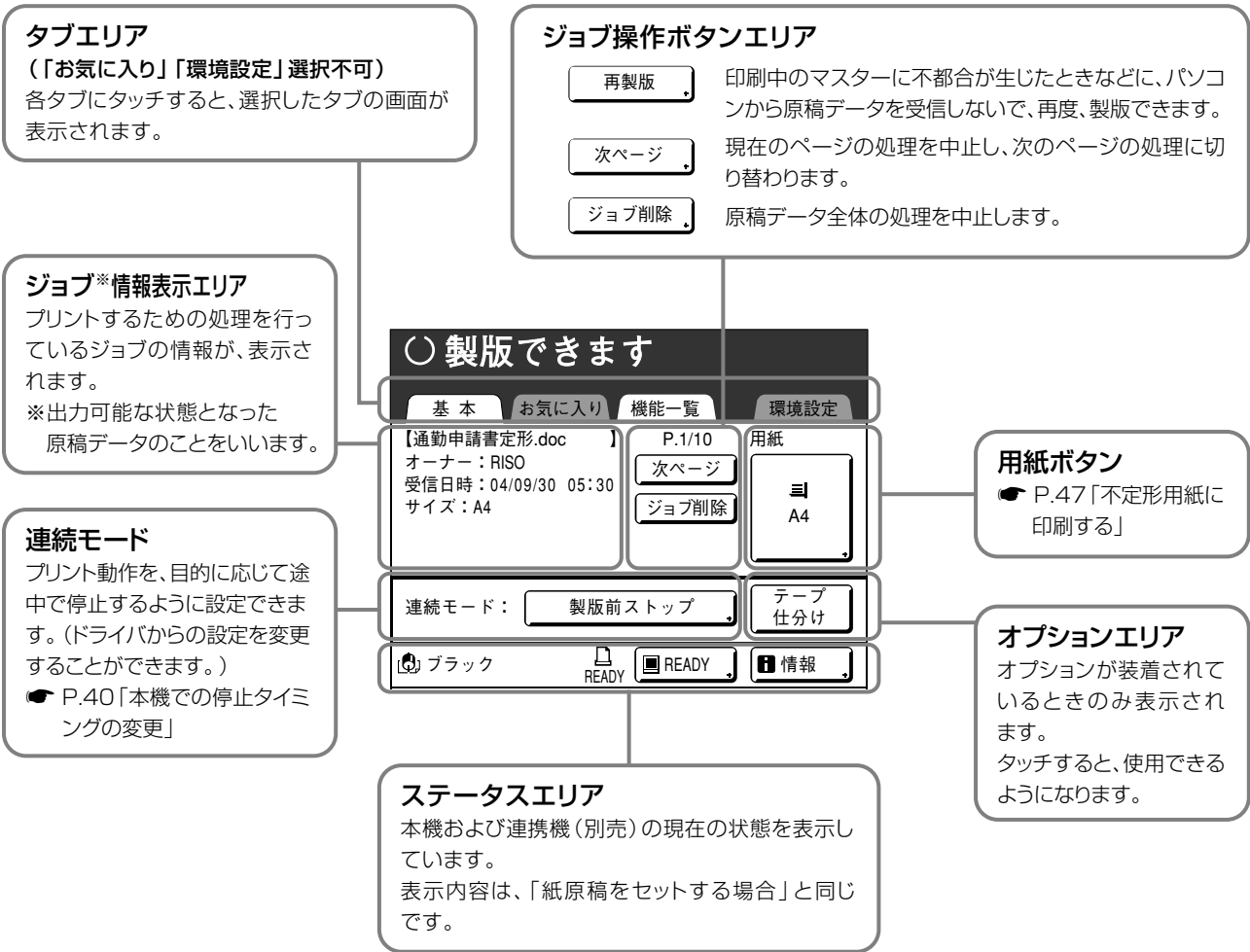
文字 選択されている状態。

変更を上書き ボタンがグレー表示されているときは、選択できません。

登録／呼び出し 右側に + 表示があるボタンは、選択すると展開したり、各種設定画面を表示します。

その他の画面については該当する機能や設定項目のページを参照してください。

■ パソコンの原稿データをプリントする場合



参考

使用環境により「環境設定」が設定できない(「環境設定」が表示されていない)場合があります。
詳しくはお買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にお問い合わせください。

よく使うボタン

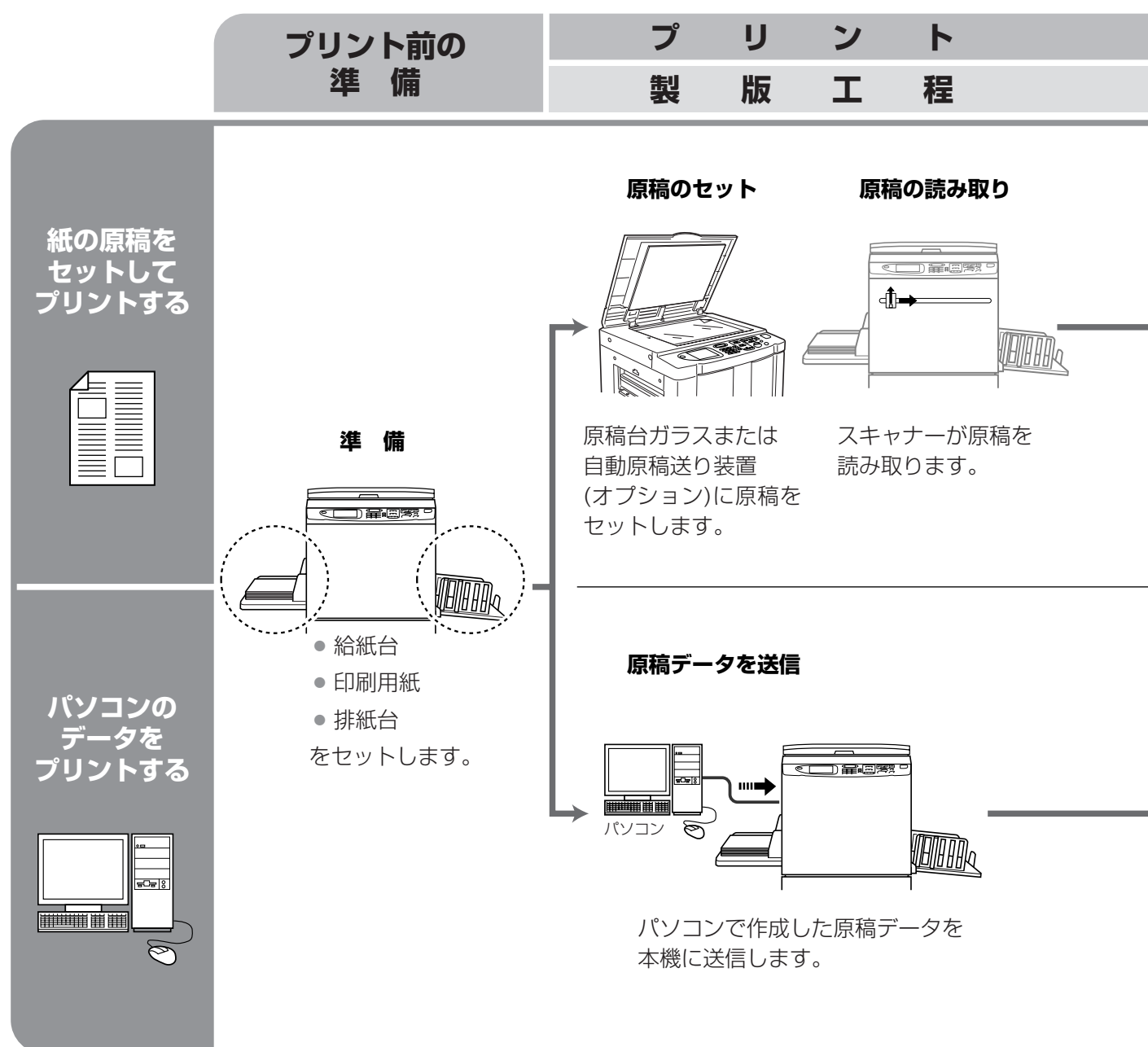
- 確定** **実行** 各種設定を実行します。
- 取消** 各種設定を取り消します。
- 閉じる** 各種表示中のウィンドウを閉じます。

- ◀ ▶** ページを切り替えます。
- ▲ ▼**
 - 設定値(数字、位置など)を増減します。
 - 画面をスクロールします。

プリントの流れ

以下の2つの方法でプリントすることができます。

- 書類や本など紙の原稿をプリントする
- パソコンで作成したデータをプリントする



参考

連携機Prioa(別売)

少数のプリントを行うときは、レーザープリンターなどを利用して、マスターを作成しないで印刷した方が経済的です。

連携機(Prioa)を接続すると、本機で読み取った原稿を連携機から出力できます。

この工程を「RLP(RISO Local Print)出力」といいます。

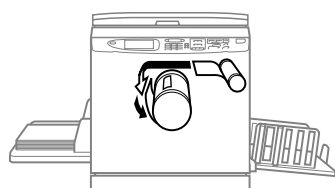
☛ P.106「連携機を使用したプリント機能について」

プリントには以下の2つの工程があります。

- 製版工程:印刷のもととなるマスターを「製版」する(製版モード)
 - 印刷工程:マスターを使って実際に「印刷」する(印刷モード)
- 「製版」と「印刷」の2つの工程を合わせて「プリント」と呼びます。

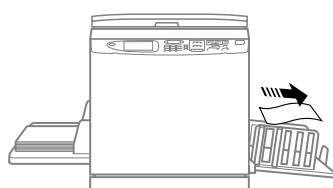
印 刷 工 程

製 版



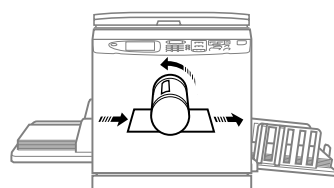
印刷のもととなるマスター(版)
が作成され、ドラムユニット
に巻き付けられます。

試し刷り

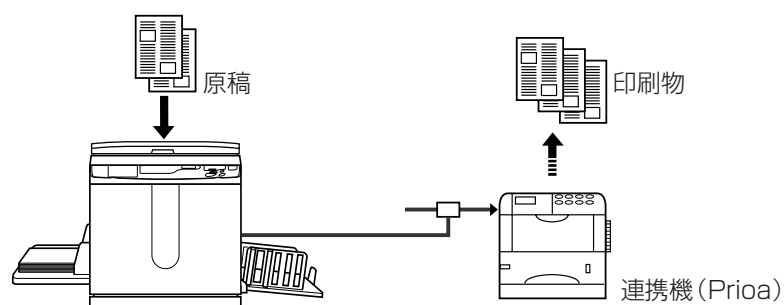
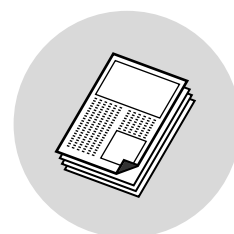


自動的に試し刷り印刷が
行われます。
印刷の仕上がりを確認します。

印 刷



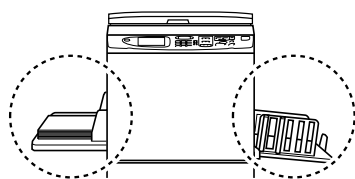
指定した枚数分の印刷が
行われます。



基本操作

26	プリント前の準備
26	給紙台と用紙のセット
28	排紙台のセット
30	紙原稿をプリントする
35	パソコンデータをプリントする[ダイレクトプリント]
39	出力指示の変更
40	本機での停止タイミングの変更

プリント前の準備

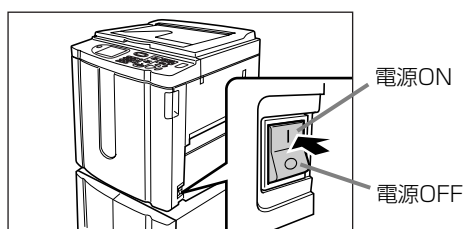


プリントを行う前に、給紙台、排紙台などをセットして、本機を使用可能な状態にします。

給紙台と用紙のセット

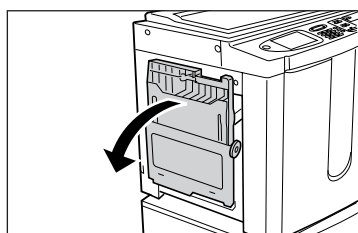
1

本機の電源を「ON」にする



2

給紙台を開く

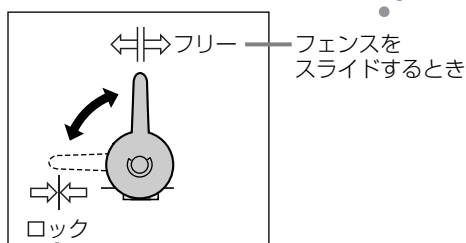


給紙台を手前に引き、止まるまで開きます。

3

用紙をセットする

- ① 印刷する方向に用紙を置く
- ② 給紙フェンスをスライドさせて用紙にぴったりと合わせ、ロックレバーを回して固定する。



フェンスを固定するとき

参考

不定形(A、B系列以外)の用紙を使う場合は、あらかじめ登録が必要です。

☛ P.101「不定形の用紙を登録する」
登録しないで使用すると、原稿が全面製版できないことがあります。

重要

給紙フェンスは必ず、用紙にぴったりとあててください。

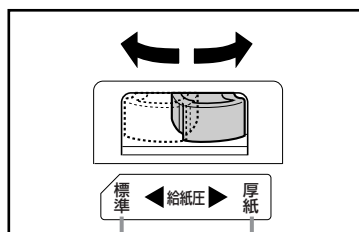
給紙フェンスの位置が合っていないと、正常に動作しないことがあります。



不適切な用紙を使用したり、サイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。
紙詰まりや故障の原因になります。
☛ P.12「原稿に関する注意」

4

給紙圧を調節する

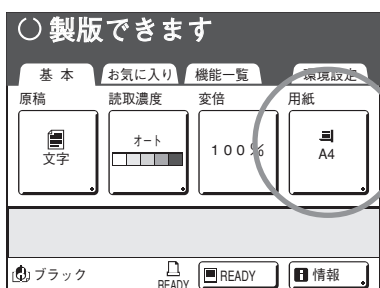


理想用紙やザラ紙、
上質紙などを使用
するとき
(標準／薄紙)

画用紙などの厚紙や
滑りやすい用紙を
使用するとき
(厚紙／特殊)

5

基本画面を確認する

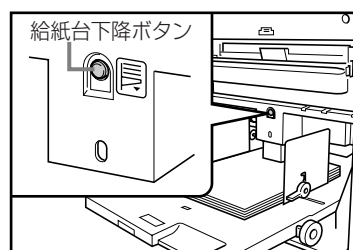


参考

用紙サイズはオート検知しています。サイズ表示が「--」になっている場合は、給紙フェンスが用紙にぴったり合っていないか、不定形用紙がセットされています。
給紙フェンスは、用紙にぴったりと合わせてください。不定形用紙を使用する場合は、[用紙] ボタンにタッチして、使用する不定形用紙を選んでください。
☛ P.47「不定形用紙に印刷する」

■用紙の補給と載せ換え

印刷の途中で用紙を補給したり、別のサイズの用紙に載せ換えるときは、給紙台下降ボタンを押して、給紙台を下げてから行います。



- 給紙台下降ボタンを押すと、給紙台は最下部まで下がります。
- ボタンを押し続けると、指を離れた位置で給紙台が止まります。

用紙がなくなったときや用紙をすべて取り除いたときは、給紙台が自動的に最下部まで下がります。

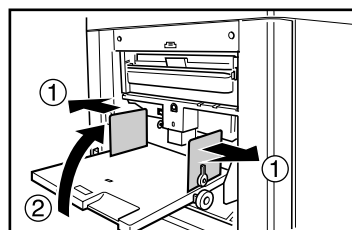


- 別のサイズの用紙に載せ換えるときは、用紙サイズに合わせて排紙フェンスやストッパーもセットしておてください。
- 紙質の異なる用紙に載せ換えるときは、給紙圧調節レバーを切り替えてください。

■給紙台の閉じかた

給紙台を閉じるときは、用紙を取り除いてください。

- ① 給紙フェンスを左右いっぱい広げる
- ② 給紙台を閉じる

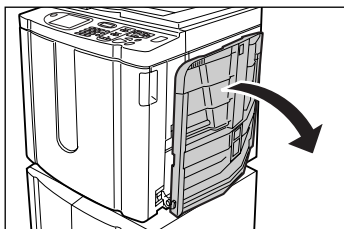


プリント前の準備

排紙台のセット

1

排紙台を開く

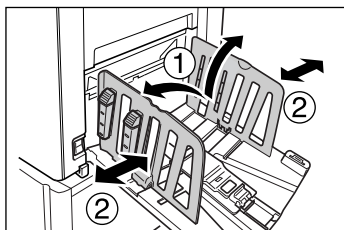


排紙台を手前に引き、止まるまで開きます。

2

排紙フェンスをセットする

- ① 排紙フェンスを立てる
- ② 排紙フェンスの下部を持って、用紙の幅に合わせて、排紙フェンスをスライドさせる

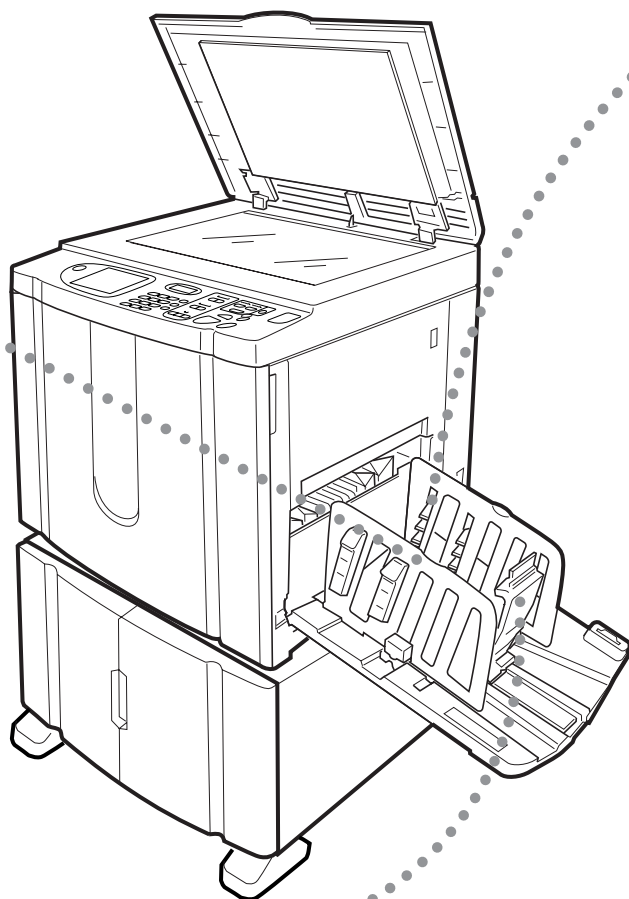
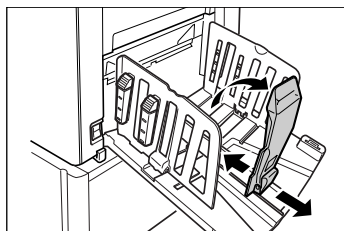


画用紙などの厚紙を使用するときは、排紙フェンスを実際用の紙の幅より少し広めにセットしてください。

3

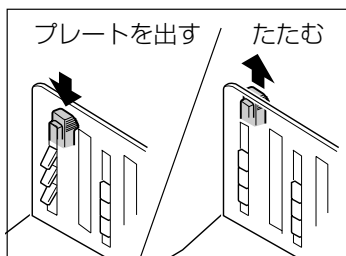
ストッパーをセットする

- ① ストッパーを立てる
- ② 用紙の長さに合わせてスライドさせる



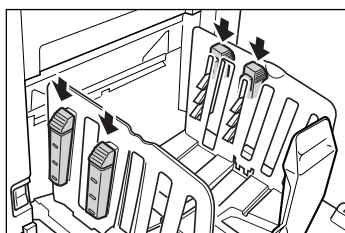
4

紙揃えプレートを調節する



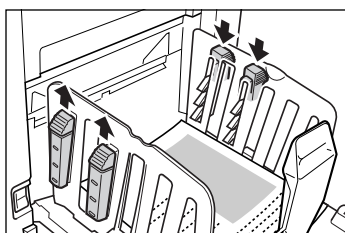
用紙サイズやコシの強さなどによって、揃う状態が異なるので、プリントされた用紙が揃うように、紙揃えプレートを調節します。紙揃えプレートを出すときは、紙揃えプレートノブを押し、たたむときは上に引きます。

■ 通常の印刷の場合



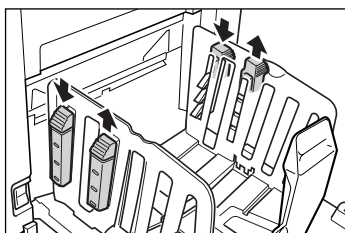
紙揃えプレートノブを押し、4つの紙揃えプレートをすべて出します。

■ 印刷部分が片寄っている場合



ベタ面の多い側の紙揃えプレートノブを押し、紙揃えプレートを出します。

■ 厚い用紙に印刷する場合

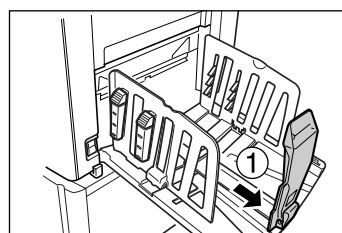


本体に近い側のみ、左右の紙揃えプレートを出します。

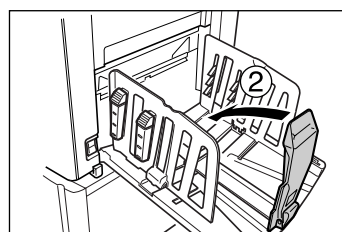
■ 排紙台の閉じかた

排紙台を閉じるときは、印刷物を取り除き、以下の手順で閉じてください。

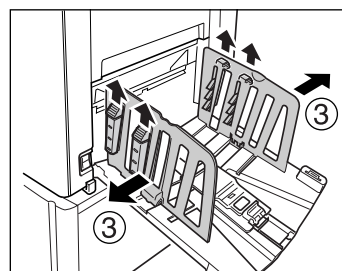
① ストッパーを排紙台の端まで広げる



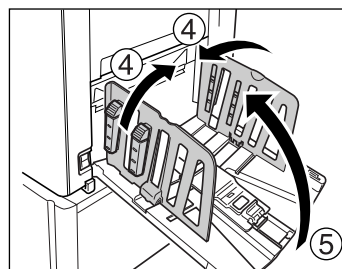
② 内側に倒す



③ 紙揃えプレートをたたみ、排紙フェンスを左右いっぱいに広げる



④ 内側に倒す



⑤ 排紙台を閉じる

紙原稿をプリントする

ここでは、原稿を読み取って、本機でプリントする操作手順を説明します。

参考

連携機 Prioα(別売)を接続して「自動振分け」機能をお使いになる場合は、P.32をご覧ください。

1

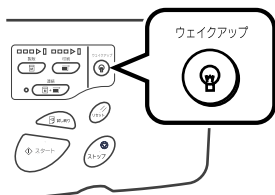
本機の電源が「ON」であることを確認する



操作パネルを見て確認します。

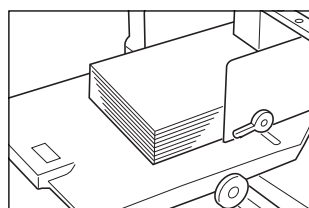
参考

- ディスプレイも^⑨も消灯しているときは、電源が「OFF」になっています。電源を「ON」にしてください。
➡ P.26「給紙台と用紙のセット」
- ^⑨が点灯しているときは、本機がスリープ状態です。^⑨を押してスリープを解除してください。



2

印刷用紙を確認する



使用する用紙がセットされていることを確認します。

用紙がセットされていない場合や、用紙を載せ換える場合は、以下のページを参照して用紙をセットしてください。

➡ P.26「給紙台と用紙のセット」

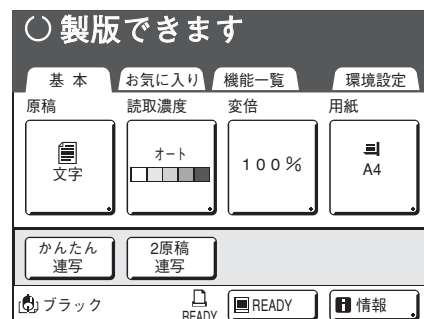
用紙サイズを変更したときは、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。

➡ P.28「排紙台のセット」

3

ディスプレイを確認する

- モード選択画面が表示されている場合は、**製版** にタッチして製版基本画面に切り替えてください。



- 製版基本画面または印刷基本画面が表示されている場合は、そのまま手順4に進みます。

参考

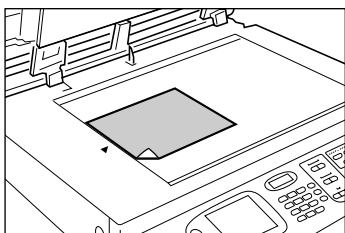
- ステータスエリアに **展開中** と表示されているときは、パソコンから送信された原稿データを処理中です。しばらくお待ちください。
- RLP基本画面が表示されているときは、**製版** を押して製版基本画面に切り替えてください。

4

原稿をセットする

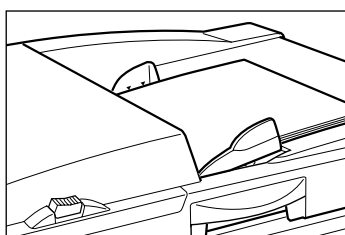
原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットします。

■ 原稿台ガラスにセットする



原稿台ガラスに、原稿をセンター合わせで下向きにセットし、原稿台カバーを閉めてください。
雑誌や本、切り貼り原稿などは、原稿台ガラスにセットしてください。

■ 自動原稿送り装置(オプション)にセットする



複数枚の原稿を連続してプリントするときは、自動原稿送り装置を使用します。原稿は下向きにセットします。原稿セットフェンスを原稿の幅に合わせ、先端を自動原稿送り装置の奥に当たるまで差し込みます。

重要

- 自動原稿送り装置にセットできる原稿サイズは90mm×140mm以上です。それより小さいサイズのときは、原稿台ガラスにセットしてください。
- 自動原稿送り装置には不適切な原稿を使用したり、サイズの異なる原稿を混ぜてセットしたりしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
☛ P.13「自動原稿送り装置(オプション)へセットする場合」

- 自動原稿送り装置に原稿をセットすると「連続」*が「ON」になります。「連続」を「OFF」にする場合は  を押してランプを消してください。

※「環境設定」で自動原稿送り装置装備時の「連続」の設定を変更することができます。
☛ P.92「初期設定を変更する／OP連続自動設定」

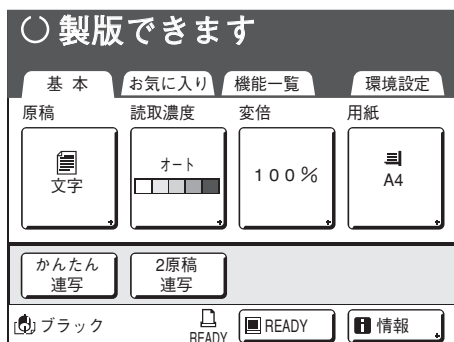
参考

- 自動原稿送り装置には、一度に約50枚までの原稿をセットできます(64g/m²(55kg連量：四六版)の原稿使用時)。
- 「AF オート製版」を設定すると試し刷りで製版状態を確認できます。
☛ P.89「試し刷りを確認しながらプリントする」

紙原稿をプリントする

5

各種プリント機能の設定を行う



画面が製版基本画面であることを確認後、必要に応じて各種機能を設定してください。製版基本画面が表示されていないときは を押してください。

参考

ここでは以下の設定が可能です。

- **連続(P.48)**
続けてプリントする
- **原稿モード(P.42)**
原稿に適したモードを選択する
- **読取濃度(P.43)**
原稿の読取濃度を選択する
- **変倍(P.44)**
原稿を拡大／縮小する
- **用紙(P.47)**
不定形用紙に印刷する
- **プログラム(P.66)**
グループに分けてプリントする
- **メモリー(P.76)**
よく使う設定をメモリーに登録する
- **網点(P.49)**
写真に網点をかける
- **省インク(P.50)**
インクを節約する
- **かんたん連写／2原稿連写(P.51)**
1枚の用紙に2面取りする
- **ブックモード(P.55)**
雑誌や本をプリントする
- **フルサイズ製版(P.88)**
最大印刷範囲で製版する
- **AFオート製版^{※1}(P.89)**
試し刷りを確認しながらプリントする
- **アイドリング(P.85)**
アイドリングをする

- **再製版(P.87)**

再製版する

- **テープ仕分け^{※2}**

※1 自動原稿送り装置(オプション)をご使用の場合、設定できます。

※2 STソーター(オプション)を装着しているときのみ、設定できます。

連携機Prioα(別売)を接続してお使いの場合

印刷枚数に応じて出力先を切り替える「自動振り分け」機能が働きます。

(出荷時は20枚以上は本機から、19枚以下は連携機から出力されるよう設定されています。)

ただし、以下の機能を設定した場合は、印刷枚数に関係なく、本機でプリントされます。

- かんたん連写
- 2原稿連写
- ブックモード
- プログラム
- 省インク

重要

必ず印刷枚数を入力してから、 を押してください。

枚数により出力先を切り替えて、プリントを行います。

印刷枚数が0の状態で を押したときは、本機での製版スタートとなります。

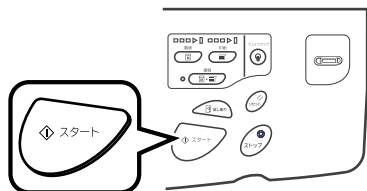
参考

出力先を切り替える「自動振分枚数」は、「環境設定」で変更することができます。

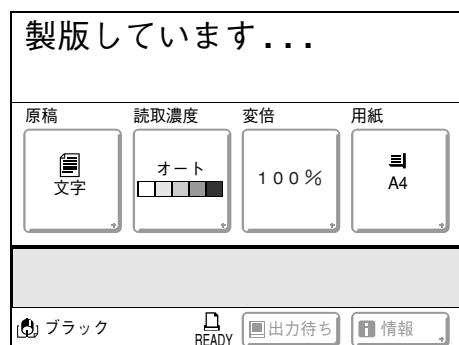
P.94「初期設定を変更する／自動振分枚数」

6

スタートを押す



原稿の読み取りを開始します。読み取りが終わると製版が行われ、試し刷りが1枚出てきます。



オートアイドリングについて

「オートアイドリング」を「有効」に設定していると、製版する前にアイドリング動作を行う場合があります。

工場出荷時には、前回の使用から12時間以上経過すると、次の製版時に自動でアイドリングを行うように設定してあります(オートアイドリング)。

「環境設定」で「オートアイドリング」の「有効／無効」や、実行までの時間などを変更できます。

● P.93「初期設定を変更する／オートアイドリング」

製版前、任意のタイミングでアイドリングを行うことも可能です。

● P.85「アイドリングをする」

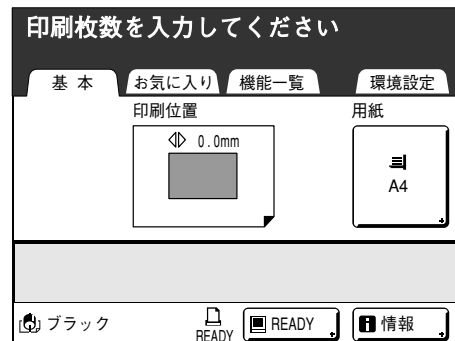
参考

「連続」を設定している場合、手順が異なります。

● P. 48「続けてプリントする」

7

試し刷りを確認する



試し刷りが印刷されると、自動的に印刷基本画面が表示されます。

仕上がり印刷位置や濃度などを確認してください。

印刷位置や濃度は変更できます。

- 印刷位置 (● P.60)
- 印刷濃度 (● P.59)
- インターバル印刷 (● P.63)
- 排紙ウイング特殊 (● P.64)

調節(調整)後は **試し刷り** を押して、試し刷りを確認してください。

重要

長時間使用しないとドラム上のインクが乾き、プリントしたときに、印刷物がかすれたり薄くなったりすることがあります。

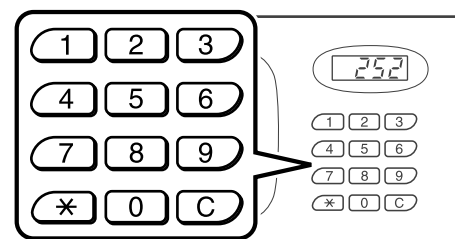
試し刷り を押して、何枚か試し刷りをしてください。

参考

印刷位置(天地のみ)や濃度、速度は、印刷中にも調節(調整)できます。

8

テンキーで印刷枚数を入力する

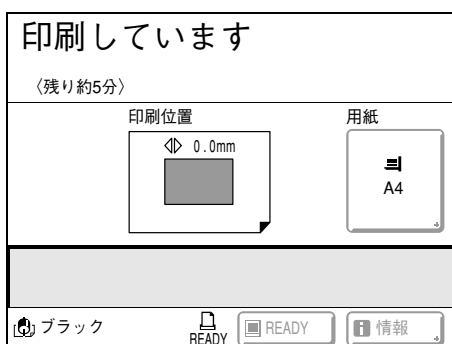
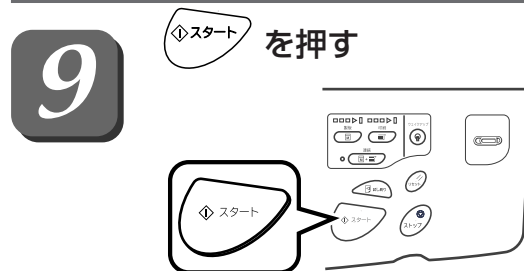


入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

枚数の入力をまちがえたときは、**C** を押して消去した後に入力しなおしてください。

紙原稿をプリントする



入力した枚数が印刷されます。

参考

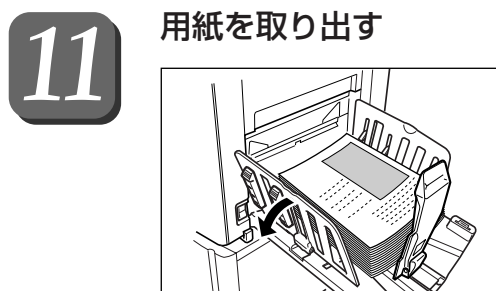
- 印刷を途中で停止させたいときは、**ストップ**を押してください。
- パソコンと接続した環境でご使用の場合、印刷の途中でも、本機が動作していないときや操作していない状態で一定の時間が経過すると、本機は作業が終了したと認識します。その際に、他の人がパソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理が行われ、使用中のマスターを排版し、製版が行われてしまいます。この割り込みを防止する設定(占有延長)があります。チラシの印刷などで割り込まれたくない場合など「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。
➡ P.84「占有時間を延長する」



設定を初期値に戻します。

参考

印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを廃棄することができます。
➡ P.86「機密書類の複製を防止する」



排紙フェンスを手前に開き、用紙を取り出します。

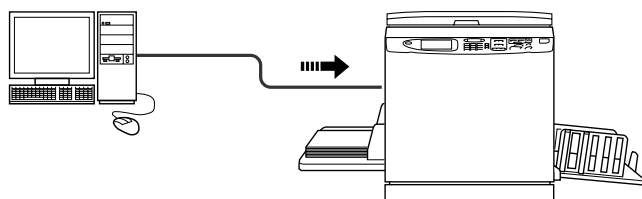
参考

現在の設定をメモリーに登録しておくと、**メモリー**を押したり、電源を切って設定が初期化されたりしても、メモリーを呼び出すことにより同様の設定でプリントができます。
➡ P.76「メモリー機能を使う」

パソコンデータをプリントする

【ダイレクトプリント】

パソコンで作成した原稿データを、本機に直接送信してプリントすることができます。
原稿データを直接デジタル処理するので、プリントの仕上がりが鮮明です。



重要

まず、パソコンに専用のプリンタドライバをインストールしてください。インストールについては、「RISO Printer Driver取扱説明書」を参照してください。



連続と停止について

連続：パソコンデータの受信から製版、印刷までの工程を連続して行うことを「連続」といいます。
停止：各工程で機能の設定や用紙の交換などが必要なときに、作業を停止させることができます。

パソコンの印刷画面で「連続モード」を「ON」に設定すると「連続モード」でプリントを行います。（試し刷りの確認はできません。）

連続モード ON

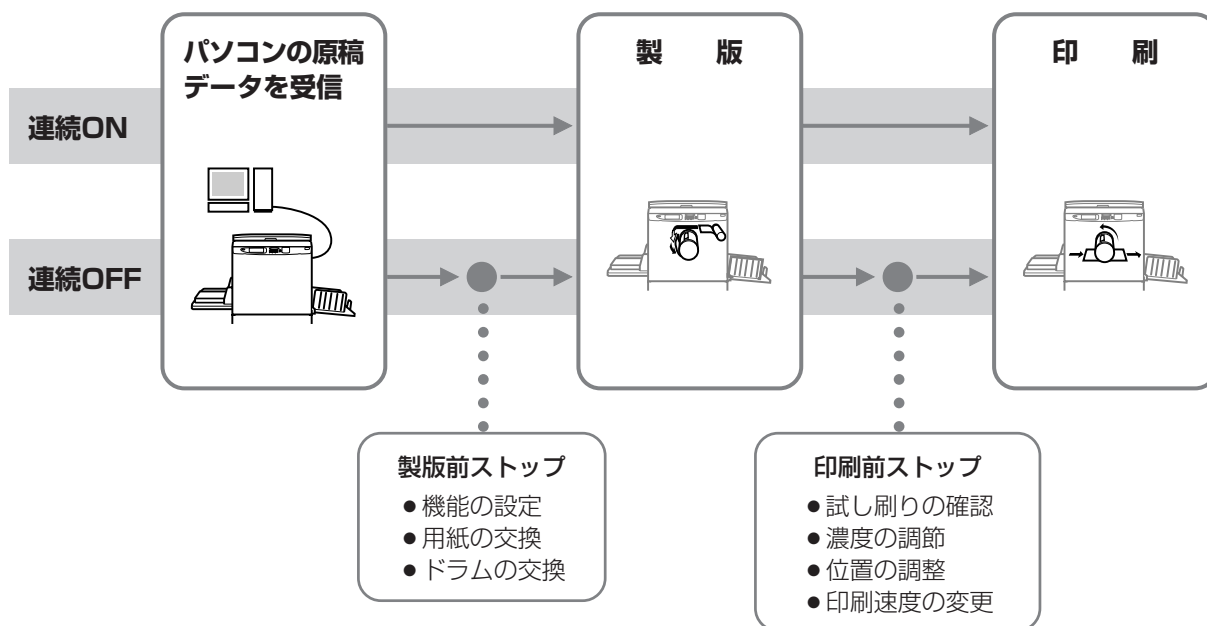
製版／印刷の工程で一度作業を停止させたいときは、パソコンの印刷画面で「連続モード」を「OFF」にしてください。

連続モード OFF - 製版前ストップ (オート印刷)

OFF - 印刷前ストップ (オート製版)

OFF - 製版前、印刷前ストップ

停止タイミングは右の3つから選択できます。



参考

- プリントの停止タイミングは本機でも設定を変更できます。
➡ P.40「本機での停止タイミングの変更」
- パソコン画面での印刷の設定については、ここでは基本的な設定のみ説明しています。
原稿データの送信方法および各種設定については「RISO Printer Driver取扱説明書」をご覧ください。

パソコンデータをプリントする

1

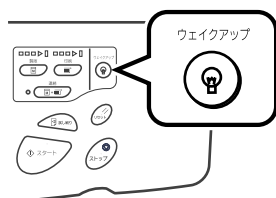
本機の電源が「ON」であることを確認する



操作パネルを見て確認します。

参考

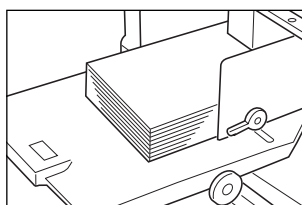
- ディスプレイも^{2x17777}も消灯しているときは、電源が「OFF」になっています。電源を「ON」にしてください。
➡ P.26「給紙台と用紙のセット」
- ^{2x17777}が点灯しているときは、本機がスリープ状態です。^{2x17777}を押してスリープを解除してください。



- 本機がスリープ状態でもパソコンから原稿データが送信されると、本機は自動的にウェイクアップし、原稿データが処理されます。
- RISORINC-NET(オプション)をご使用の場合、本機の場合まで行かなくても、パソコンから本機の状態(電源ON/OFF、用紙の設定など)をモニタで確認することができます。

2

印刷用紙を確認する



使用する用紙がセットされていることを確認します。

用紙がセットされていない場合や、用紙を載せ換える場合は、以下のページを参照して用紙をセットしてください。

➡ P.26「給紙台と用紙のセット」

用紙サイズを変更したときは、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。

➡ P.28「排紙台のセット」

3

パソコンの画面で印刷条件を設定する

印刷ダイアログボックスの例



印刷ダイアログボックスで印刷部数を入力します。

重要

印刷ダイアログボックスの「☐部単位で印刷」のチェックを、必ず外してください。

プロパティ(プリンタドライバ)の例



ON
OFF 製版前ストップ
OFF 印刷前ストップ
OFF 製版前・印刷前ストップ

プロパティで「連続モード」を設定します。

必要に応じて印刷用紙、印刷の向きも設定します。最後に をクリックしてください。

■ 連続でのプリント

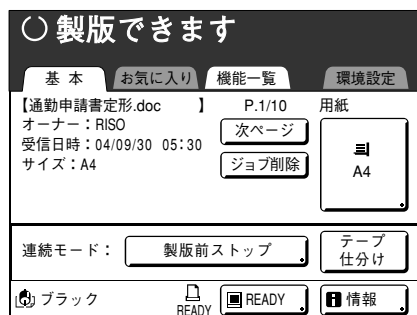
製版から印刷までの工程を続けて行います。

■ 製版前ストップでのプリント

製版前に停止します。必要に応じて各種機能の設定、用紙やドラムの交換ができます。

また、原稿データを送信するパソコンと本機の設置場所が離れているときや、登録済みのメモリーまたはプログラムを呼び出してプリントするときなどは、製版前ストップを選択すると便利です。

データ受信後、製版前の状態で本機が停止します。



オーナー名などを確認し、プリントするデータであることを確認します。

■ 印刷前ストップでのプリント

製版後、試し刷りを印刷して停止します。試し刷りを見て印刷位置の調整や、印刷濃度および印刷速度の調節ができます。

重要

長時間使用しないとインクが乾き、プリントしたときに印刷物がかすれたり薄くなる場合があります。

「」を押して、何枚か試し刷りをしてください。

参考

- 印刷位置や濃度、速度は、印刷中にも調節（調整）できます。
- テンキーで印刷枚数を入力すると、プリンタドライバで指示した印刷枚数が無効になります。

■ 製版前・印刷前ストップでのプリント

製版前と印刷前の両方で停止します。

4

印刷ダイアログボックスの

OK をクリックする

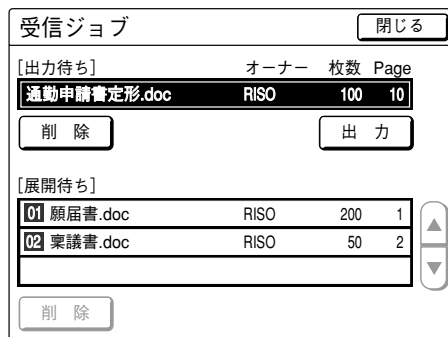


パソコンから原稿データが送信されます。本機がデータを受信するとプリンタドライバの設定内容で、自動的にプリントを開始します。連続モードでプリントするときは手順6に進んでください。

参考

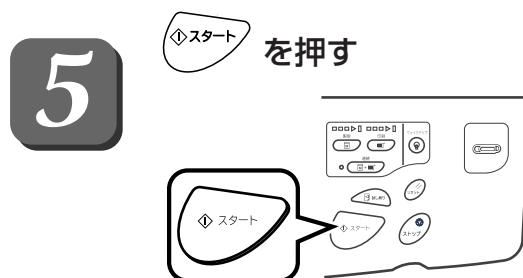
- 原稿データが複数ページあるときは、すべてのデータを続けてプリントします。
- 製版／印刷動作中に手でプリントを停止させたいときは、を押してください。製版処理中では製版終了後に、印刷処理中では印刷を中止し、動作を停止します。再開するときはを押してください。

受信ジョブ画面について

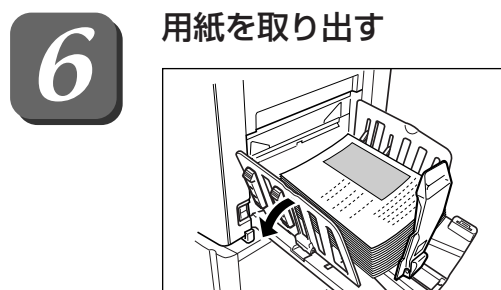


データ受信後、基本画面でにタッチすると「[受信ジョブ]」画面が開き、現在受信しているジョブが確認できます。「[受信ジョブ]」画面では、「出力待ちジョブの出力」「出力待ち／展開中／展開待ち」のジョブの削除をすることができます。

パソコンデータをプリントする



停止後の工程（製版または印刷）が開始されます。



排紙フェンスを手前に開き、用紙を取り出します。

参考

印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを廃棄することができます。

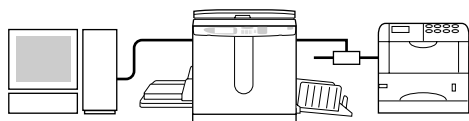
☛ P.86「機密書類の複製を防止する」

連携機Prioα(別売)を接続してお使いの場合

「連続」設定時には、印刷枚数に応じて、出力先を切替える「受信ジョブ自動振分」機能が設定できます。

☛ P.94「初期設定を変更する／受信ジョブ自動振分」

☛ P.106「連携機を使用したプリント機能について」

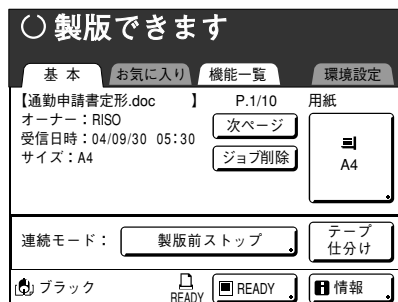


出力指示の変更

製版／印刷基本画面で出力指示を変更することができます。

次ページ …… 現在指示待ちのページの処理をキャンセルし、次のページの処理を開始します。受信した原稿データに不要なページがあり、そのページの処理をキャンセルするときに使用します。

ジョブ削除 …… 現在指示待ちの原稿データ全体を削除します。まちがって送信した原稿データや、指示待ちで止まってしまっている原稿データを削除するときに使用します。



重要

製版／印刷動作中には、**次ページ** や **ジョブ削除** は選択できません。

製版／印刷動作中に指示を変更するときは、**中止** を押してください。

(製版処理中は製版終了後に動作を停止します。印刷処理中は印刷を中止し、動作を停止します。)

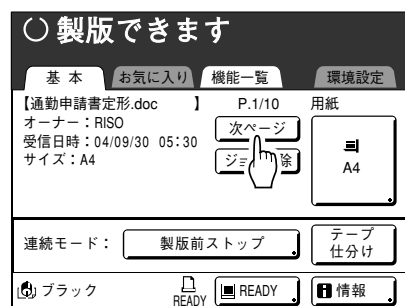
参考

指示待ち(製版できます／印刷できます)画面の状態で、**中止** または **印刷** を押すと、そのジョブは削除されます。

次ページの指示

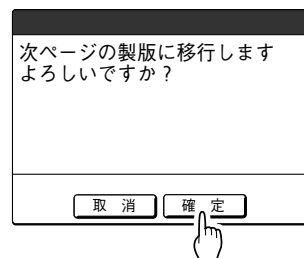
1

次ページ にタッチする



2

確定 にタッチする

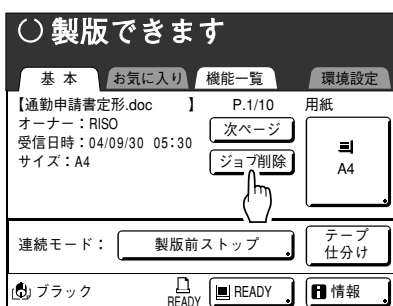


現在のページの処理を中止し、次のページの処理を行います。

ジョブ削除の指示

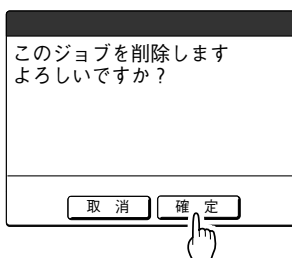
1

ジョブ削除 にタッチする



2

確定 にタッチする



現在の原稿データを削除します。
処理待ちの原稿データがあるときは、処理を開始します。

パソコンデータをプリントする

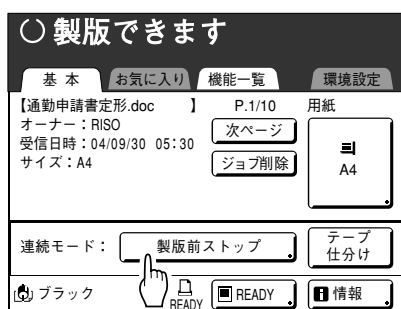
本機での停止タイミングの変更

プリントの停止タイミングは、プリンタドライバでの設定が常に優先されます。
ただし、各停止中には本機で設定を変更できます。

参考 プリンタドライバで「連続モード」を「ON」に設定しているときは、 を押して動作を停止させてから設定してください。

1

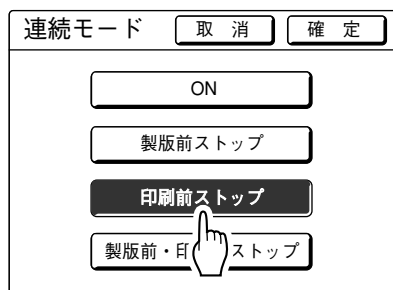
「連続モード」ボタンに
タッチする



「連続モード」画面が表示されます。

2

設定する項目にタッチする



ON

製版から印刷まで連続して行います。

製版前ストップ

データ受信後、製版する前に停止します。

印刷前ストップ

製版後、試し刷りを1枚印刷した状態で停止します。

製版前・印刷前ストップ

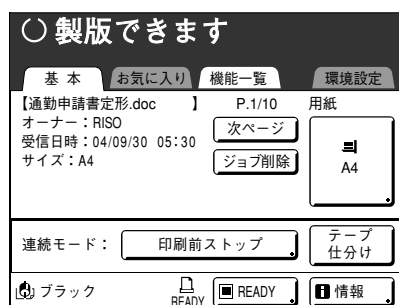
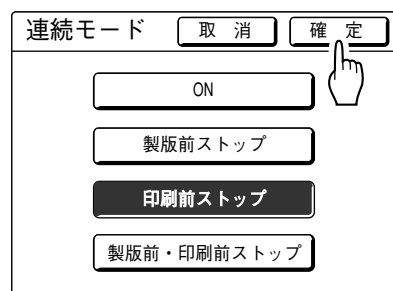
製版前、印刷前両方とも停止します。

参考

各停止タイミング後の操作については、P.37を参照してください。

3

「確定」にタッチする



基本画面に戻り、指定した「連続モード」に設定されます。

製版するときに 設定する機能

- 42 原稿に適したモードを選択する[原稿モード]
- 43 原稿の読取濃度を選択する[読取濃度]
- 44 原稿を拡大／縮小する[固定変倍][ズーム変倍][周囲余白]
 - 45 固定倍率の拡大／縮小 [固定変倍][周囲余白]
 - 46 ズームでの拡大／縮小 [ズーム変倍]
- 47 不定形用紙に印刷する[用紙サイズ]
- 48 続けてプリントする[連続]
- 49 写真に網点をかける[網点]
- 50 インクを節約する[省インク]
- 51 1枚の用紙に2面取りする[かんたん連写][2原稿連写]
 - 52 連写を使用するときの注意
 - 53 操作のしかた
- 55 雑誌や本をプリントする[ブックモード]

原稿に適したモードを選択する

[原稿モード]

製版

基本
原稿

文字のみ、または写真を含むものなど、モードを選択することで各種の原稿に適した製版ができます。

参考

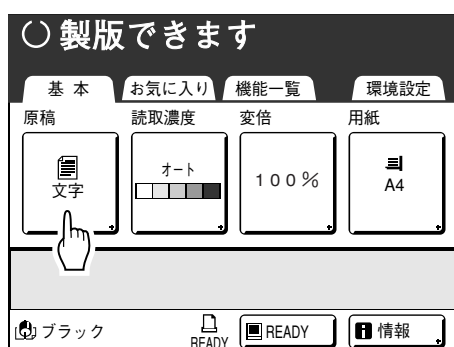
「環境設定」で「原稿モード」の初期設定を変更できます。

☛ P.92「初期設定を変更する／原稿モード基本設定」



1

製版基本画面で[原稿] ボタンにタッチする



3

確定 にタッチする



2

原稿の種類に適したモードを選択する

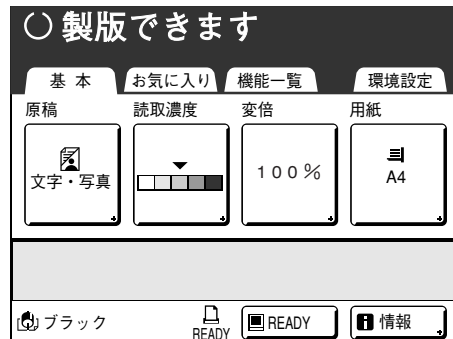


文字 …… ワープロ、新聞などの文字原稿

写真 …… 写真原稿

文字・写真 …… 文字と写真が混在している原稿

えんぴつ …… えんぴつ書きなどの薄い原稿



製版基本画面に戻り、指定した「原稿モード」に設定されます。

参考

選択する「原稿モード」により、設定できない機能があります。

	文字	写真	文字・写真	えんぴつ
網点	×	○	○	×
読取濃度 (オート)	○	×	×	×
読取濃度 (1～5)	○	○	○	○

○：設定可 ×：設定不可

原稿の読取濃度を選択する

〔読取濃度〕

製版

基本
読取濃度

原稿の地色や文字の濃淡などに合わせて、原稿の読取濃度を調節できます。
オートまたは、濃度(5段階)を選択します。
オートでは、原稿の地色に合わせて、自動的に「読取濃度」を設定してプリントします。

重要

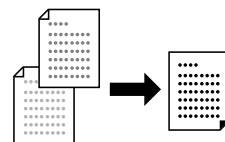
「オート」は「原稿モード」で「文字」を選択しているときのみ設定できます。

➡ P.42「原稿に適したモードを選択する」

参考

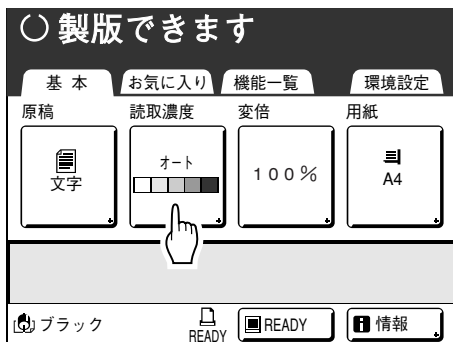
「環境設定」で「読取濃度」の初期設定を変更できます。

➡ P.92「初期設定を変更する／読取濃度基本設定」



1

製版基本画面で〔読取濃度〕ボタンにタッチする



2

設定する濃度のボタンまたは「オート」にタッチする

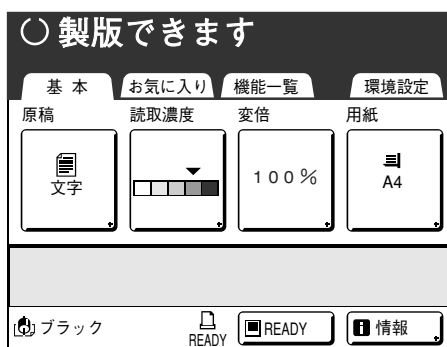


番号と読取濃度の関係

- 1 [] 薄い
- 2 [] やや薄い
- 3 [] 標準
- 4 [] やや濃い
- 5 [] 濃い

3

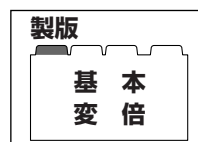
「確定」にタッチする



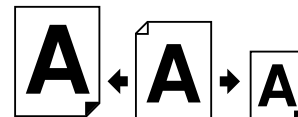
製版基本画面に戻り、指定した「読取濃度」に設定されます。

原稿を拡大／縮小する

[固定変倍][ズーム変倍][周囲余白]



原稿を拡大または縮小してプリントできます。拡大／縮小の方法には、以下の種類があります。



● 固定変倍

A4やB5などの定形サイズの前稿を、他の定形サイズの印刷用紙に拡大／縮小してプリントできます。

● 周囲余白

原稿全体を少し縮小してプリントできます。印刷物にとり代をつけたいときや、プリントエリアの外まで文字や図などがある原稿をプリントするとき使用します。

☛ P.11「プリントエリア(製版可能範囲)について」

「環境設定」で縮小率を90%～99%の間で変更することができます。

☛ P.92「初期設定を変更する／周囲余白縮小率」

● ズーム変倍

任意の変倍率で拡大／縮小してプリントできます。

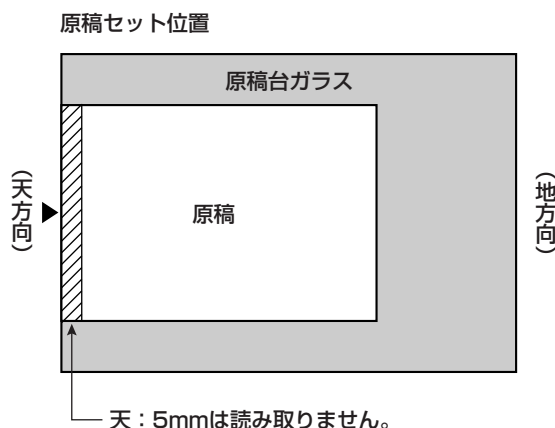
変倍率は50%～200%までの間で、1%きざみで指定できます。

参考

- 本機では、印刷物の紙詰まり(舞い上がり)や、裏移りを未然に防ぐために、用紙サイズいっぱい印刷(縁なし印刷)できないしくみになっています。特に天方向は必ず5mmの余白が必要です。

☛ P.11「プリントエリア(製版可能範囲)について」

原稿台ガラス(自動原稿送り装置も同様)の ▲ マーク側(天方向)5mmは、縮小・拡大にかかわらず読み取りません。

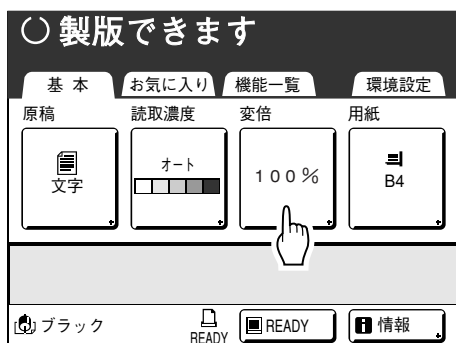


- 原稿の天方向5mmに文字や画像がある場合、カットされた状態で印刷されますのでご注意ください。この5mmは「フルサイズ製版」機能を使用した場合も、余白として残ります。
☛ P.88「最大印刷範囲で製版する」
- 天方向に余白のない原稿は「周囲余白」を設定しても、天方向5mmの部分の原稿はカットされてしまいます。5mm程度ずらしてセットしてから縮小してください。

固定倍率の拡大／縮小 [固定変倍][周囲余白]

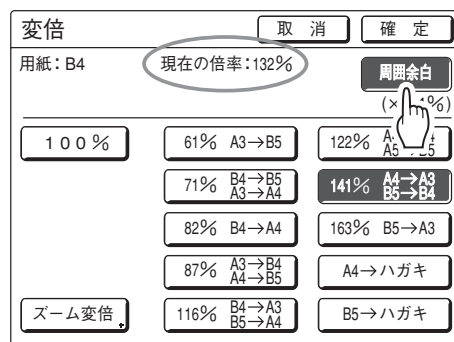
1

製版基本画面で[変倍]ボタンにタッチする



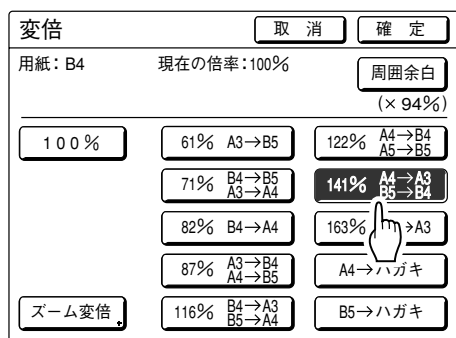
参考

「固定変倍」と「周囲余白」は併用できます。その場合「現在の倍率」には固定変倍率×周囲余白縮小率が表示されます。



2

指定する倍率のボタンにタッチする



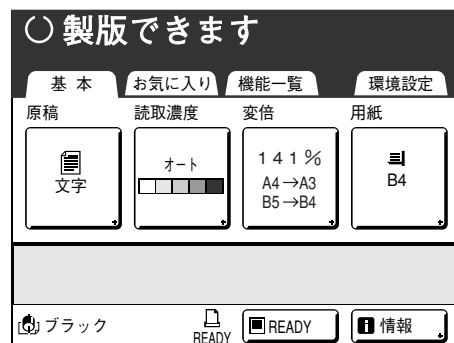
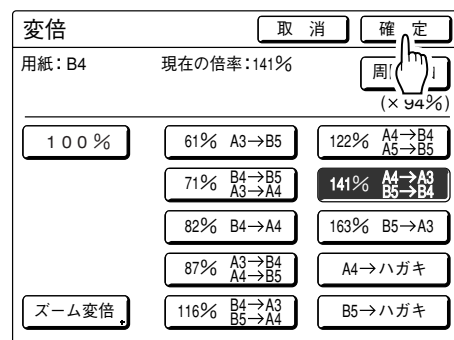
倍率を等倍に戻すときは「100%」にタッチしてください。

重要

- 「A4→ハガキ」「B5→ハガキ」「ズーム変倍」を選択しているときは「周囲余白」は設定できません。
- 自動原稿送り装置(オプション)に、原稿をセットしているときは、「A4→ハガキ」は選択できません。

3

「確定」にタッチする



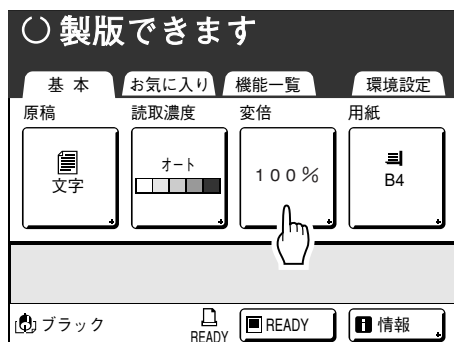
製版基本画面に戻り、指定した倍率で設定されます。

原稿を拡大／縮小する

ズームでの拡大／縮小 【ズーム変倍】

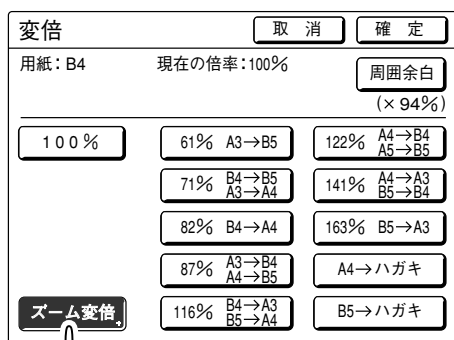
1

製版基本画面で[変倍] ボタンにタッチする



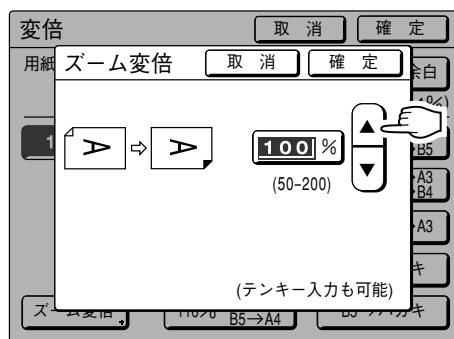
2

ズーム変倍 にタッチする



3

▲ ▼ にタッチして倍率を指定する



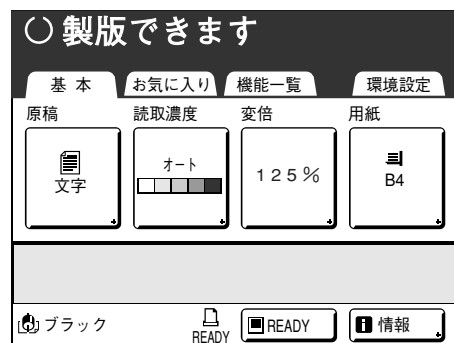
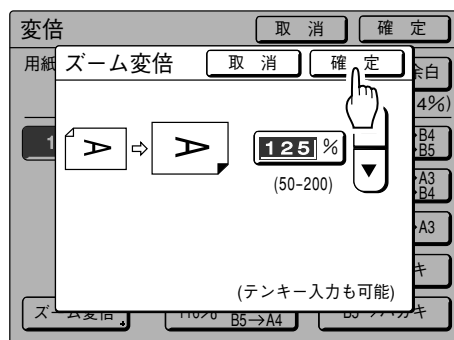
倍率が1%きざみで増減します。

参考

- テンキーでの入力もできます。
- **C** を押すと等倍(100%)に戻ります。

4

確定 にタッチする



製版基本画面に戻り、指定した倍率で設定されます。

不定形用紙に印刷する

〔用紙サイズ〕

製版

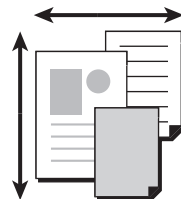
基本
用紙サイズ

給紙台にセットした用紙が定形サイズの場合、自動でサイズを検知し、用紙に合わせた適正なサイズで製版を行います。不定形サイズの場合、自動でサイズ検知できないため、製版する前に印刷用紙のサイズを選択してください。

重要

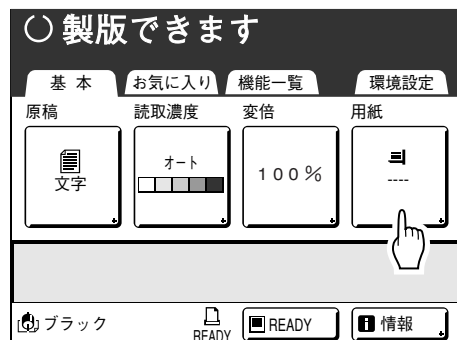
不定形サイズの用紙を使用するときは、あらかじめ「環境設定」で登録しておく必要があります。登録せずに不定形用紙を使用すると、製版が正しく行われず、原稿が欠けることがあります。

● P.101「不定形の用紙を登録する」



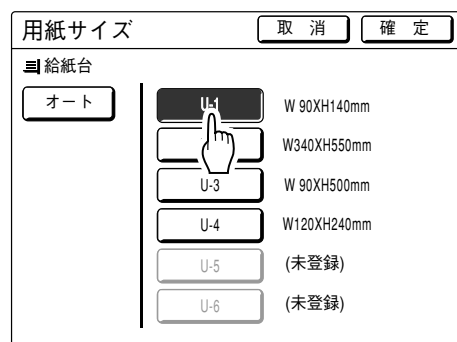
1

製版基本画面で〔用紙〕ボタンにタッチする



2

使用する用紙サイズのボタンにタッチする

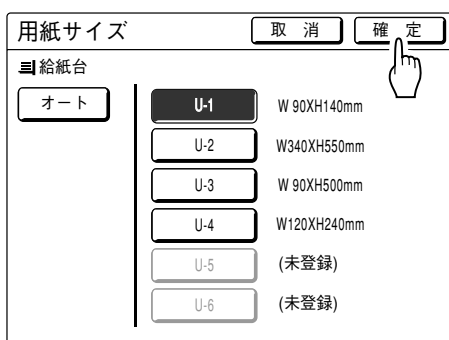


参考

定形サイズの用紙を使用するときは、**オート** にタッチしてください。

3

確定 にタッチする



用紙設定を終了し、製版基本画面に戻ります。

● 製版するときに設定する機能

続けてプリントする



[連続]

製版から印刷までのプリント動作を、自動的に連続して行うことができます。
「連続」を設定しているときは、印刷枚数を入力した後に  を押してください。

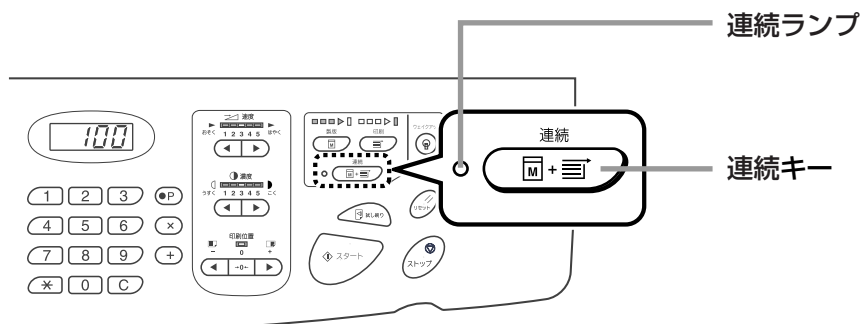


参考

- プリント終了後、印刷枚数は入力した枚数に復帰します。
- 「環境設定」で本機の起動時やリセット時に「連続」が「ON」になるように設定できます。
 P.92「初期設定を変更する／連続基本設定」



を押す



連続ランプが点灯します。

参考

「連続」を解除するときは、再度  を押してください。ランプが消灯します。

写真に網点をかける

【網点】

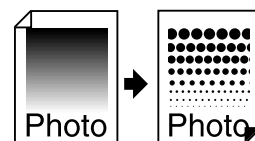
製版

機能一覧
網点

写真原稿などに網点をかけて、より鮮明なプリントができます。
網パターンは2種類から選択できます。

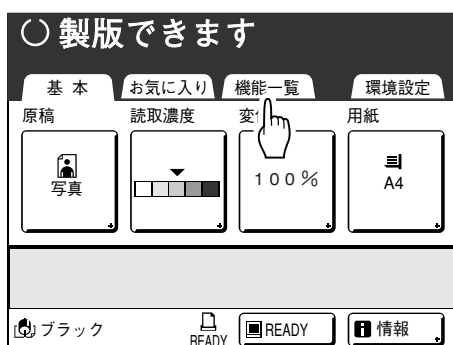
参考

「原稿モード」が「文字」「えんぴつ」に設定されているときは「網点」は設定できません。



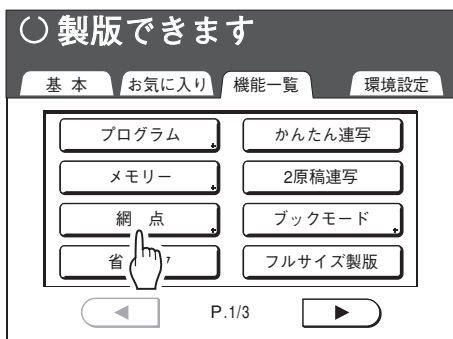
1

製版基本画面で **機能一覧** に
タッチする



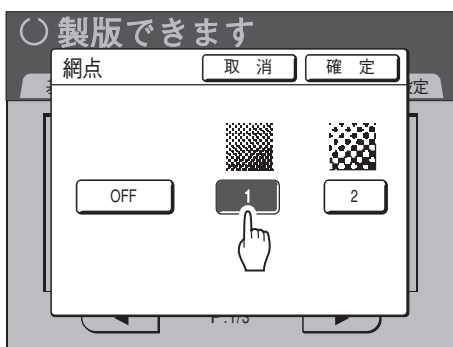
2

網点 にタッチする



3

設定する網点のボタンに
タッチする

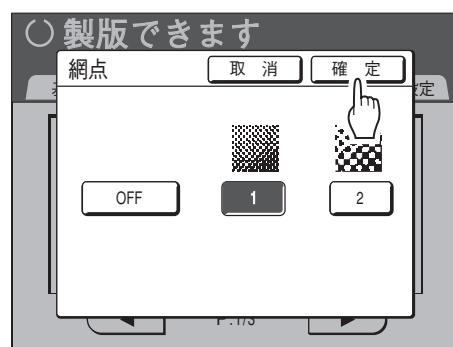


参考

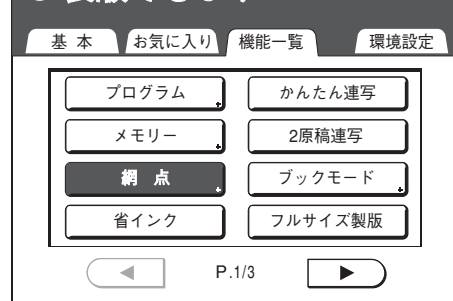
「網点」を設定しないときは **OFF** に
タッチしてください。

4

確定 にタッチする



○ 製版できます



機能一覧画面に戻り、指定した「網点」に設定
されます。

インクを節約する

[省インク]

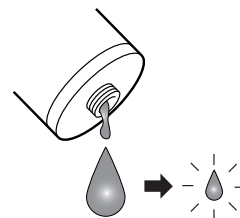
製版

機能一覧
省インク

「省インク」を設定して製版すると、印刷するとき使用するインクの量が、通常よりも少なくなるため、インクを節約して印刷できます。

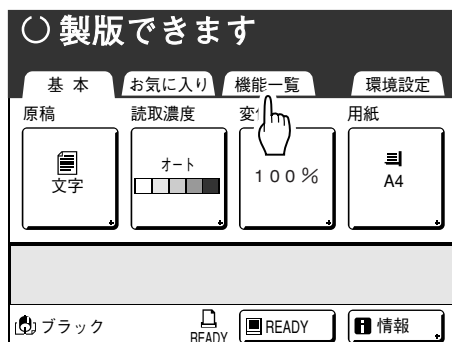


- 印刷時には設定できません。
- インクの消耗量を抑える処理を行うので、印刷濃度は通常よりも薄くなります。
- 「省インク」を設定しているとき「読取濃度」および「印刷濃度」は設定できません。
 - ☛ P.43「原稿の読取濃度を選択する」
 - ☛ P.59「印刷濃度を変える」



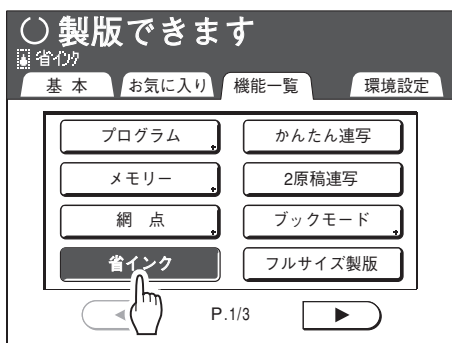
1

製版基本画面で **機能一覧** に
タッチする



2

省インク にタッチする



「省インク」が設定されます。

1枚の用紙に2面取りする

【かんたん連写】【2原稿連写】

製版

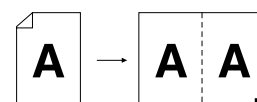
機能一覧
連写

1枚の印刷用紙に複数の原稿を面付けしてプリントすることを「連写」といいます。

同じ原稿を2面取りする「かんたん連写」と、異なる原稿を2面取りする「2原稿連写」があります。

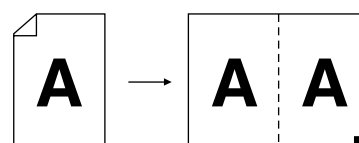
重要

「連写」を行うときは定形用紙を使用してください。不定形用紙および「環境設定」でサイズ登録した用紙をセットしているときば連写はできません。



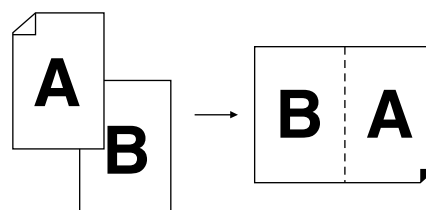
■かんたん連写

1枚の用紙に、同じ原稿を2面取りでプリントできます。



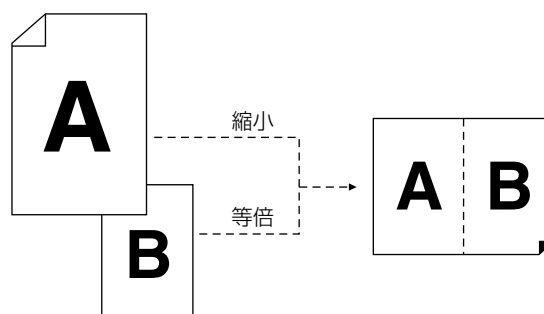
■2原稿連写

1枚の用紙に、2種類の原稿を2面取りでプリントできます。
中央に原稿の影(線)が出ずにきれいに印刷できます。



参考

2枚の原稿は、サイズの指定などの機能設定を別々に行うことができます。



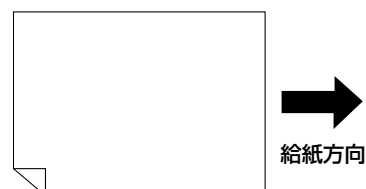
1枚の用紙に2面取りする

連写を使用するときの注意

「連写」をするときは、次の項目に注意してください。

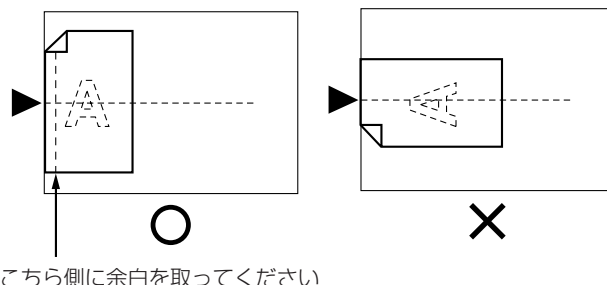
■ 印刷用紙のセット方向

印刷用紙は給紙台に、必ずこの方向にセットします。



■ 原稿のセット方向

原稿は原稿台ガラスまたは自動原稿送り装置（オプション）に、必ずこの方向にセットします。



■ 余白

原稿は必ず天方向5mmの余白を取ってください。余白が十分でないと、きれいな面取りになりません。

☞ P.12「原稿の余白について」

参考

天方向の余白は変倍されずにそのまま残ります。

■ 変倍率

2面取りに適した変倍率については次の表を参考にしてください。

原稿 印刷用紙	A4	B5	A5	B6	A6	B7	A7	B8
A3*	100%	116%	141%	163%	200%	—	—	—
B4	87%	100%	122%	141%	173%	200%	—	—
A4	71%	82%	100%	116%	138%	163%	200%	—
B5	61%	71%	87%	100%	122%	141%	173%	200%

※ RZ530不可

参考

「変倍」ボタンは、製版基本画面に表示されています。

必要に応じて設定しなおしてください。

☞ P.44「原稿を拡大／縮小する」

■ 連写待ち時間

「連写」では、原稿を2回読み取ります。

1回目の読み取りと、2回目の読み取りの間の時間を「連写待ち時間」といいます。

「連写待ち時間」の間に原稿の入れ替えや、各種の機能の設定をします。

参考

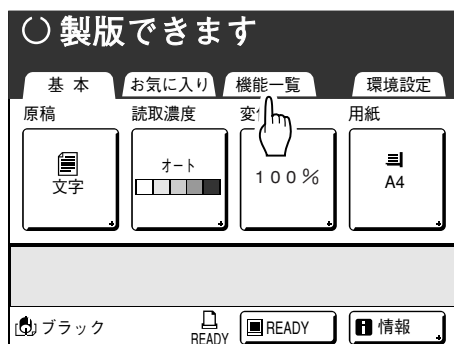
「環境設定」で「連写待ち時間」の初期設定を変更できます。工場出荷時は15秒に設定されています。

☞ P.92「初期設定を変更する／連写待ち時間」

操作のしかた

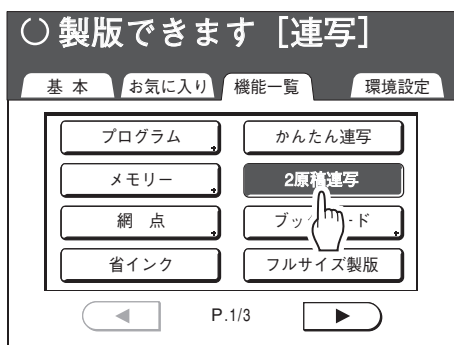
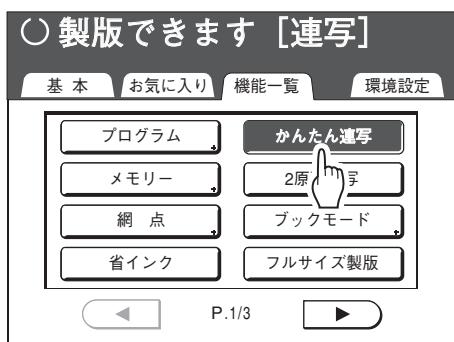
1

製版基本画面で **機能一覧** に
タッチする



2

かんたん連写 または
2原稿連写 にタッチする

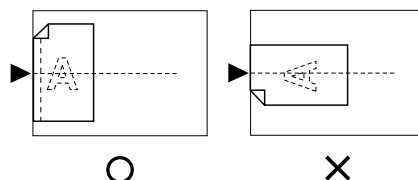
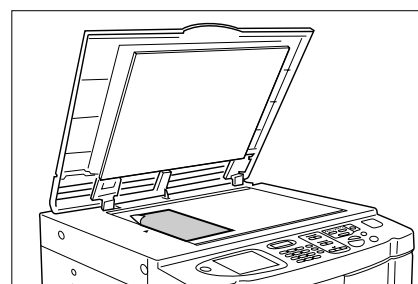


3

原稿をセットする

■ 原稿台ガラスへのセット

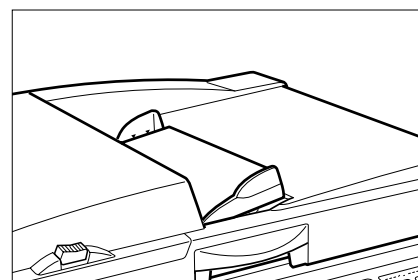
原稿台ガラス左の表示に合わせて、
原稿面を下にしてセットします。



■ 自動原稿送り装置(オプション)への セット

原稿トレイに原稿面を下にしてセット
します。(2原稿連写のときは重ねて
セットします。)

ただし、原稿の種類やサイズなどを別々
に設定したいときは、1枚ずつセットし
ます。



重要

自動原稿送り装置にセットできる原稿の
サイズは90mm×140mm 以上です。
それより小さいサイズのときは、
原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

1枚の用紙に2面取りする

4

必要な設定をする

必要に応じて各種の機能を設定します。

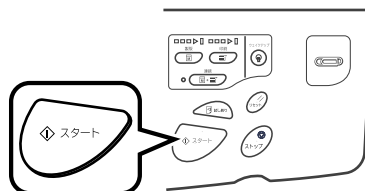
参考

「2原稿連写」では、次の機能を原稿ごとに設定できます。

- 原稿モード (P.42)
- 読取濃度 (P.43)
- 変倍 (P.44)
- 網点 (P.49)

5

スタートを押す



原稿の読み取りを開始します。
読み取りが終了すると、試し刷りが出きます。

■ 原稿台ガラスにセットしたとき

● かんたん連写

スタートを押すと、読み取りを開始します。

● 2原稿連写

スタートを押すと、1回目の読み取りを開始します。
その後待ち時間を知らせるブザーが鳴るので、時間内に2枚目の原稿をセットして、必要に応じて各種の設定を行い、再度スタートを押してください。



待ち時間内にスタートを押さなかったときは、片面が白紙でプリントされます。

■ 自動原稿送り装置(オプション) にセットしたとき

● かんたん連写

スタートを押すと、1回目の読み取りを開始します。待ち時間内に再度原稿をセットしてください。自動的に読み取りを開始します。

● 2原稿連写

原稿トレイに2枚重ねてセットします。スタートを押すと自動的に読み取ります。

各種の設定を変更するときは、原稿を1枚だけセットしてからスタートを押し、待ち時間内に設定を行った後、2枚目の原稿をセットしてください。自動的に読み取りを開始します。

重要

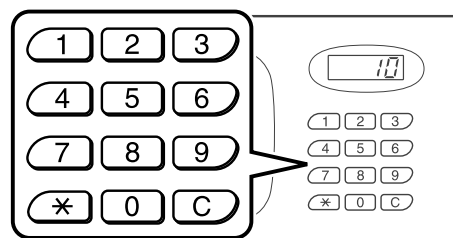
原稿台ガラスと自動原稿送り装置の併用はできません。最初の原稿読み取りを原稿台ガラスで行ったときは、2枚目以降の原稿も原稿台ガラスにセットしてください。

参考

「連続」を設定しているときは、自動原稿送り装置に原稿があれば続けてプリントします。

6

テンキーで印刷枚数を入力する



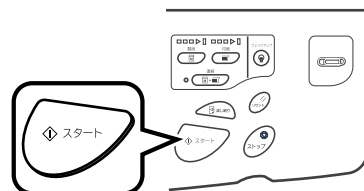
入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

枚数の入力をまちがえたときは、Cを押して消去した後に入力しなおしてください。

7

スタートを押す



2面連写で印刷されます。

雑誌や本をプリントする

【ブックモード】

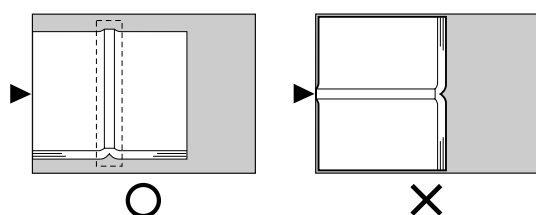
製版

機能一覧
ブックモード

雑誌や本など中央でとじられた原稿をプリントするときに、とじ部分(センター)の影を消去できます。消去する幅は5種類(20mm/30mm/40mm/50mm/80mm)から選択できます。

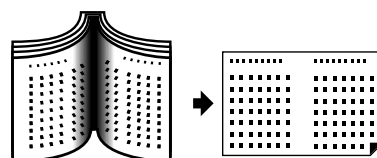
重要

原稿は必ず図に示した方向にセットしてください。点線部分の影が消去されます。



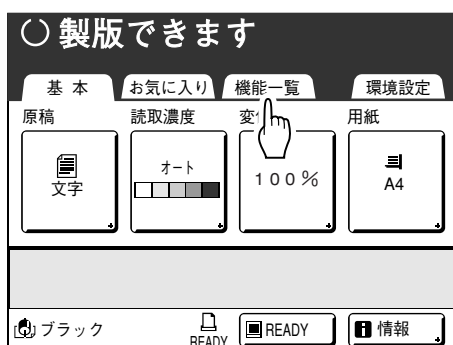
参考

- 設定された原稿サイズより外側の部分は消去されます。
- 「ブックモード」を設定したとき「連写」は設定できません。



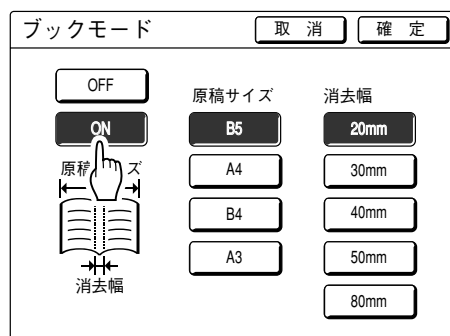
1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



3

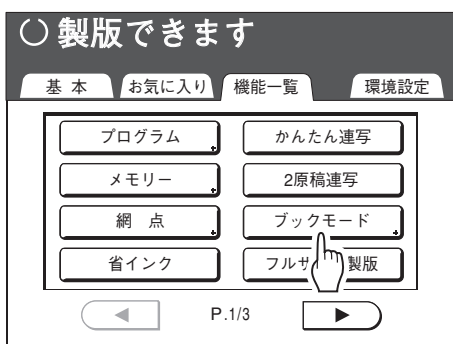
ON にタッチする



原稿サイズおよび消去幅を選択できるようになります。

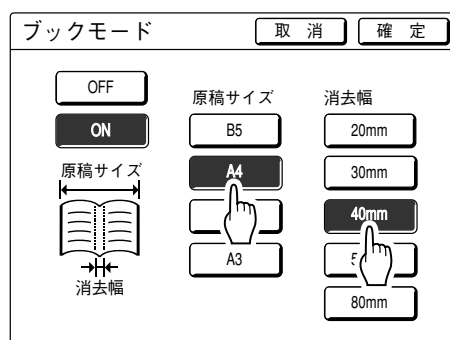
2

ブックモード にタッチする



4

[原稿サイズ]および[消去幅]ボタンにタッチする



● 製版するときには設定する機能

雑誌や本をプリントする

5

確定 にタッチする

機能一覧画面に戻り、指定した「ブックモード」に設定されます。

印刷するときに 設定する機能

- 58 印刷速度を変える [印刷速度調節]
- 59 印刷濃度を変える [印刷濃度調節]
- 60 印刷位置を調整する [印刷位置調整]
- 62 試し刷りをする [試し刷り]
- 63 裏移りを防ぐ [インターバル印刷]
- 64 特別な設定で排紙を行う [排紙ウイング特殊]

印刷速度を変える

[印刷速度調節]



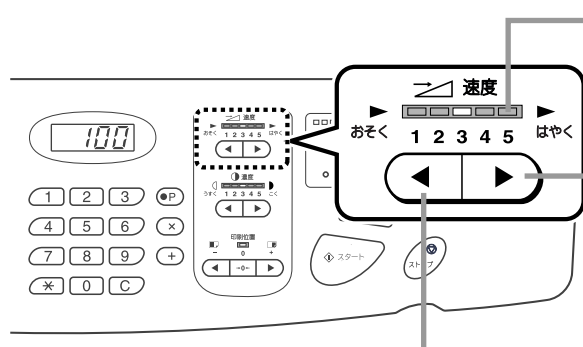
印刷速度を毎分60枚から130枚までの5段階で調節できます。
速度は、印刷中にも調節ができます。

参考

「環境設定」で印刷速度の初期設定を変更できます。
工場出荷時は3(約100枚/分)に設定されています。
☛ P.92「初期設定を変更する／印刷速度基本設定」



◀ または ▶ を押して印刷速度を調節する



印刷速度ランプ

現在の印刷速度の設定値を表示しています。

▶ キー

一度押すごとに、印刷速度が1段階ずつ速くなります。

◀ キー

一度押すごとに、印刷速度が1段階ずつ遅くなります。

ランプのレベルと印刷速度の関係

ランプの レベル	1	2	3	4	5
印刷速度 (枚/分)	約60	約80	約100	約120	約130

印刷濃度を変える



[印刷濃度調節]

印刷濃度を「うすく」から「こく」までの5段階で調節できます。

濃度は、印刷中にも調節ができます。

重要

「省インク」を設定しているときは、印刷濃度の調節はできません。

☛ P.50「インクを節約する」

参考

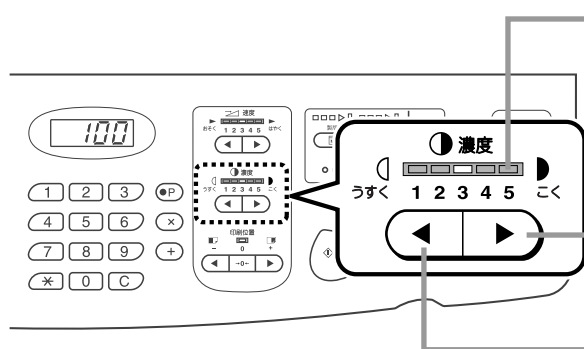
「環境設定」で印刷濃度の初期設定を変更できます。

工場出荷時は3(標準)に設定されています。

☛ P.92「初期設定を変更する／印刷濃度基本設定」



◀ または ▶ を押して印刷濃度を調節する



印刷濃度ランプ

現在の印刷濃度の設定値を表示しています。

▶ キー

一度押すごとに、印刷濃度が1段階ずつ濃くなります。

◀ キー

一度押すごとに、印刷濃度が1段階ずつ薄くなります。

印刷位置を調整する

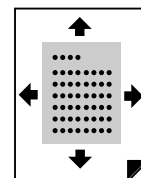
[印刷位置調整]



印刷位置調整キーで天地(上下)方向に、左右位置調整ダイヤル(給紙台)で左右方向に印刷の位置を調整できます。
調整範囲は天地: $\pm 15\text{mm}$ 、左右: $\pm 10\text{mm}$ です。天地の位置は印刷中でも調整できます。

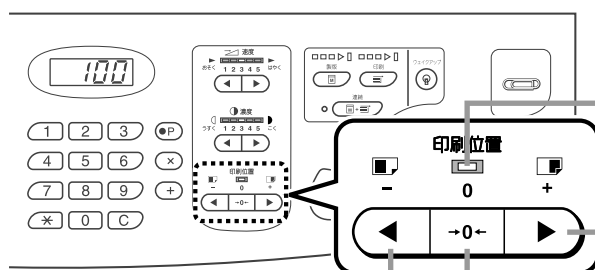


印刷位置を調整したときは、試し刷りをして印刷位置を確認してください。
➡ P.62「試し刷りをする」



■ 天地(上下)位置を調整する

◀ または ▶ を押して、天地(上下)位置を調整する

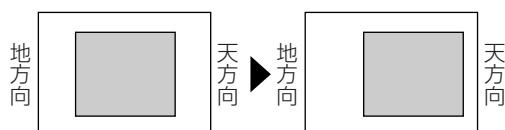


センターランプ

印刷位置が調整前の位置にあるとき、点灯します。

▶ キー

押すごとに印刷面が用紙の天(上)方向に約0.5mmずつ移動します。



-0- キー

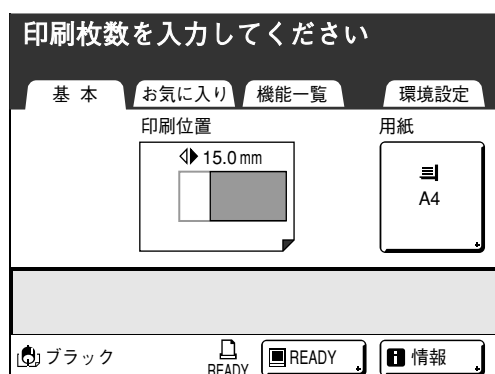
押すと印刷位置が調整前の位置に戻ります。

◀ キー

押すごとに印刷面が用紙の地(下)方向に約0.5mmずつ移動します。



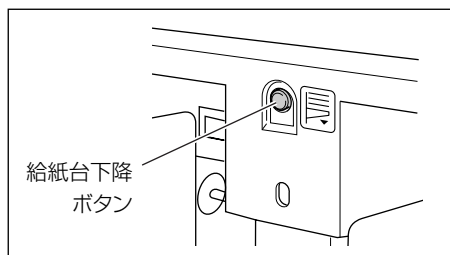
調整結果は印刷基本画面に表示されます。



■ 左右位置を調整する

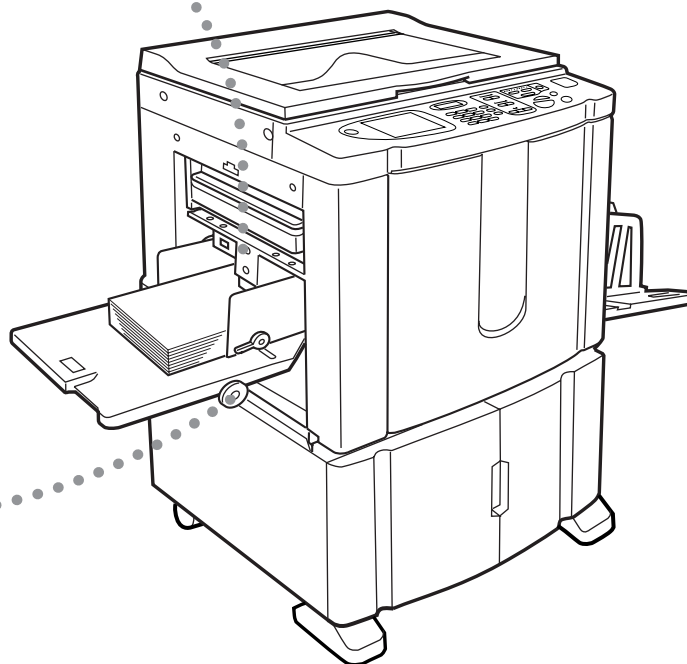
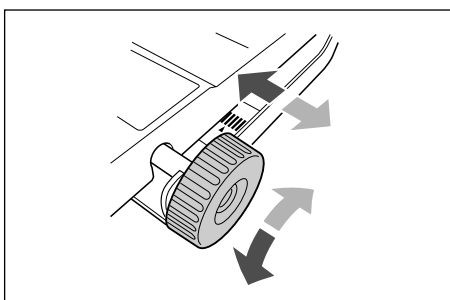
1

給紙台下降ボタンを押して、
給紙台を下げる



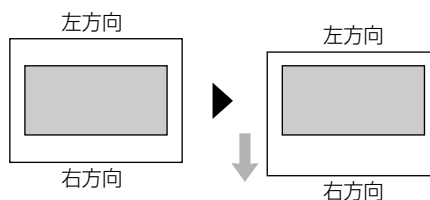
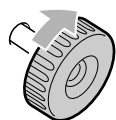
2

左右位置調整ダイヤルを回して、
左右位置を調整する



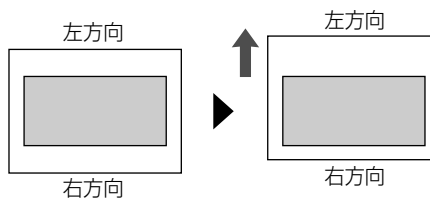
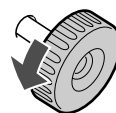
■ 上に回す

用紙 : 右に移動
印刷位置: 左に移動



■ 下に回す

用紙 : 左に移動
印刷位置: 右に移動



目盛りを見ながら、センターからどのくらい移動したかを確認してください。
(調整結果は画面には表示されません。)
目盛りの▲の位置がセンターになります。 を押して、印刷位置を確認してください。

重要

- 左右位置を調整したときは、排紙フェンスも併わせて移動させてください。
☞ P.28「排紙台のセット」
- 左右位置を調整したときは、印刷終了後に必ずセンターに戻してください。

試し刷りをする

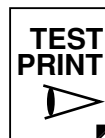
【試し刷り】



印刷の位置や濃度などの調整後、仕上がりを確認できます。
試し刷りをして、枚数カウンターに表示された印刷枚数は変化しません。

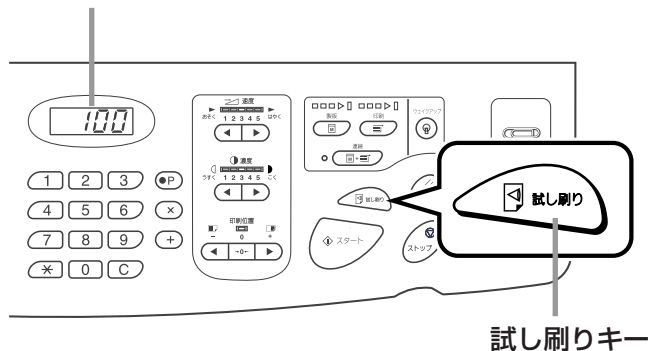
参考

-  を押し続けると、連続して試し刷りができます。
- 連携機(別売)から試し刷りを出力することはできません。



 を押す

枚数カウンター



試し刷りが1枚印刷されます。

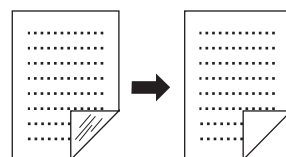
裏移りを防ぐ

【インターバル印刷】

印刷
機能一覧
インターバル印刷

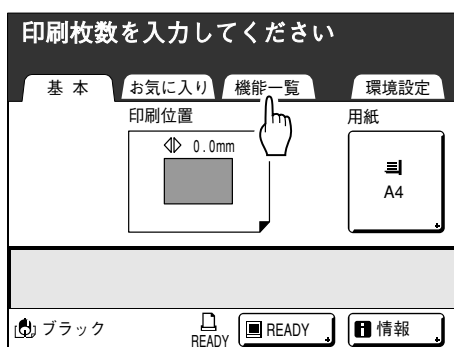
印刷時にドラムを空転させて、排紙の間隔をあけることにより、印刷物の乾燥時間を作り、裏移りを防ぎます。

空転回数は、1～10回の間で設定できます。



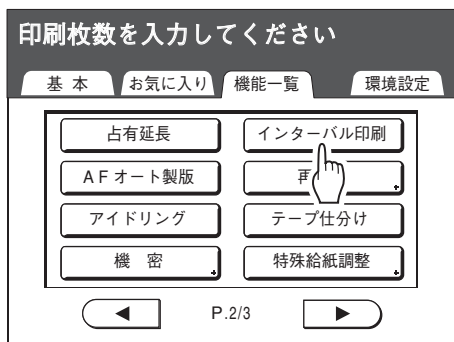
1

印刷基本画面で **機能一覧** にタッチする



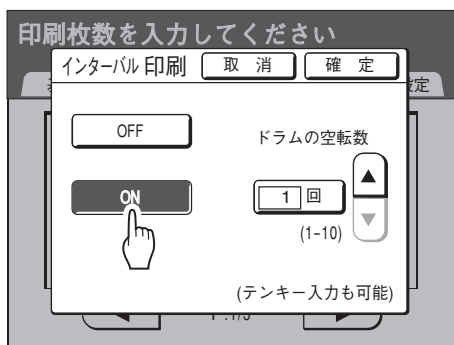
2

インターバル印刷 にタッチする



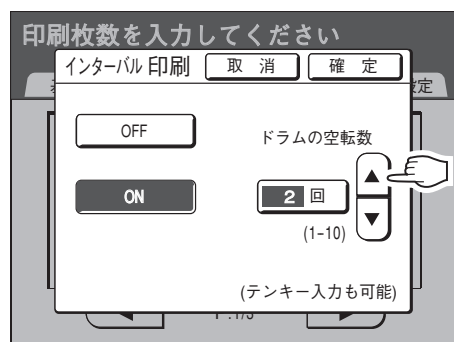
3

ON にタッチする



4

▲ または ▼ にタッチしてドラムの空転数を指定する

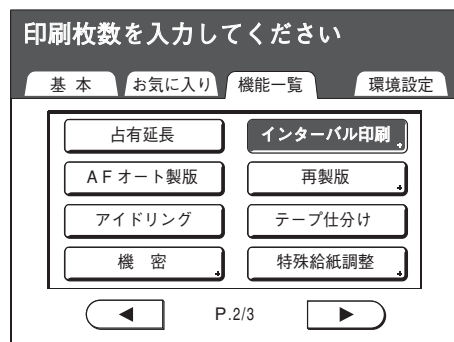
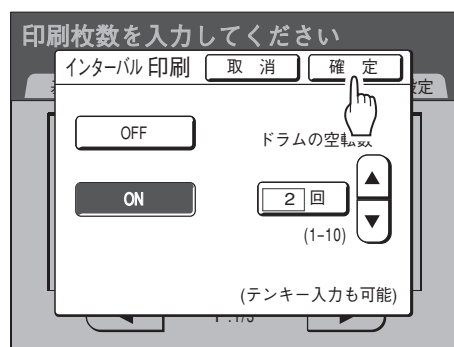


参考

テンキーでも入力できます。

5

確定 にタッチする



機能一覧画面に戻り、指定した「インターバル印刷」に設定されます。

● 印刷するときに設定する機能

特別な設定で排紙を行う

[排紙ウイング特殊]

印刷

機能一覧
排紙ウイング特殊

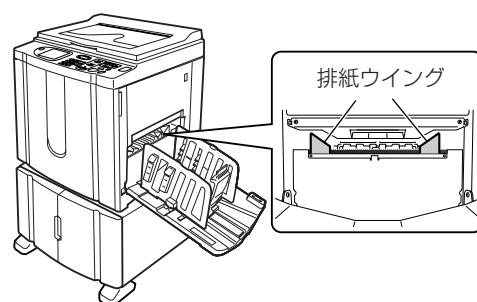
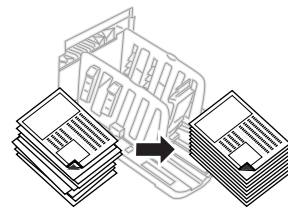
事前に登録してある排紙ウイングの特別な設定を呼び出します。通常、自動的に調節される排紙ウイングの位置では、適切に排紙できない用紙に印刷する場合に使用します。

重要

- 「排紙ウイング特殊」は、あらかじめ登録されている場合のみ、表示されます。
- あらかじめ登録できる設定は1種類です。
- 登録したい場合や、設定を変更したい場合は、お買い上げの販売会社(あるいは保守サービス会社)にご連絡ください。

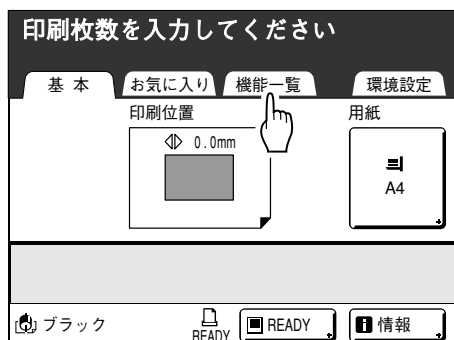
参考

「排紙ウイング」は、印刷物を排紙台に飛ばすための装置です。通常は、給紙台にある「給紙圧調節レバー」の位置(標準/厚紙)によって、自動的に調節されています。



1

印刷基本画面で **機能一覧** にタッチする



2

排紙ウイング特殊 にタッチする



「排紙ウイング特殊」が指定されます。

その他の機能

66 グループに分けてプリントする[プログラム]

- 68 プログラムの設定
- 70 プログラムの登録
- 71 プログラムの名称入力
- 73 プログラムの消去
- 74 プログラムの呼び出し
- 75 プログラムの設定内容の変更

76 メモリー機能を使う[メモリー]

- 77 メモリーの登録
- 78 メモリーの名称入力
- 80 メモリーを呼び出してプリントする
- 82 メモリーの消去

84 占有時間を延長する[占有延長]

85 アイドリングをする[アイドル]

86 機密書類の複製を防止する[機密]

87 再製版する[再製版]

88 最大印刷範囲で製版する[フルサイズ製版]

89 試し刷りを確認しながらプリントする [AFオート製版]

91 初期設定を変更する[環境設定]

- 91 設定可能な項目一覧
- 95 初期設定の変更

97 POP／お気に入りの設定[POP][お気に入り]

101 不定形の用紙を登録する[用紙サイズ登録]

- 101 用紙サイズの登録と名称変更
- 104 登録した用紙サイズの消去

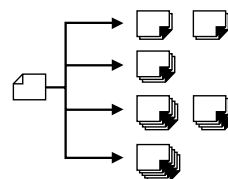
グループに分けてプリントする

[プログラム]

製版

機能一覧
プログラム

「プログラム」は、印刷枚数などをあらかじめ設定することで、そのつど、印刷枚数を入力しないでプリントできる機能です。各区切りで印刷がいったん停止します。設定したプログラムを登録しておくと呼び出して使用することができます。学校などで、各学年のクラスの人数を登録しておくとう便利です。

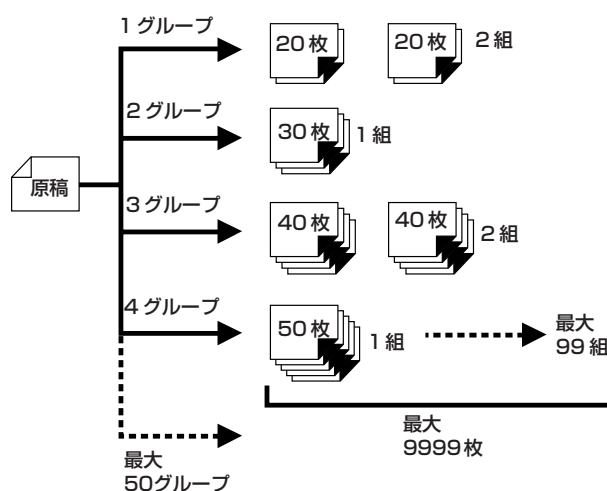


■ 1原稿プログラム

1枚の原稿をいくつかのグループに分けてプリントできます。

最大50グループまで、1グループに最大9999枚で99組まで設定できます。

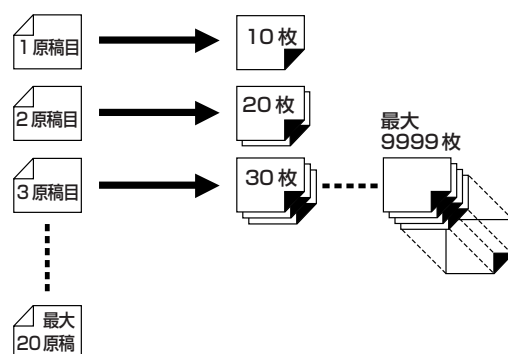
各グループに対して、プリント枚数とその枚数を何組プリントするかを設定できます。



■ 多原稿プログラム

1原稿の最大プリント枚数は9999枚までです。

複数枚の原稿(最大20原稿)をそれぞれ異なる枚数でプリントできます。



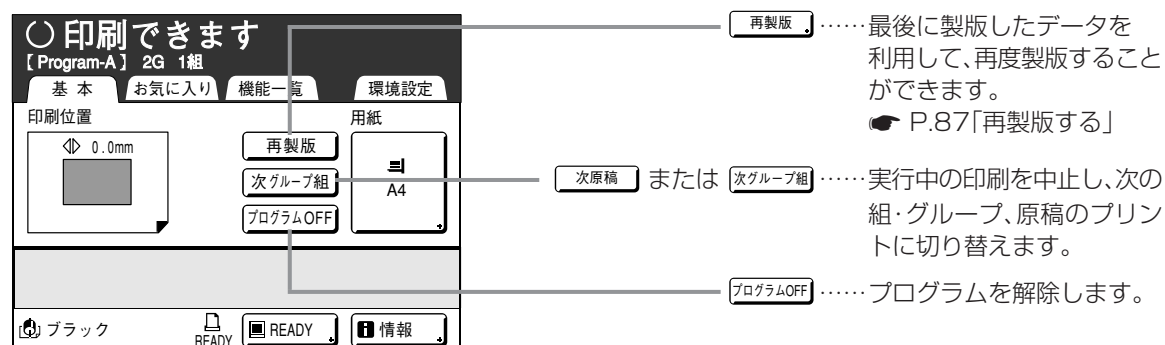
■ プリント方法

プログラムを使用してプリントする方法は、2種類あります。

- ・プログラムを設定してプリント(登録しないでプリントする場合)
- ・登録済みのプログラムを呼び出してプリント(あらかじめ登録した設定でプリントする場合)

印刷基本画面で次の指定ができます。

指定するときは、それぞれのボタンにタッチしてください。



参考

オプションのSTソーターとプログラムを組み合わせると便利です。

STソーターを使用すると、設定した組や原稿の印刷終了ごとに自動的にテープが出力され、仕分けが行われます。組ごとに印刷物を取り除いたり、合紙を入れたりする必要がありません。

STソーターを使用するときは、機能一覧画面で「テープ仕分け」を「ON」にしてください。

STソーターがない場合は、区切りの停止中に排紙台から印刷物を取り出すか、合紙を入れてください。

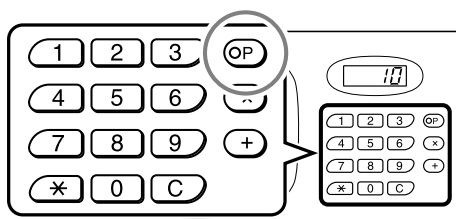
グループに分けてプリントする

プログラムの設定

1 原稿プログラムと多原稿プログラムの設定のしかたを説明します。
プログラムの設定は、タッチパネルの操作のほかに、テンキーとその周辺のキーだけでも操作することができます。

1

OP を押す

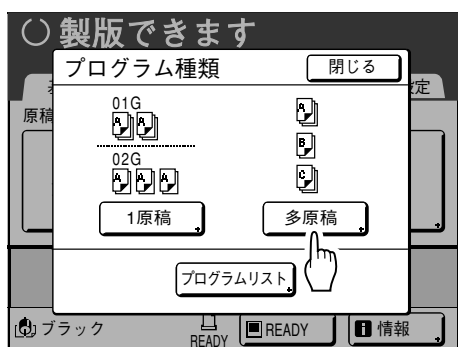
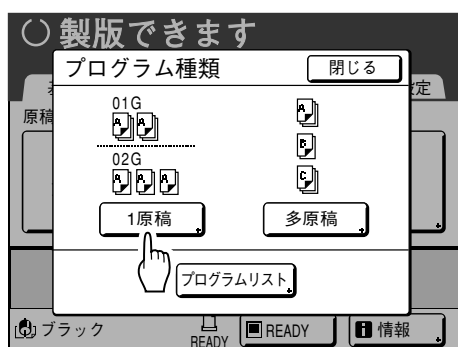


参考

- (x) を押すと「1 原稿プログラム」、(+) を押すと「多原稿プログラム」の入力画面(手順3)にショートカットできます。
- 製版基本画面から、
機能一覧 → プログラム
の順にタッチしても[プログラム種類]画面が表示されます。

2

1原稿 または 多原稿 に
タッチする



3

テンキーで枚数などを入力する

■ 1 原稿プログラムするとき

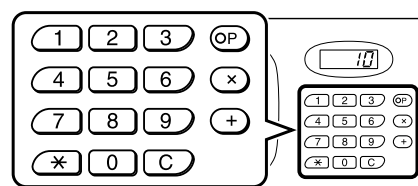
1 原稿プログラム		取消	確定
【Program-A】合計枚数:1280			
枚数	組数	枚数	組数
01G [20]	× [2]	04G [50]	× [5]
02G [30]	× [1]	05G [60]	× [3]
03G [40]	× [2]	06G [70]	× [10]
登録/呼出 変更を上書			
オールC			
P. 1/9			

① テンキーで枚数を入力する

② (x) または (*) を押す

③ テンキーで組数を入力する

④ (+) または (*) を押す



複数のグループを設定するときは、① ~ ④ の手順を繰り返してください。

重要

ここで設定したプログラムを登録するときは、登録/呼出 にタッチしてください。
確定後には登録できません。
登録についてはプログラムの登録(P.70)の手順を参照してください。

■ 多原稿プログラムのとき

多原稿プログラム		取 消	確 定
【 Program-B 】合計枚数:21			
枚数	枚数	登録/呼出 変更を上書 オールC	
原稿01	原稿04		
原稿02	原稿05		
原稿03	原稿06		
P.1/4			

- ① テンキーで枚数を入力する
- ② (+) または (✖) を押す
- ③ 上記 ① ② の手順を繰り返して、各原稿のプリント枚数を入力する

参考

- 枚数または組数をまちがえたときは、**C** を押して消去した後に入力しなおしてください。
- オールC** にタッチすると、入力したすべての枚数と組数を一度に消去できます。
- 入力したすべてのプリント枚数の合計が画面上部に表示され、実際に印刷する枚数を確認できます。

重要

ここで設定したプログラムを登録するときは、**登録/呼出** にタッチしてください。確定後には登録できません。登録については「プログラムの登録」(P.70)の手順を参照してください。

4

確定 にタッチする

1 原稿プログラム		取 消	確 定
【 Program-A 】合計枚数:1280			
枚数	組数	枚数	組数
01G	20 × 2	04G	50 × 5
02G	30 × 1	05G	60 × 3
03G	40 × 2	06G	70 × 10
登録/呼出 変更を上書 オールC			
P.1/9			

○ 製版できます
【 Program-A 】 6G 10組

基本 お気に入り 機能一覧 環境設定

原稿 読み濃度 変倍 用紙

文字 オート 100% A4

ブラック READY 情報

元の画面に戻り、設定したプログラムでプリントできます。

参考

枚数または組数を入力後に **確定** にタッチしなくても、**スタート** を押せばプリントを開始することができます。

グループに分けてプリントする

プログラムの登録

よく使うプログラムの設定を登録しておく、呼び出して繰り返しプリントできます。

1原稿プログラムと多原稿プログラムの設定は、あわせて12件まで登録できます。

1

プログラムを設定する

「プログラムの設定」(P.68)の手順1～3を行います。

2

プログラム画面で「登録/呼出」にタッチする

枚数	組数	枚数	組数
01G [20]	× [2]	04G [50]	× [5]
02G [30]	× [1]	05G [60]	× [3]
03G [40]	× [2]	06G [70]	× [10]

登録/呼出
変更
上書
オールC

3

未登録のボタンにタッチする

登録するボタンを選択してください

登録	P-01	P-05	P-09
呼出	P-02	P-06	P-10
名称変更	P-03	P-07	P-11
消去	P-04	P-08	P-12

実線で表示されている未登録のボタンにタッチしてください。登録済みのプログラムはグレー表示されタッチできません。

4

「確定」にタッチする

プログラムリスト

登録するボタンを選択してください

【P-01】
設定内容を登録します
よろしいですか?

取消 確定

プログラムリスト

P-01に登録しました

登録	P-01	P-05	P-09
呼出	P-02	P-06	P-10
名称変更	P-03	P-07	P-11
消去	P-04	P-08	P-12

設定したプログラムが登録され「プログラムリスト」画面に戻ります。

必要があれば、プログラムの名称入力」(P.71)の手順3へ進んでください。

参考

登録後「プログラムリスト」画面の「閉じる」にタッチするとプログラム画面に戻ります。プログラム画面の「確定」にタッチすると、登録したプログラムでプリントできます。

1 原稿プログラム

【Program-A】合計枚数:1280

枚数	組数	枚数	組数
01G [20]	× [2]	04G [50]	× [5]
02G [30]	× [1]	05G [60]	× [3]
03G [40]	× [2]	06G [70]	× [10]

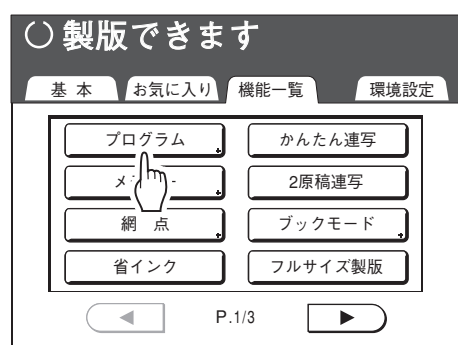
登録/呼出
変更を上書
オールC

プログラムの名称入力

登録したプログラムの名称を、用途や目的に合わせた名称に変更できます。

1

機能一覧画面で **プログラム** にタッチする

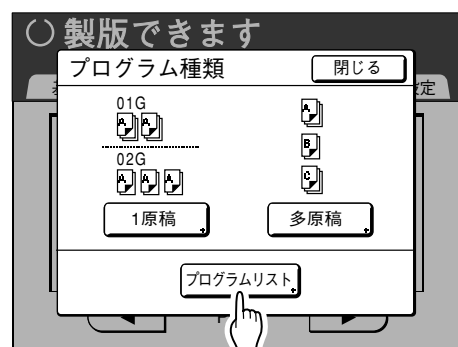


参考

すでに **プログラム** が反転しているときは、タッチするとプログラム画面が表示され[名称入力]画面に進めません。
[プログラムOFF] にタッチ後 **確定** にタッチして機能一覧画面に戻り、再度 **プログラム** にタッチしてください。

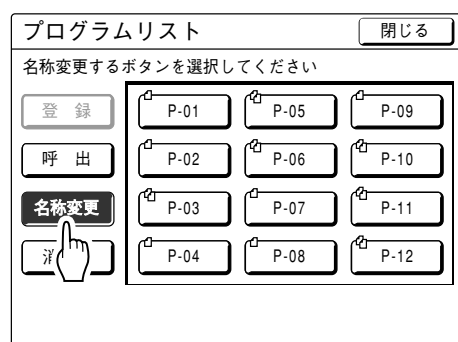
2

プログラムリスト にタッチする



3

名称変更 にタッチする

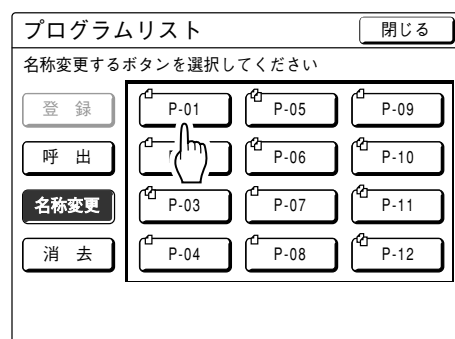


参考

プログラムのボタンの左上に表示される  は1原稿プログラム、 は多原稿プログラムを示しています。

4

名称を入力したいプログラムにタッチする



5

文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☛ P.72「名称入力画面について」

グループに分けてプリントする

6

すべての文字を入力後、**確定**にタッチする

名称入力 **取消** **確定**

エイゴ1年 **◀C**

英小文字 英大文字 カナ **カナ拡張**

ヤ	ア	全	学	年	バ	バ	ダ	ザ	ガ
ユ	イ	県	校	組	ビ	ビ	ヂ	ジ	ギ
ヨ	ウ	市	期	部	ブ	ブ	ツ	ズ	グ
ッ	エ	町	科	課	ベ	ベ	デ	ゼ	ゲ
	オ	村	月	係	ボ	ボ	ド	ゾ	ゴ

プログラムリスト **閉じる**

名称変更するボタンを選択してください

登録	エイゴ1年	P-05	P-09
呼出	P-02	P-06	P-10
名称変更	P-03	P-07	P-11
消去	P-04	P-08	P-12

[プログラムリスト]画面に戻り、入力した名称が登録されます。

名称入力画面について

■英小文字

名称入力 **取消** **確定**

英小文字 英大文字 カナ カナ拡張

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
q	w	e	r	t	y	u	i	o	p
a	s	d	f	g	h	j	k	l	
z	x	c	v	b	n	m			
	=	+	-	_	,	.	!	~	`

■英大文字

名称入力 **取消** **確定**

英小文字 **英大文字** カナ カナ拡張

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P
A	S	D	F	G	H	J	K	L	
Z	X	C	V	B	N	M			
	#	\$	%	&	@	(	)	[	]

■カナ

名称入力 **取消** **確定**

英小文字 英大文字 **カナ** カナ拡張

ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア
ヲ	リ	ユ	ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ
ン	ル	ヨ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ
。レ	ー	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	
	ロ	/	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ

■カナ拡張

名称入力 **取消** **確定**

英小文字 英大文字 カナ **カナ拡張**

ヤ	ア	全	学	年	バ	バ	ダ	ザ	ガ
ユ	イ	県	校	組	ビ	ビ	ヂ	ジ	ギ
ヨ	ウ	市	期	部	ブ	ブ	ツ	ズ	グ
ッ	エ	町	科	課	ベ	ベ	デ	ゼ	ゲ
	オ	村	月	係	ボ	ボ	ド	ゾ	ゴ

参考

- カナは最大で5文字まで、英数字は最大で10文字まで入力できます。
- 数字はテンキーでの入力もできます。
- あらかじめ登録してある名称や、入力した文字を消去するときは **◀C** にタッチしてください。1回タッチするたびに、1文字消去されます。

プログラムの消去

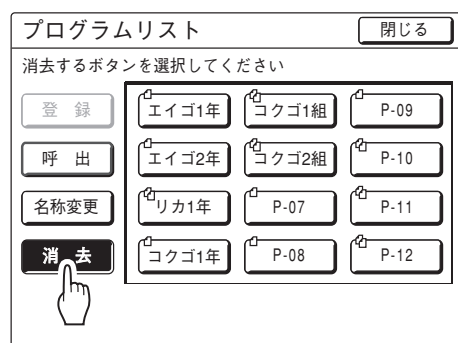
1

【プログラムリスト】画面を表示させる

「プログラムの呼び出し」(P.74)の手順1、2を行います。

2

消去 にタッチする



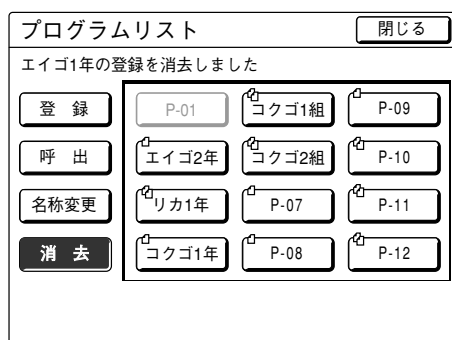
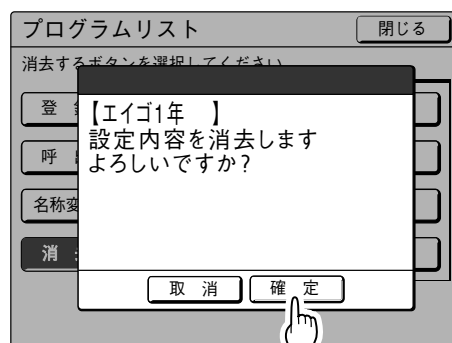
3

消去するプログラムにタッチする



4

確定 にタッチする



選択したプログラムが消去され【プログラムリスト】画面に戻ります。

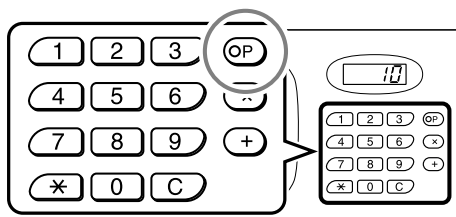
グループに分けてプリントする

プログラムの呼び出し

登録済みのプログラムを呼び出して、プリントや設定内容の変更ができます。

1

OP を押す

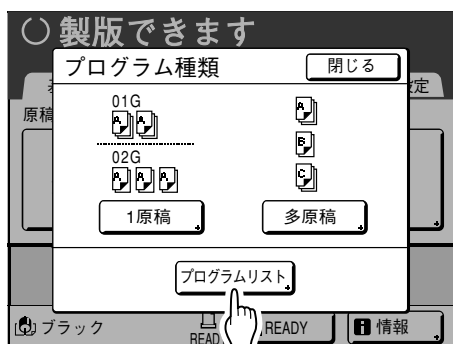


参考

製版基本画面から、
機能一覧 → プログラム
の順にタッチしても[プログラム種類]画面が表示されます。

2

プログラムリスト にタッチする



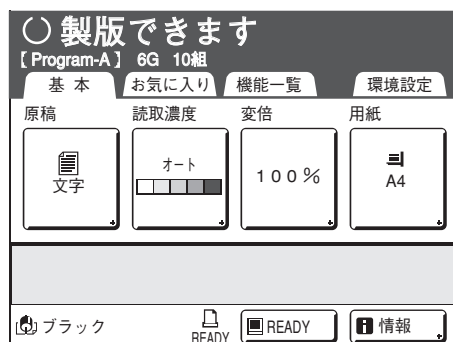
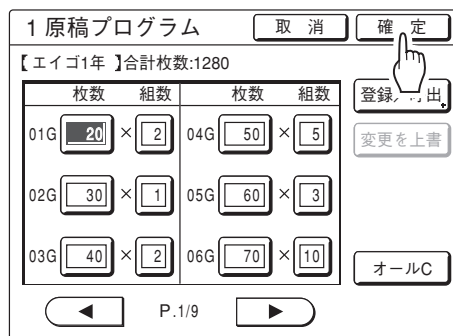
3

呼び出したいプログラムに
タッチする



4

確定 にタッチする



元の画面に戻り、呼び出したプログラムで
プリントできます。

プログラムの設定内容の変更

1

変更したいプログラムを呼び出す

「プログラムの呼び出し」(P.74)の手順1～3を行います。

2

プログラムの設定を変更する

表示された画面で、枚数や組数を変更します。

参考

設定については「プログラムの設定」(P.68)の手順を参照してください。

3

変更を上書 にタッチする

1 原稿プログラム 取消 確定

【P-01】 合計枚数:1146

枚数	組数	枚数	組数	登録/呼出
01G 50	× 2	04G 28	× 6	登録/呼出 変更を上書 オールC
02G 30	× 5	05G 20	× 8	
03G 34	× 2	06G 50	× 10	

P.1/9

4

確定 にタッチする

1 原稿プログラム 取消 確定

【P-01】 合計枚数:1146

【P-01】
設定内容を上書きします
よろしいですか?

取消 確定

1 原稿プログラム 取消 確定

【P-01】 合計枚数:1146

枚数	組数	枚数	組数	登録/呼出
01G 50	× 2	04G 28	× 6	登録/呼出 変更を上書 オールC
02G 30	× 5	05G 20	× 8	
03G 34	× 2	06G 50	× 10	

P.1/9

変更したプログラム設定が上書き登録され、プログラム画面に戻ります。

メモリー機能を使う

[メモリー]

その他

機能一覧
メモリー

プリント時に行った各種の設定をメモリーに登録できます。以後、同様の設定でプリントをしたいときには、登録したメモリーを呼び出すだけでプリントができます。最大10件の登録が可能です。

メモリーに登録できる設定は次のとおりです。

原稿モード	フルサイズ製版	印刷位置(天地のみ)	電子ソート※2	パンチ※2
網点	ブック	特殊給紙調整	両面※2	中綴じ※2
読取濃度	かんたん連写	排紙ウィング特殊	フェイスアップ※2	回転ソート※2
省インク	2原稿連写	連続	区分積み※2	
変倍	印刷枚数	インターバル印刷	メールボックス※2	
周囲余白	印刷速度	AFオート製版※1	ソート※2	
用紙サイズ	印刷濃度	テープ仕分け※1	ステーブル※2	

※1 本機のオプション装着時のみ

※2 連携機(Prio)のオプション装着時のみ

[メモリー]画面の表示方法は、2種類あります。

- ディスプレイで **機能一覧** → **メモリー** の順にタッチする方法
- テンキー部分の **✕** を押す方法

メモリー

閉じる

登録するボタンを選択してください

登録

呼出

名称変更

消去

1 RISO NEWS

2 M-2

3 M-3

4 M-4

5 M-5

6 M-6

7 M-7

8 M-8

9 M-9

0 M-10

以下の手順ではディスプレイにタッチする方法で説明します。

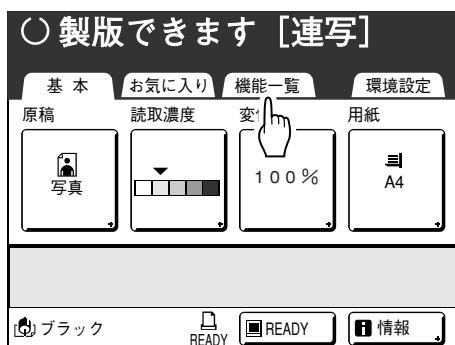
メモリーの登録

1

各種のプリント機能を設定する

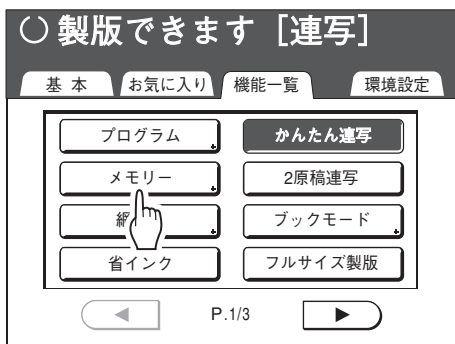
2

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



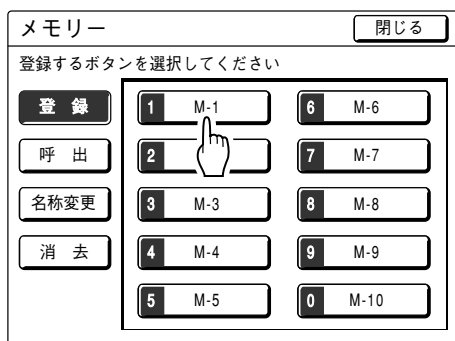
3

メモリー にタッチする



4

未登録のボタンにタッチする



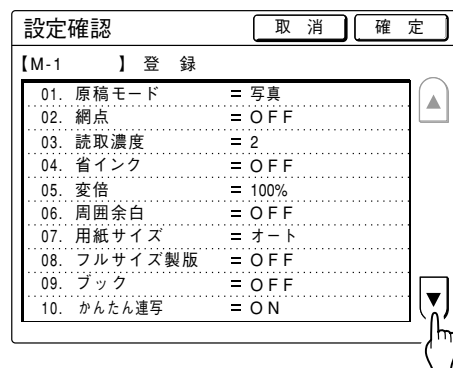
実線で表示されているボタンが未登録です。登録済みのメモリーはグレー表示されタッチできません。

参考

〔*〕を使って表示させた場合は **登録** にタッチしてから、登録するボタンにタッチしてください。

5

設定内容を確認する



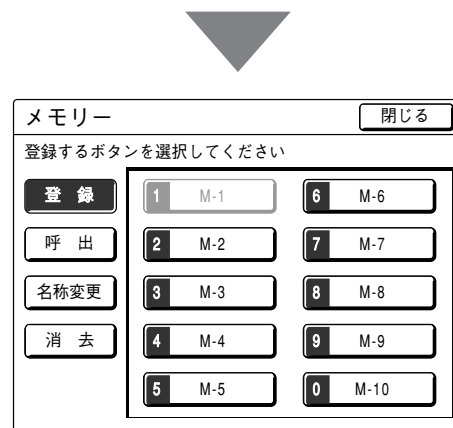
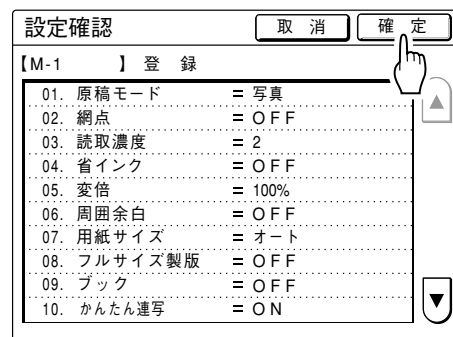
〔*〕にタッチして最後の項目まで確認してください。

参考

変更したい内容があるときは **取消** にタッチして、設定をしなおしてください。

6

確定 にタッチする



〔メモリー〕画面に戻り、指定した設定が登録されます。

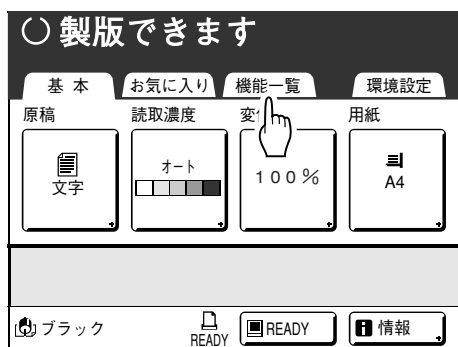
必要があればメモリーの名称入力(P.78)の手順3に進んでください。

メモリー機能を使う

メモリーの名称入力

1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



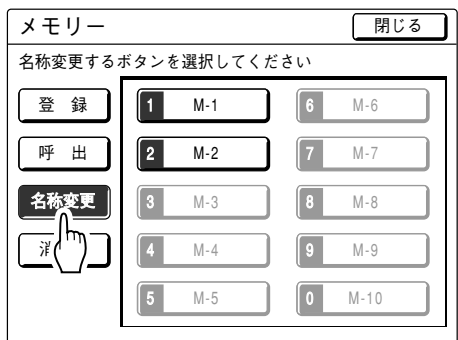
2

メモリー にタッチする



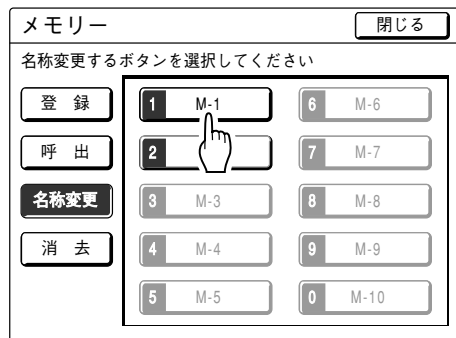
3

名称変更 にタッチする



4

名称を入力したいメモリーにタッチする



未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。

5

文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する

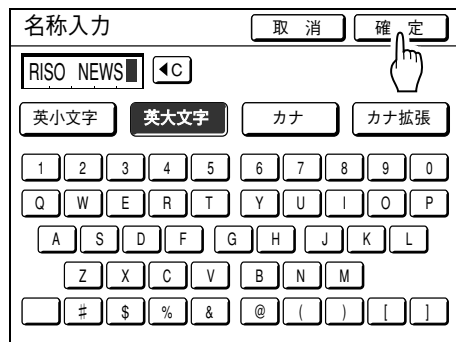


入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☞ P.72「名称入力画面について」

6

すべての文字を入力した後 **確定** にタッチする



入力した名称が登録され[メモリー]画面に戻ります。

7

閉じる にタッチする

メモリー

閉じる

名称変更するボタンを選択してください

登録	1 RISO NEWS	6 M-6
呼出	2 M-2	7 M-7
名称変更	3 M-3	8 M-8
消去	4 M-4	9 M-9
	5 M-5	0 M-10

○ 製版できます

基本 お気に入り 機能一覧 環境設定

プログラム	かんたん連写
メモリー	2原稿連写
網点	ブックモード
省インク	フルサイズ製版

◀

P.1/3

▶

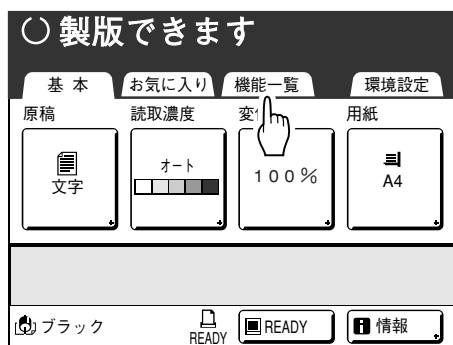
機能一覧画面に戻ります。

メモリー機能を使う

メモリーを呼び出してプリントする

1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



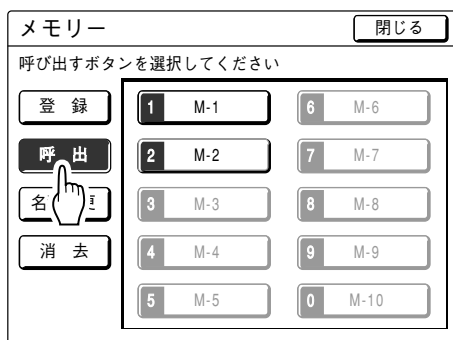
2

メモリー にタッチする



3

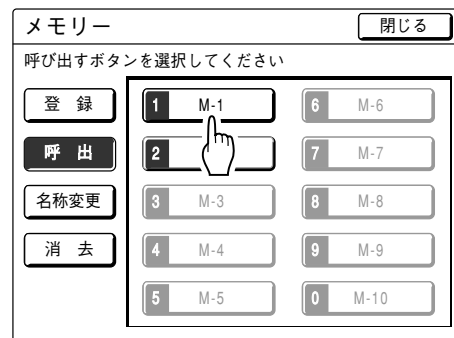
呼出 にタッチする



未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。

4

呼び出すボタンにタッチする



参考

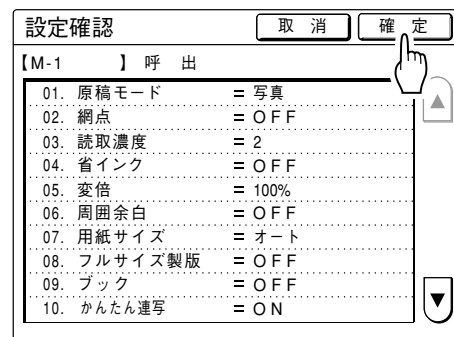
テンキーの入力で呼び出すこともできます。

M-1～9…… **1** ～ **9**

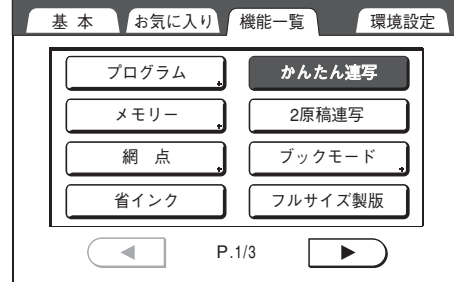
M-10…… **0**

5

設定内容を確認して、**確定** にタッチする



○製版できます [連写]



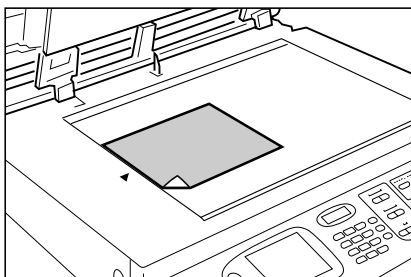
機能一覧画面に戻り、呼び出したメモリーの設定でプリントができます。

6

原稿をセットする

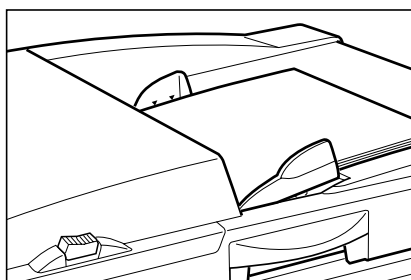
■ 原稿台ガラスへのセット

原稿台ガラス左の表示に合わせて、原稿面を下にしてセットします。



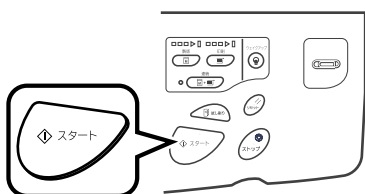
■ 自動原稿送り装置(オプション)へのセット

原稿面を下にしてセットします。



7

スタートを押す

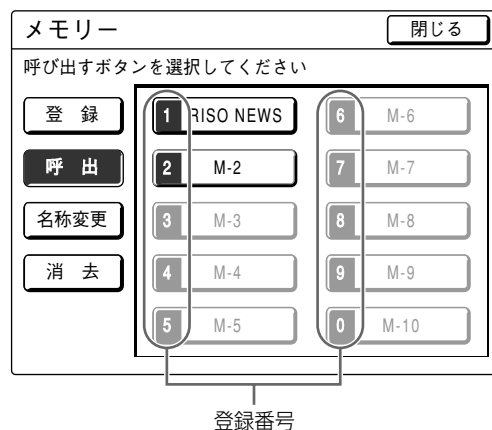


メモリーの設定にしたがって製版・印刷が行われます。

かんたんな呼び出しかた

ディスプレイにタッチせずに、キー操作だけでメモリーの呼び出しができます。

たとえば、M-2を呼び出してプリントしたい場合には、**※**、**2**、**スタート**の順にキーを押せば、M-2が呼び出されてプリントが開始されます。

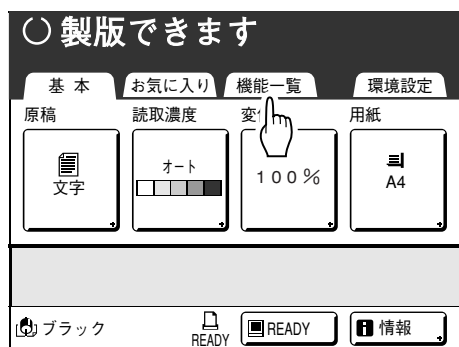


メモリー機能を使う

メモリーの消去

1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



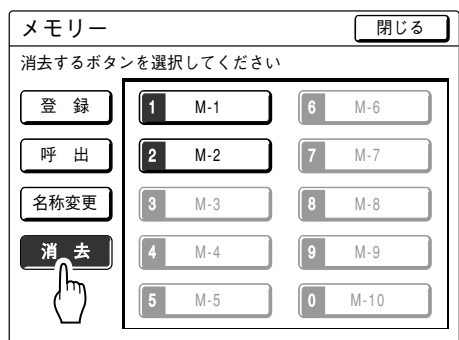
2

メモリー にタッチする



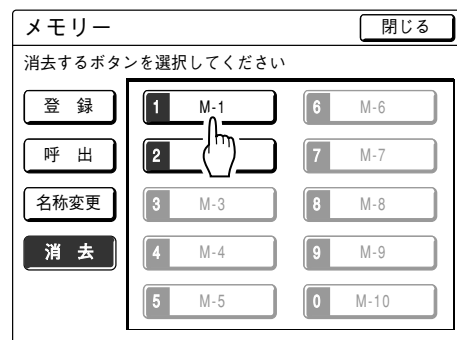
3

消去 にタッチする



4

消去するボタンにタッチする

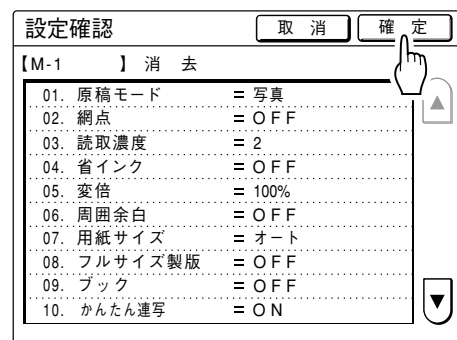


重要

- 消去して良い設定内容かどうかを確認してください。
- 確定後は復帰させることはできません。
- 一度消去したものは復帰させることはできません。

5

確定 にタッチする



6

閉じる にタッチする

メモリー

閉じる

消去するボタンを選択してください

登録	1 M-1	6 M-6
呼出	2 M-2	7 M-7
名称変更	3 M-3	8 M-8
消去	4 M-4	9 M-9
	5 M-5	0 M-10



○ 製版できます

基本 お気に入り 機能一覧 環境設定

プログラム	かんたん連写
メモリー	2原稿連写
網点	ブックモード
省インク	フルサイズ製版

◀ P.1/3 ▶

機能一覧画面に戻ります。

占有時間を延長する

[占有延長]

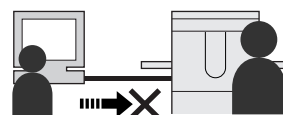
印刷

機能一覧
占有延長

パソコンと接続した環境でご使用の場合に便利な機能です。印刷の途中でも、本機が動作していないときや操作していない状態で一定の時間(占有時間)が経過すると、本機は作業が終了したと認識します。

その際に、他の人がパソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理が行われ、使用中のマスターを排版し、製版が行われてしまいます。

このような割り込みは「占有延長」を延長することで防止できます。印刷作業を一時中断するときや、チラシの印刷中などで割り込まれたくない場合などには「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。

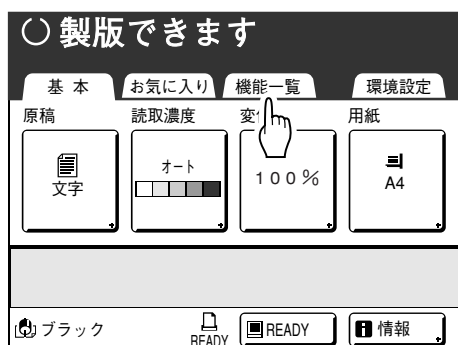


参考

- 「環境設定」で「占有延長」を設定したときに延長される時間を、5分、10分、30分から選ぶことができます。工場出荷時は5分に設定されています。
☛ P.93「初期設定を変更する／占有延長時間」
- 次のときは、占有時間にカウントされません。
 - ・ 本機が動作しているとき(製版、印刷、機密、アイドルリングなど)
 - ・ STソーター(オプション)が単独で動作しているとき
 - ・ 操作パネルのキーやボタン等を操作しているとき
- 占有時間延長中には、オートスリープ／オートシャットOFFなどは実行されません。
オートスリープ／オートシャットOFF : 「占有延長」終了後からカウントして動作します。
オートシャットOFF時刻 : 次の日のその時刻までシャットOFFしません。
☛ P.93「初期設定を変更する／省エネモード」

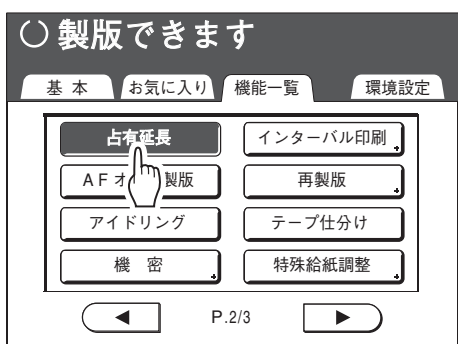
1

製版基本画面で **機能一覧** に
タッチする



2

占有延長 にタッチする



「占有時間」が延長されます。

アイドリングをする

【アイドリング】

製版

機能一覧
アイドリング

長時間使用していないときや、ドラムを交換したときに印刷を行うと、刷り始めの数枚が薄く印刷されることがあります。製版前に「アイドリング」を行うことにより、刷り始めから鮮明に印刷ができ、余分な用紙の使用も減らすことができます。

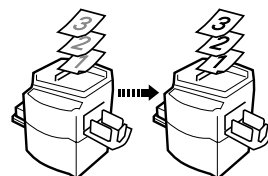


「アイドリング」は製版から行う場合に有効です。印刷しか行わない場合には「アイドリング」を設定しても実行されません。

参考

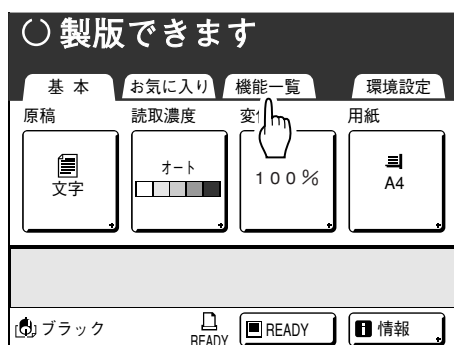
「環境設定」で「オートアイドリング」を設定すると、最後の印刷から未使用の状態で一定以上の時間が経過すると、次の製版の前に自動で「アイドリング」を実行します。

☛ P.93「初期設定を変更する／オートアイドリング」



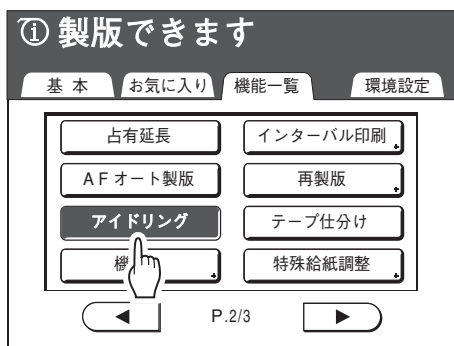
1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



2

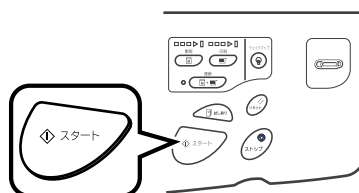
アイドリング にタッチする



画面に ① が表示されます。

3

スタート を押す



アイドリングしています...



「アイドリング」を行った後に製版を開始します。

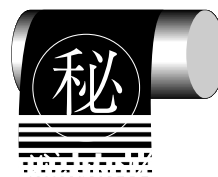
機密書類の複製を防止する

[機密]

その他

機能一覧
機密

プリント終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。「機密」を実行すると、ドラム上のマスターは廃棄され、試験問題や名簿のような機密書類の不正な印刷を防止できます。



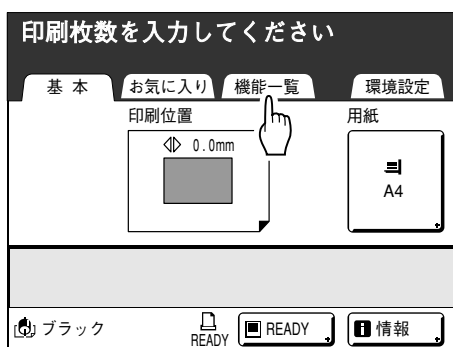
1

印刷の終了を確認する

すべての印刷が終了していることを確認します。

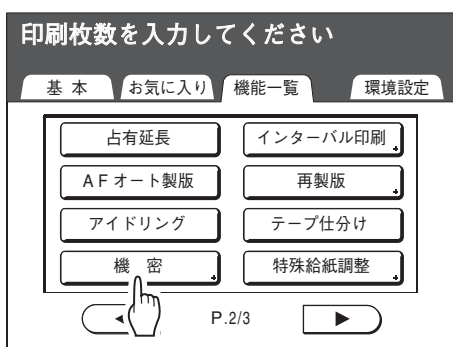
2

印刷基本画面で「機能一覧」にタッチする



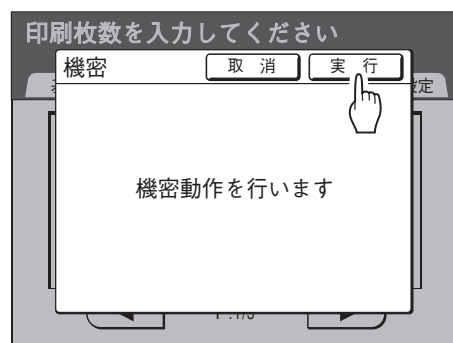
3

「機密」にタッチする



4

「実行」にタッチする



機密動作しています...

現在のマスターが廃棄され、ドラムに新しいマスターが装着されます。

参考

「機密」を行った後に「再製版」はできません。

再製版する

〔再製版〕

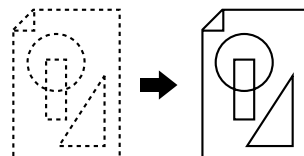
その他

機能一覧
再製版

最後に製版したマスターのデータは、本機に一時的に記憶されています。
そのデータを利用することで、あらためて原稿をセットすることなく、
同じ設定で再度マスターを製版できます。

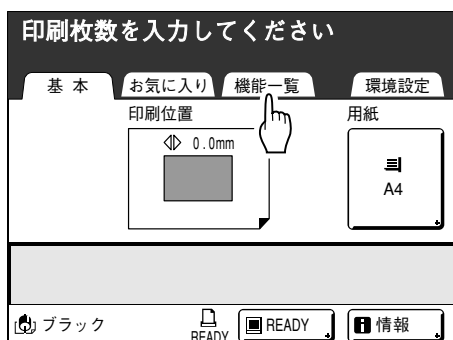
参考

- パソコンから送ったデータも「再製版」ができます。ただし、複数ページのジョブ終了後は、最終ページのみ実行されます。
- 「再製版」は、次の状態では実行できません。
 - ・ 起動直後
 - ・  を押した後
 - ・ 機密実行後
 - ・ 連写実行後
 - ・ カードカウンター(オプション)集計製版後
 - ・ ブックモード実行後
 - ・ 製版完了前にエラーが発生したとき
 - ・ RLP出力実行後



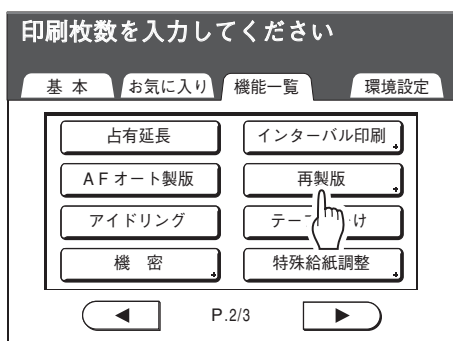
1

印刷基本画面で **機能一覧** に
タッチする



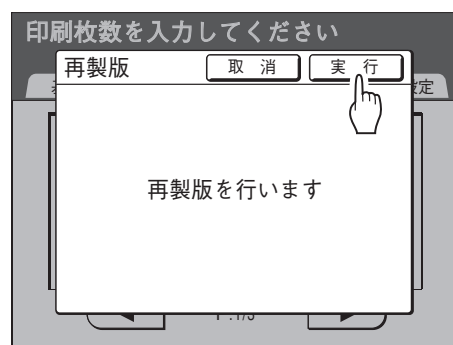
2

再製版 にタッチする



3

実行 にタッチする



再製版しています...

「再製版」を開始します。

最大印刷範囲で製版する

[フルサイズ製版]

製版

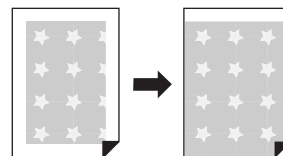
機能一覧
フルサイズ製版

通常の製版では、印刷用紙の周囲に余白ができるように用紙サイズを検知して、サイズ規制をかけています。これは紙詰まりや、内部のローラーがインクで汚れることを防ぐためです。

「フルサイズ製版」を設定すると、印刷用紙や原稿のサイズにかかわらず、最大印刷範囲のサイズで原稿を読み取って製版を行います。

必ず、原稿と印刷用紙のサイズを確認してから実行してください。

☞ P.11「印刷範囲について」

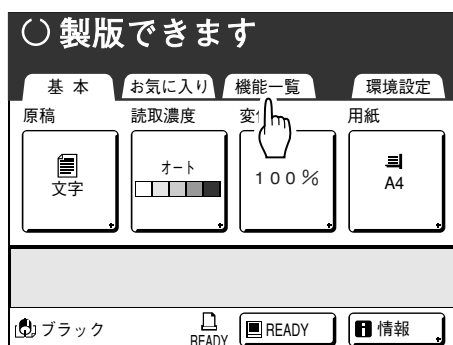


重要

- 天方向5mmは製版できません。
- 給紙台には、製版された原稿よりも小さいサイズの印刷用紙をセットしないでください。本機内部のローラーなどにインクが付着する恐れがあります。
- 原稿台ガラス全体に汚れがないか確認してください。
最大印刷範囲で読み取るため、原稿より外側にある汚れも製版され、内部のローラーを汚す原因となります。

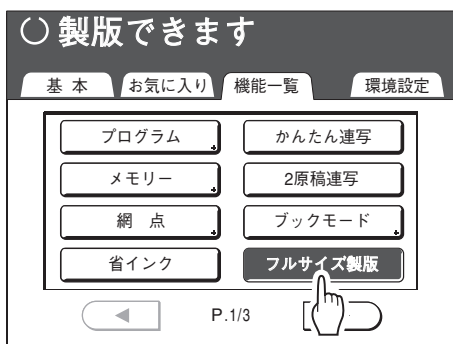
1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



2

フルサイズ製版 にタッチする



「フルサイズ製版」が設定されます。

試し刷りを確認しながらプリントする

【AFオート製版】

(オプションの自動原稿送り装置を装備の場合)

製版

機能一覧
AFオート製版

自動原稿送り装置にセットした複数の原稿を「連続」でプリントすると、すべてのプリントを自動で行うことができますが、原稿ごとの仕上がりは確認できません。「AFオート製版」を設定すると、原稿ごとに製版後の試し刷りをした時点で停止するので、一枚ずつ仕上がりを確認できます。

重要

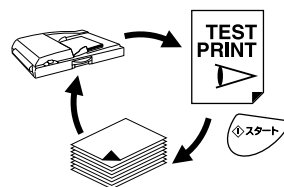
「AFオート製版」を使用するときには「連続」を「OFF」にしてください。

➡ P.48「続けてプリントする」

参考

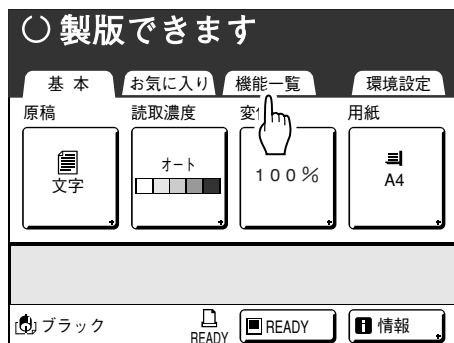
「環境設定」で「AFオート製版」の初期設定を変更できます。

➡ P.92「初期設定を変更する／AFオート製版基本」



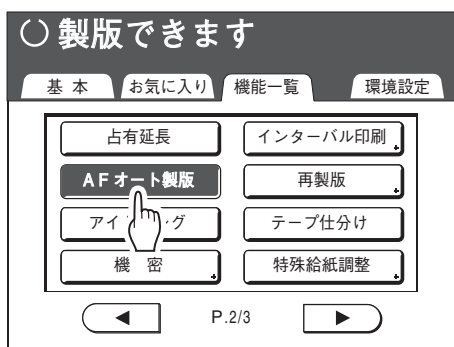
1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



2

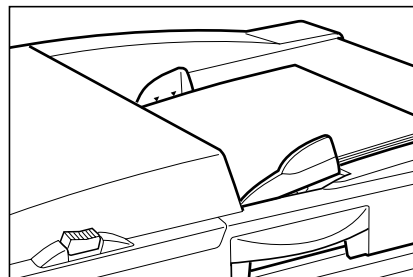
AFオート製版 にタッチする



「AFオート製版」が設定されます。

3

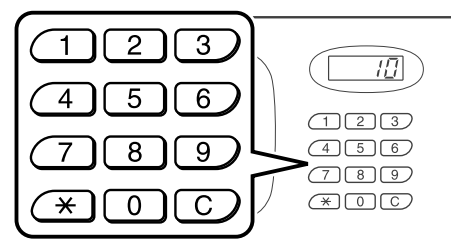
原稿を自動原稿送り装置にセットする



原稿をセットすると、自動的に製版基本画面に切り替わります。

4

テンキーで印刷枚数を入力する



入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

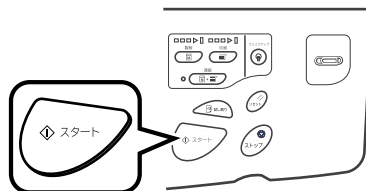
参考

枚数の入力をまちがえたときは、**C** を押して消去した後に入力しなおしてください。

試し刷りを確認しながらプリントする

5

◇スタートを押す



製版を開始し、試し刷りを出して停止します。

6

試し刷りを確認する

必要があれば、各種調整を行うことができます。

7

◇スタートを押す

指定した枚数の印刷後に、次の原稿を製版して、試し刷りで停止します。

以降手順6、7を繰り返してください。

初期設定を変更する

【環境設定】

その他

環境設定

使用状況に合わせて、各種の設定の初期値を変更できます。
変更された内容を設定しなおすこともできます。

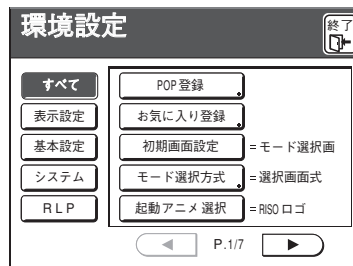
重要

使用環境により「環境設定」が設定できない(「環境設定」が表示されていない)場合があります。

詳しくはお買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にお問い合わせください。

参考

初期設定(設定の初期値)とは、電源を「ON」にしたときや、を押したときに戻る設定値です。

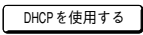
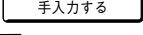


設定可能な項目一覧

は工場出荷時の初期設定です。

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
表示設定	POP登録 各モードの基本画面に、よく使う機能を登録できます。	 P. 97「POP／お気に入りの設定」
	お気に入り登録 各モードのお気に入り画面に、よく使う機能を登録できます。	 P. 97「POP／お気に入りの設定」
	初期画面設定 起動直後に最初に表示される画面を変更できます。 参考 モード選択画面はモード選択方式で「モード選択画面式」を選択した場合にのみ表示されます。	モード選択画面・製版／印刷・(RLP)
	モード選択方式  を押したときに表示される画面を変更できます。	モード選択画面式・ループ式
	起動アニメ選択 起動したときに表示される画面(アニメ)を変更できます。	RISOロゴ・  ・マスコット
	液晶表示調整 画面の背景色と濃さおよび明るさを変更できます。	背景色: 白・青 濃さ: -5～  ～+5 明るさ: -2～  ～+2
	表示言語 画面に表示される言語を設定します。 重要  設定を変更する場合は、販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。	#01～

初期設定を変更する

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
基本設定	原稿モード基本設定 「原稿モード」の初期設定を変更します。	文字・写真・文字／写真・えんぴつ
	読取濃度基本設定 「読取濃度」の初期設定を変更します。	1・2・3・4・5・オート
	印刷速度基本設定 「印刷速度」の初期設定を変更します。	1・2・3・4・5
	印刷濃度基本設定 「印刷濃度」の初期設定を変更します。	1・2・3・4・5
	OP連続自動設定 オプションの自動原稿送り装置またはSTソーター装備時に「連続」を自動的に「ON」にするかしないかを設定します。	ON・OFF
	AFオート製版基本 自動原稿送り装置(オプション)装備時に「AFオート製版」の初期設定を変更します。	ON・OFF
	連続基本設定 「連続」の初期設定を変更します。	ON・OFF
	テープ仕分け基本設定 STソーター(オプション)装備時に「テープ仕分け」の初期設定を変更します。	ON・OFF
	排紙ウイング特殊基本 排紙ウイング位置の基本設定を変更します。  重要 この設定は、あらかじめ特殊用紙の設定をしている場合にのみ表示されます。設定が必要な場合は、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。	ON・OFF
システム	用紙サイズ登録 不定形の印刷用紙を使用するときに、あらかじめ用紙のサイズを登録します。	 P.102「不定形の用紙を登録する」
	本機IPアドレス設定 本機をネットワークに接続するためのIPアドレスを設定します。 IPアドレスの設定は、本システムを取り込むネットワークの管理方法によって異なります。  参考 入力先を切り替えるときは、直接ボタンにタッチするか、  を押して移動させてください。	 DHCPサーバーを使用するとき  DHCPを使用する  手入力でIPアドレスを設定するとき  手入力する  またはテンキー
	周囲余白縮小率 周囲余白縮小率の初期設定を変更します。	90～99% (工場出荷時94%)
	日時設定 本機に内蔵されている時計の設定を行います。 時刻は[ 情報]画面に表示されます。  P.122「  情報 ( 情報ボタン)について」	年／月／日 時：分
	連写待ち時間 「2原稿連写」をするときに、次の原稿をセットするまでの待ち時間を設定します。	15秒・30秒

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
システム	占有時間 本機を操作していない状態で、一定の間、パソコンからの原稿データの出力指示を制限する(受信のみ可能)時間を変更します。	OFF・15秒・30秒・60秒
	占有延長時間 「占有延長」を設定したときにデータの割り込みを制限できる時間を変更します。	5分・10分・30分
	オートクリア設定 一定時間使用しない場合に、設定を自動的に初期設定に戻します。	● オートクリア設定 無効・有効 ● 動作までの時間 1～60分(工場出荷時5分)
	省エネモード 本機を一定時間使用しないときに、電源を自動的に切ったり、スリープ状態にすることができます。 ● 無効 電源スイッチの「ON」／「OFF」に従い「省エネモード」には切り替えません。 ● オートスリープ パソコンからの原稿データの受信のみを可能にし、その他は電源を切った状態にします。 ● オートシャットOFF 電源を自動的に切ります。(データを受信しません。)	● 省エネモード 無効・オートスリープ・オートシャットOFF ● 動作までの時間 1～60分(工場出荷時5分)
	シャットOFF時刻 設定した時刻になると、本機の電源を自動的に切ります。ただし、設定した時刻に本機(外部接続機器を含む)を使用していたり、データを受信していたときには「シャットOFF」されません。	● シャットOFF時刻 無効・有効 ● シャットOFFする時間 時：分
	オートアイドリング 一定以上の時間、未使用の状態が続いたとき、次の製版時に自動的に「アイドリング」を行うかどうかを設定します。 まだ「オートアイドリング」開始までの時間、および動作回数を設定できます。	● オートアイドリング 無効・有効 ● 未使用时间 1～12時間 ● 動作回数 1～3回
	最低印刷枚数 最低印刷枚数を設定します。 設定枚数未満の印刷枚数が入力されたときは、製版できません。 重要 設定値を変更できないようにロックをかけることができます。詳細についてはお買い上げの販売会社(あるいは、保守・サービス会社)にお問い合わせください。	無効・有効[2～99枚]
	サブライ在庫管理 現在の在庫数が確認できるように、購入した本数を入力しておきます。 参考 在庫が「確認在庫数」で入力した本数以下になると、画面に確認メッセージが表示されます。	● 購入した本数 1～99本 ● 確認在庫数 0～99本

初期設定を変更する

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
システム	ブザー音 キー・ボタン操作時やエラー発生時のブザー音の有無を設定します。 ● ON キー・ボタン操作時やイベントの発生・終了時などブザー音が設定されている場面すべてでブザー音を鳴らします。 ● 限定 キー・ボタン操作時、本機の復帰動作中にはブザー音を鳴らしません。 ● OFF ブザー音は鳴らしません。	OFF・限定・ON
RLP 連携機Prioaを接続してお使いの場合のみ表示されます。	RLP情報設定	☛ P.107「連携機を使うための準備」
	自動振分枚数 出力先を切り替えるときの基準の印刷枚数を設定します。入力した印刷枚数が自動振分枚数未満のときは連携機から、設定した枚数以上のときは本機からそれぞれ出力されます。 参考 ● 初期値は20枚に設定されています。 ● 「自動振分枚数」を「有効」に設定しているときは「最低印刷枚数」は設定できません。	有効[自動振分枚数] 2～99枚／無効 (工場出荷時20枚)
	RLP両面待ち時間 両面印刷をするときに、2枚目の原稿をセットするための待ち時間を設定します。	15秒・30秒
	受信ジョブ自動振分 パソコンから受信したデータを「自動振分枚数」の設定値で自動振分するかしないかを設定できます。 参考 「自動振分枚数」が「無効」に設定されていると、この項目はグレー表示になり設定できません。	有効・無効
	RLP情報取得時間 連携機からの情報を本機が取得するタイミングを設定します。	1～999秒 (工場出荷時15秒)

初期設定の変更

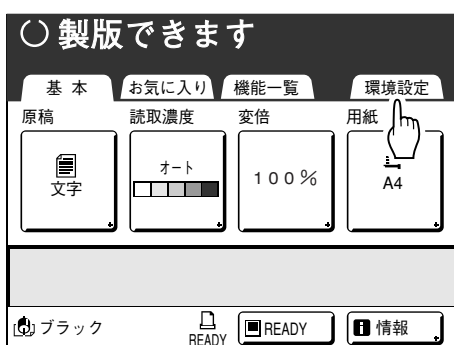
設定の変更は、本機が動作していないときに行うことができます。
プリントの諸設定がされていない状態で行ってください。

参考

[環境設定]画面では、現在の設定が各項目のボタンの右側に表示されています。

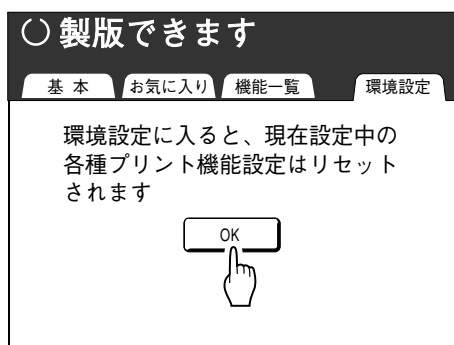
1

各モードの基本画面で **環境設定** にタッチする



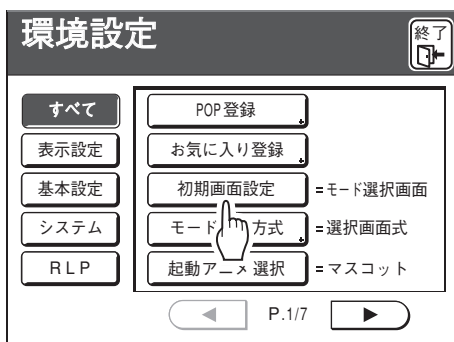
2

OK にタッチする



3

設定を変更する機能名のボタンにタッチする



表示セレクトボタンについて

タッチした表示セレクトボタンの種類に応じた機能名のみが表示されるので、設定を変更したい機能名を速やかに検索することができます。

- すべて** ……すべての機能
- 表示設定** ……画面表示に関する機能
- 基本設定** ……基本的な操作に関する機能
- システム** ……システム全体に関する機能
- RLP** ……RLPモードに関する機能
- **RLP** は連携機(別売)を接続しているときにのみ表示されます。

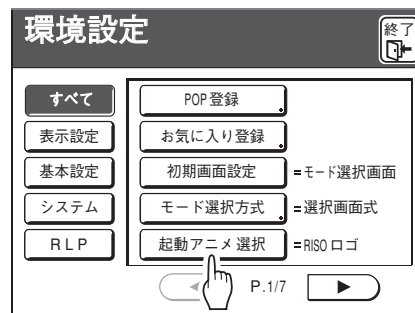
4

設定を変更する

機能によって設定画面が表示されるものとされないものがあり、変更のしかたも異なります。次のタイプを参考にして変更を行ってください。

■ 設定画面なし (選択肢が二者択一のもの)

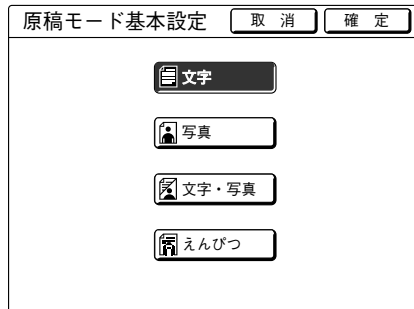
機能名ボタンにタッチするたびに、右隣りの設定値が切り替わります。



初期設定を変更する

■ 設定画面あり ボタン選択タイプ

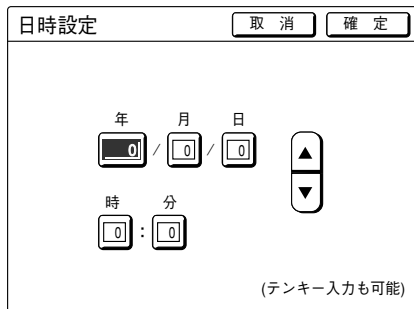
初期値に設定するボタンに、タッチします。



■ 設定画面あり 目盛り調節・数値増減タイプ

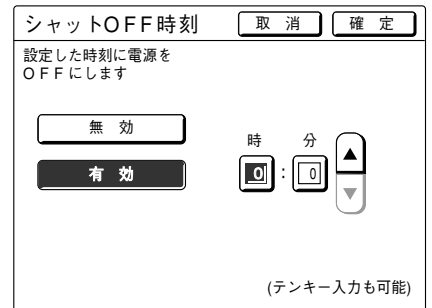
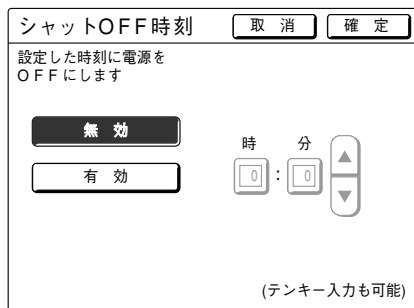
▲▼ にタッチして、数値を増減させたりします。

数値を変更する設定では、テンキーによる数値の入力も可能です。



■ 設定画面あり 設定部分が複数あるタイプ

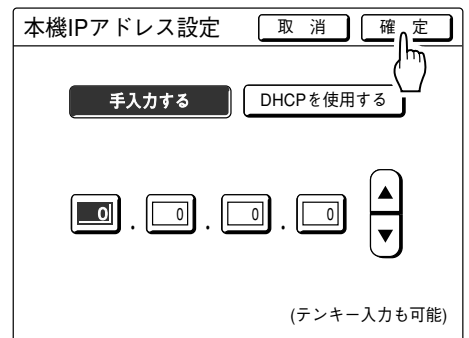
設定を変更するボタンにタッチした後、各ボタンやテンキーなどで設定を変更します。



'有効' にタッチすると、画面右側の設定ができるようになります。

5

確定 にタッチする



設定画面のないタイプの場合は手順6に進んでください。

参考

- '取消' にタッチすると、変更を中止して[環境設定]画面に戻ります。
- 設定値は機能名の右隣りに表示されます(一部を除く)。

6

終了 にタッチする



各基本画面に戻ります。

POP／お気に入りの設定

[POP][お気に入り]

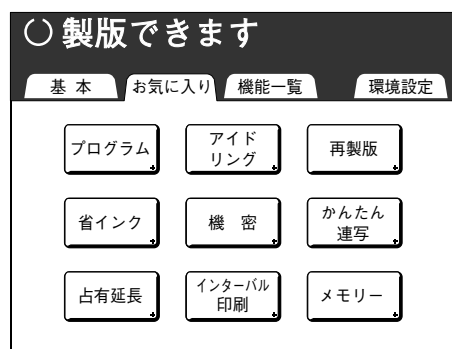
その他

環境設定
POP／お気に入り

よく使う機能を各モードの基本画面の「POPエリア」または「お気に入り画面」に登録することができます。機能一覧から探す手間を省き、ワンタッチで機能を設定したり、設定画面を呼び出したりすることができます。機能はモード(製版／印刷／RLP)ごとに個別に登録可能で、各モードともPOPエリアには4件、お気に入り画面には9件(RLPモードには6件)登録できます。



POPエリア



お気に入り画面

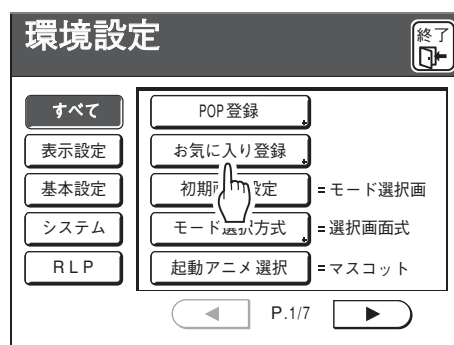
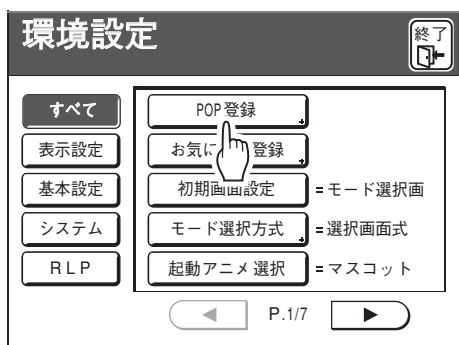
参考

- それぞれのモードには、そのモードで有効な機能を登録すると便利です。
➡ P.2「機能一覧」
- 「POPエリア」「お気に入り画面」には、出荷時にあらかじめ機能が設定されていますが、変更できます。
- 登録できる機能は、機能一覧画面から実行できる機能です。
- 連携機(Prio)を複数台接続して使用しているときに、RLPモードの「POPエリア」または「お気に入り画面」の登録・変更をする場合は、登録・変更したい連携機を選択した後「環境設定」で設定しなおしてください。
- オプションを接続した場合は、POP(お気に入り)の未登録ボタンに自動的に登録されます。
(連携機オプションの場合は「環境設定」での登録が必要です。)

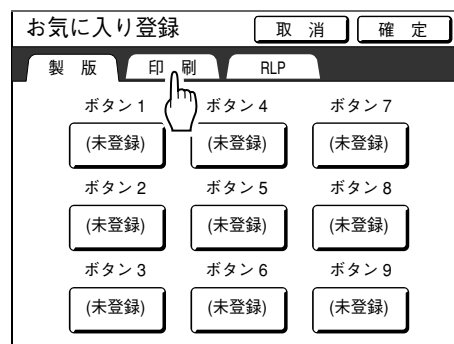
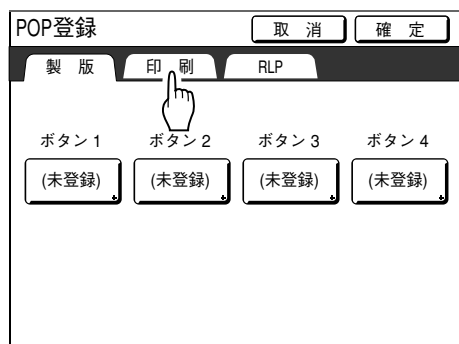
POP／お気に入りの設定

以下の手順では、ページ左側に「POP登録」の画面、右側に「お気に入り登録」の画面を記載しています。また、共通の画面は左側にまとめて記載しています。

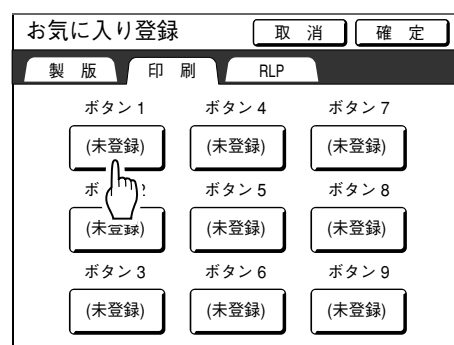
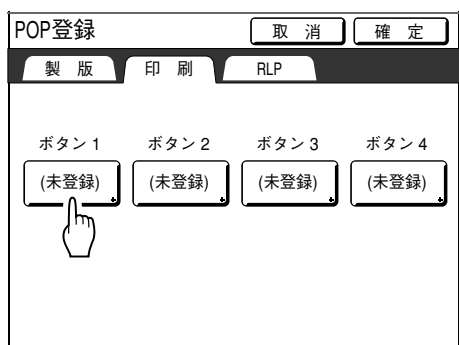
1 [環境設定]画面で **POP登録** または **お気に入り登録** にタッチする



2 登録するモードにタッチする



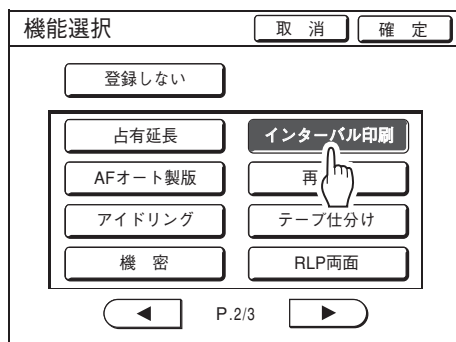
3 登録するボタンにタッチする



登録済みのボタンでも、タッチして、他の機能を上書きすることができます。

4

登録する機能名にタッチする

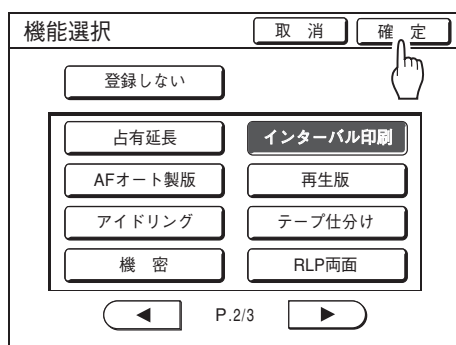


参考

- 表示された画面内に目的の機能名がないときには、◀ または ▶ にタッチして表示を切り替えてください。
- 登録をしない機能を選択してしまったときは、登録しない にタッチしてください。
- 登録済みの機能名は、グレー表示されタッチできません。
- オプションを使用しているときのみ表示される機能があります。

5

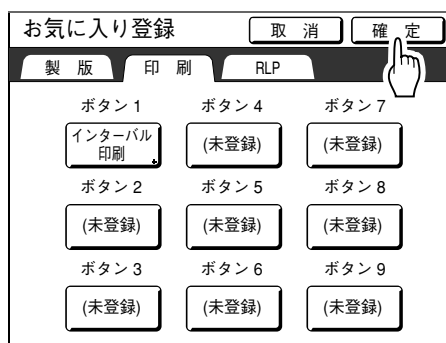
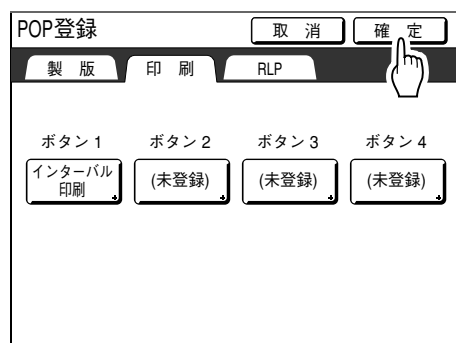
確定 にタッチする



[POP登録]または[お気に入り登録]画面に戻り、ボタンに選択した機能名が表示されます。
複数の機能を登録するときや、登録済みの機能を他の機能に変更するときは、手順2～5を繰り返します。

6

確定 にタッチする

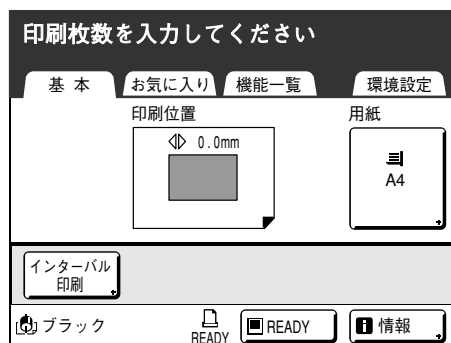
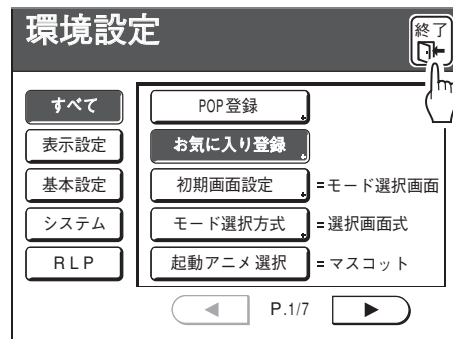
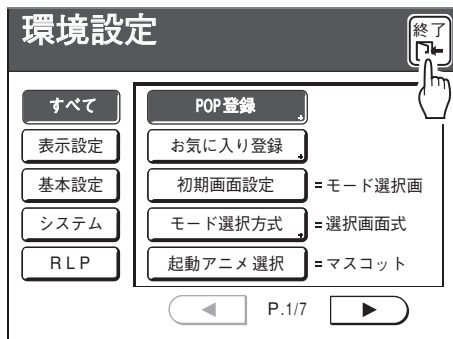


POP登録またはお気に入り登録を終了[環境設定]画面に戻ります。

POP／お気に入りの設定

7

終了
にタッチする



製版または印刷基本画面に戻ります。

不定形用の紙を登録する

〔用紙サイズ登録〕

その他

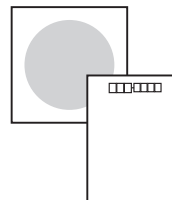
環境設定
用紙サイズ登録

A4やB4などの、定形サイズ以外の用紙を使用するときには、あらかじめ用紙サイズを登録してください。一度登録した用紙は、製版基本画面の〔用紙〕ボタンで選択して、使用することができます。

用紙登録は6件まで登録可能です。また、登録した内容を変更、消去することもできます。

重要

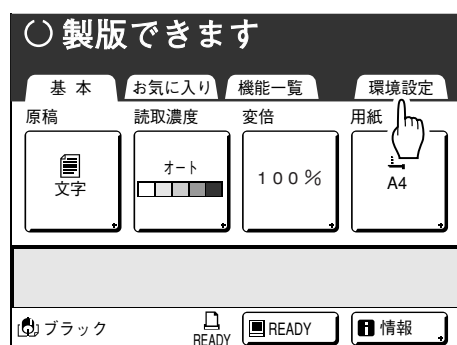
不定形用紙は必ず登録してください。登録せずに使用すると、原稿の読み取りが正しく行われないことがあります。



用紙サイズの登録と名称変更

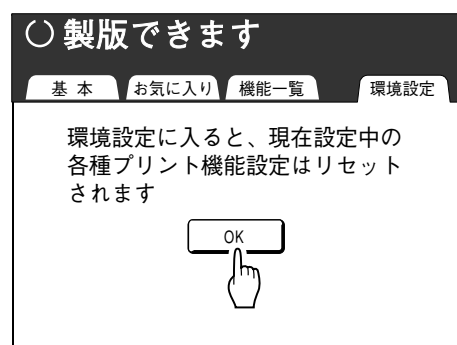
1

各モードの基本画面で **環境設定** にタッチする



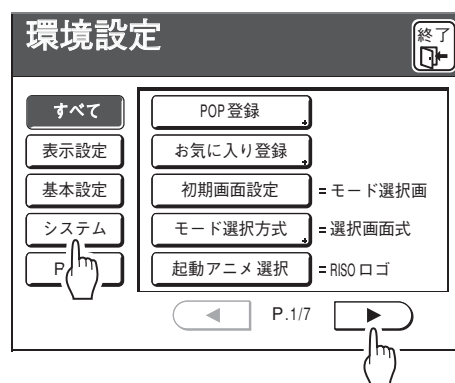
2

OK にタッチする



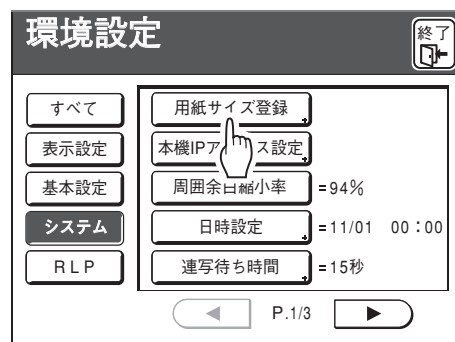
3

システム または **▶** にタッチして、画面に **用紙サイズ登録** を表示させる



4

用紙サイズ登録 にタッチする

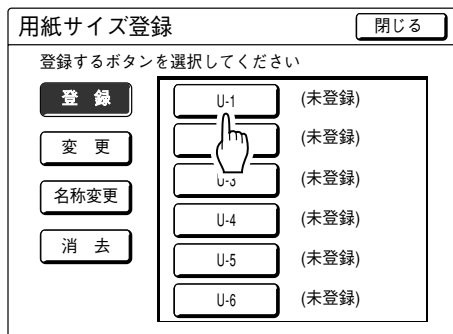


● その他の機能

不定形用の紙を登録する

5

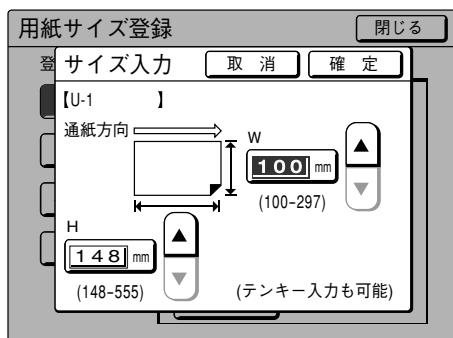
未登録のボタンにタッチする



登録済みのボタンはグレー表示されます。

6

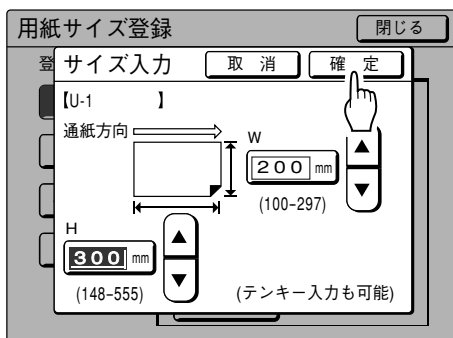
用紙サイズを入力する



通紙方向(給紙台にセットする方向)に対して、W(幅)とH(長さ)を設定します。▲ または ▼ にタッチするか、テンキーで入力してください。

7

確定 にタッチする

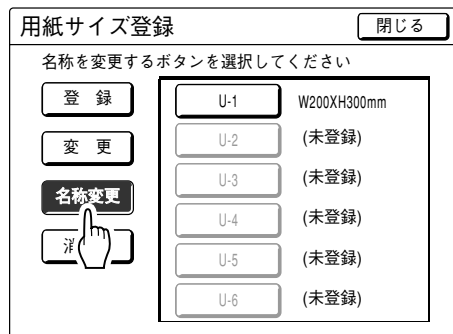


必要があれば、引き続き名称を変更します。

名称を変更しない場合は、閉じる にタッチしてください。

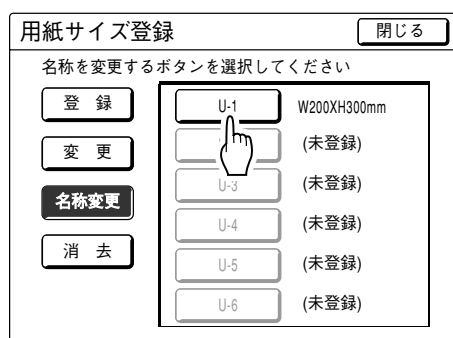
8

名称変更 にタッチする



9

名称を変更するボタンにタッチする



10

文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

➡ P.72「名称入力画面について」

11

名称入力後 **確定** にタッチする

参考

名称を修正するときは、手順8からやりなおしてください。

12

名称を確認して **閉じる** にタッチする

用紙サイズ登録を終了し[環境設定]画面に戻ります。

奉書(長尺の用紙)にプリントするとき

本機では「ユーザー登録用紙」として登録することにより、421～555mm(給紙方向に対する天地の長さ)までの長さの用紙を使用して、印刷できます。

● P.101「不定形用の紙を登録する」

[用紙サイズ登録]画面で、給紙方向に対する天地の長さを421mm以上に設定した場合、その用紙は「長尺用紙」として扱われます。

登録した「長尺用紙」を[用紙サイズ登録]画面で選択すると、本機は「長尺モード」に切り替わります。

重要

奉書の種類や紙質により、通紙できない場合や、印刷物の内容(画像の位置)により、部分的に汚れが発生する場合があります。詳しくはお買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご相談ください。

「長尺モード」について

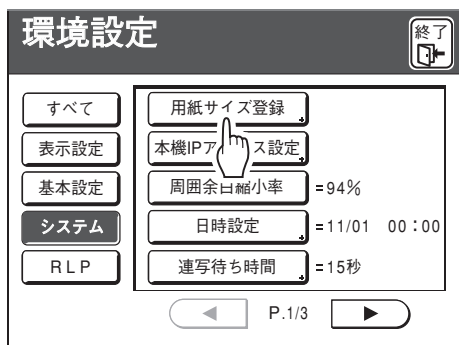
- 本機が「長尺モード」のときは、メッセージエリアの表示が【製版できます[長尺]】または【印刷できます[長尺]】に変わります。
- 「長尺モード」では、給紙方向に対する天地の長さが421mm～555mmまでの長さの用紙に印刷できます。ただし、最大印刷面積および天地印刷位置の調整範囲は、通常時と同様です。
 - P.11「印刷範囲について」
 - P.60「印刷位置を調整する」
- 「長尺モード」では、印刷のタイミングや速度が、通常の印刷時とは異なります。あらかじめご了承ください。
- 「長尺モード」時の給紙台、排紙台のセット方法については、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

POP／お気に入りの設定

登録した用紙サイズの消去

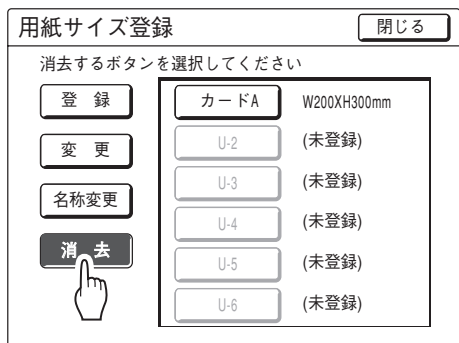
1

【環境設定】画面で
用紙サイズ登録
にタッチする



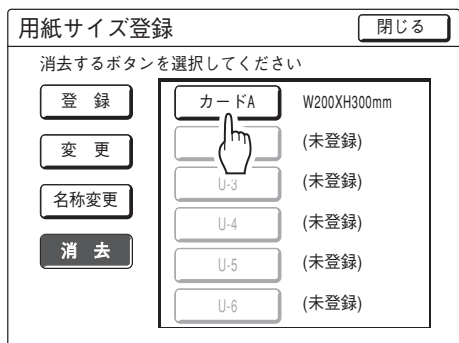
2

消去
にタッチする



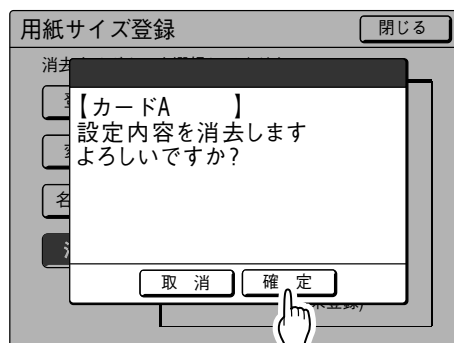
3

消去する用紙サイズに
タッチする



4

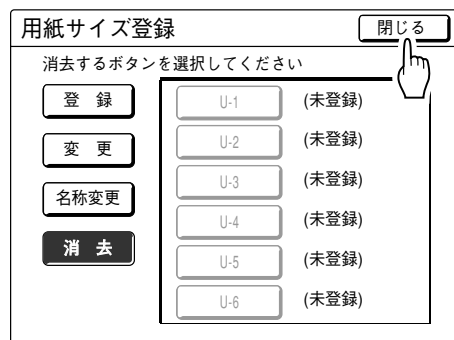
確定
にタッチする



選択した用紙サイズが消去され【用紙サイズ登録】画面に戻ります。

5

閉じる
にタッチする



環境設定



用紙サイズ登録を終了し【環境設定】画面に戻ります。

連携機(別売品)を接続して使う

- 106 連携機を使用したプリント機能について
- 107 連携機を使うための準備[RLP情報設定]
 - 107 連携機情報の設定一覧
 - 110 連携機情報の設定
- 111 紙原稿を読み取り連携機から出力する[RLPモード]
- 114 連携機のオプション機能を使用する
 - 115 設定可能な項目一覧
- 118 両面印刷のしかた[両面]

連携機を使用したプリント機能について

本機は連携機(Prio)と接続して、より経済的なプリントが行えます。



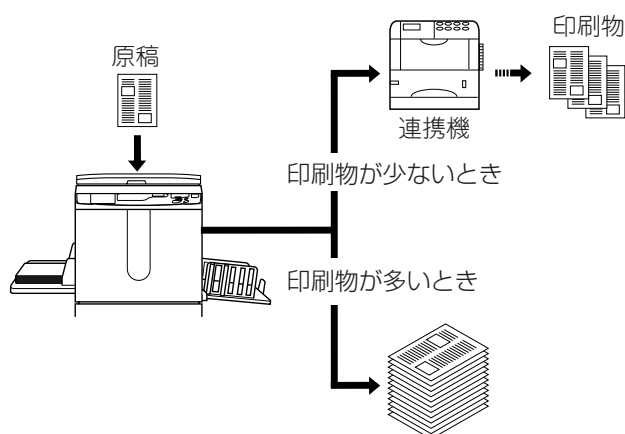
連携機として接続できるプリンタは「Prio」です。接続には、RISORINC-NETが必要です。

自動振分機能とRLPモード機能の、2種類の機能を使用したプリントをすることができます。

■ 自動振分機能

あらかじめ設定した基準枚数(自動振分枚数)に応じて、本機または連携機のどちらかを自動で選択し、プリントします。

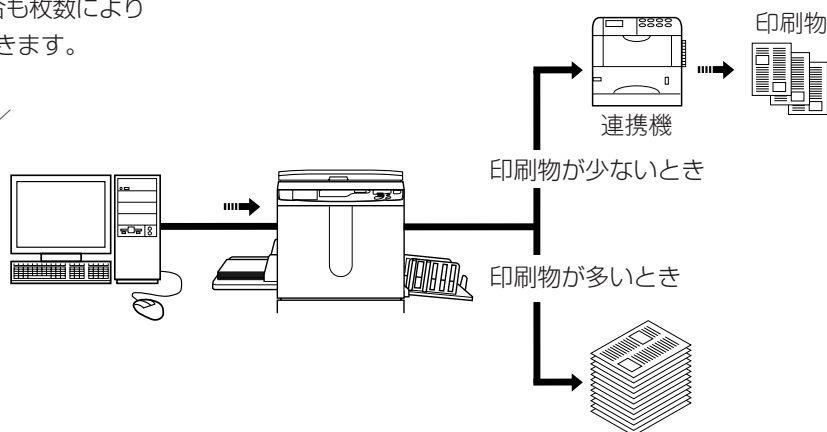
☛ P.94「初期設定を変更する／自動振分枚数」



パソコンからのデータ送信の場合も枚数により自動的に振り分けてプリントできます。

(受信ジョブ自動振分が有効時)

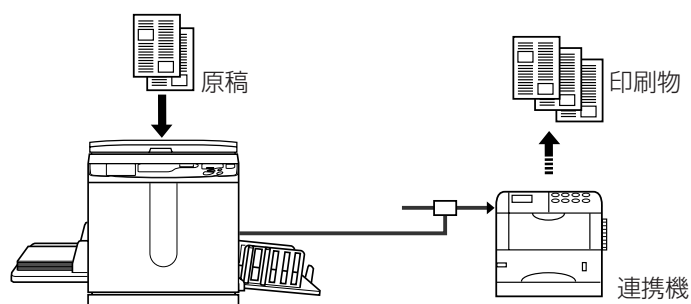
☛ P.94「初期設定を変更する／受信ジョブ自動振分」



■ RLPモード機能

本機で原稿を読み取り、連携機からプリントします。

☛ P.111「紙原稿を読み取り連携機から出力する」



両面印刷など、連携機の機能を使ったプリントができます。

連携機を使うための準備

【RLP情報設定】

本機と接続した連携機を使用できるようにするために、連携機の情報登録する必要があります。

重要

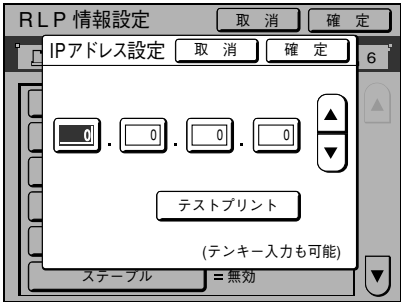
- 本機と連携機が接続されていることを確認してください。接続されていない場合、情報登録はできません。
- 連携機の情報登録されていない場合、連携機からの出力や取り付けたオプションの機能は使用できません。
- 情報の登録は接続してある連携機(Prioα)1台ずつにそれぞれ行ってください。

参考

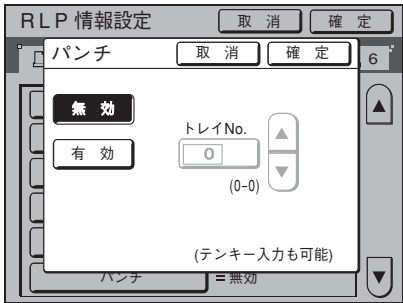
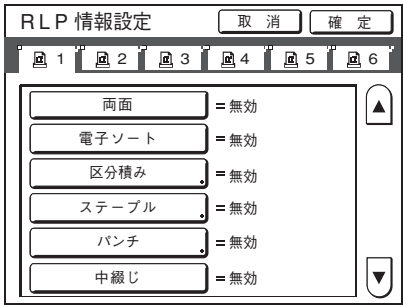
ここでは「RLP情報設定」について説明しています。
RLPに関する、その他の「環境設定」については、P.94を参照してください。

連携機情報の設定一覧

は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	入力方法
RLP名称 連携機の名称を設定します。 参考 登録した名称はRLPモード画面で表示されます。		 名称入力 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力します。その後、「確定」にタッチして、RLP名称を登録します。操作の詳細は名称入力画面について「(P.72)」を参照してください。
IPアドレス設定 連携機をネットワークに接続するためのIPアドレスを設定します。 参考 ● 「テストプリント」にタッチすると、連携機へのデータ送信テストが実行されます。テストに成功したときは、連携機からテストの結果のレポートが出力されます。失敗したときは、ワーニングメッセージが表示されます。「中止」にタッチし、設定しなおしてください。 ● 「テストプリント」は「環境設定」の「本機IPアドレス設定」が未設定のときは選択できません。 ● P.92「初期設定を変更する／本機IPアドレス設定」		 RLP 情報設定 IPアドレス設定 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力します。その後、「確定」にタッチして、RLP名称を登録します。操作の詳細は名称入力画面について「(P.72)」を参照してください。 テストプリント (テンキー入力も可能) ステアブル = 無効 ● ▲ ▼ またはテンキーを押して入力します。 ● 入力位置を移動するときは、直接、入力位置のボタンにタッチするか、(*)を押して移動させてください。

#

設定項目	設定内容	入力方法
パンチ 「パンチ」機能がある場合に「有効」に設定します。 また「パンチ」機能が使えるトレイNo.*を設定します。	無効 : パンチ機能なし（使用しない） 有効 : パンチ機能あり 使用するトレイNo.	 各ボタンにタッチして設定します。 [トレイNo.]は、  またはテンキーを押して入力します。 入力方法ば区分積み「パンチ」「フェイスアップ」とも同じです。
フェイスアップ 「フェイスアップ」機能がある場合に「有効」に設定します。また「フェイスアップ」機能が使えるトレイNo.*を設定します。	無効 : フェイスアップ機能なし（使用しない） 有効 : フェイスアップ機能あり 使用するトレイNo.	
両面 「両面」機能がある場合に「有効」に設定します。	有効・無効	 入力方法ば両面「電子ソート」「中綴じ」「回転ソート」「AF時自動フェイスアップ」「メールボックス」「ソート」とも同じです。 タッチするたびに有効・無効が切り替わります。
電子ソート 「電子ソート」機能がある場合に「有効」に設定します。		
中綴じ 「中綴じ」機能がある場合に「有効」に設定します。		
回転ソート 「回転ソート」機能がある場合に「有効」に設定します。		
AF時自動フェイスアップ 「AF時自動フェイスアップ」機能がある場合に「有効」に設定します。		
メールボックス 「メールボックス」機能がある場合に「有効」に設定します。		
ソート 「ソート」機能がある場合に「有効」に設定します。		

※トレイNo.はお使いのPrioaの機種により異なります。

連携機を使うための準備

連携機情報の設定

1

「環境設定」画面で **RLP** にタッチする



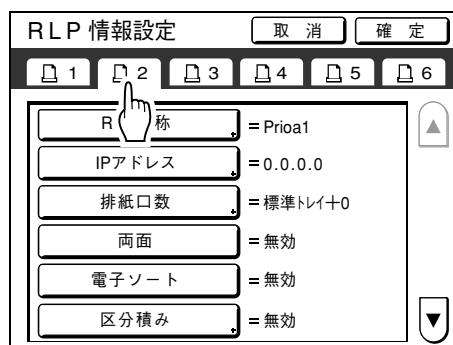
2

RLP情報設定 にタッチする



3

情報を登録する連携機にタッチする

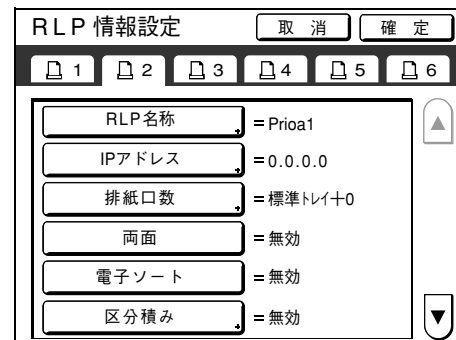


参考

連携機の情報は6台分まで登録できます。

4

登録する情報のボタンにタッチする



参考

表示された画面内に目的の項目がないときは、▲ または ▼ にタッチして表示を切り替えてください。

5

設定を変更する

「連携機情報の設定一覧」(P.107)を参考に、して各項目を変更してください。

参考

設定画面がある機能は、設定の変更後、**確定** にタッチします。変更内容が確定され[RLP情報設定]画面に戻ります。変更を中止するとき、**取消** にタッチして、[RLP情報設定]画面に戻ります。

6

終了 にタッチする



「環境設定」を終了し、基本画面に戻ります。

紙原稿を読み取り連携機から出力する

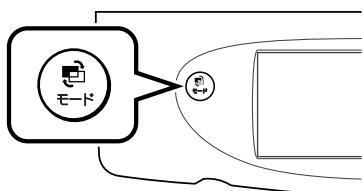
【RLPモード】



本機で原稿を読み取り、連携機(Prioα)からプリントするモードを「RLPモード」と呼びます。RLPモードでは、プリント枚数にかかわらず連携機からプリントされます。

1

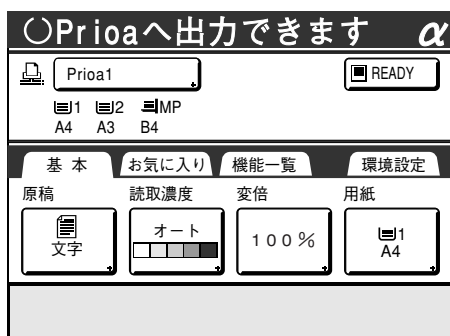
RLPモードに切り替える



本機の を押して、RLPモードに切り替えます。

モード選択画面からRLP基本画面を表示する時は、 にタッチしてください。ループ式に設定してあるときは、RLP基本画面が表示されるまで を押してください。

☛ P.18「画面の移り変わり」



参考

本機のディスプレイに[RISORINC-NETを起動しています／RLP情報取得中ですしばらくお待ちください]と表示されたときは、ネットワーク経由で連携機の情報を確認している状態です。メッセージが消えるまでお待ちください。

2

原稿をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットします。

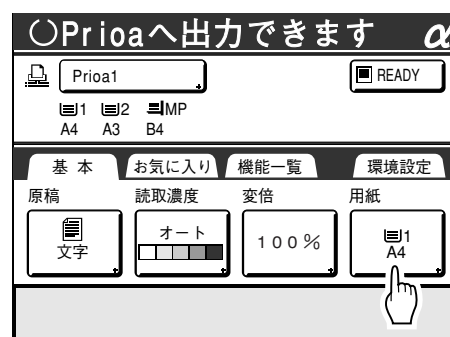
原稿のセットについては「紙原稿をプリントする」(P.31)の手順4を参照してください。

3

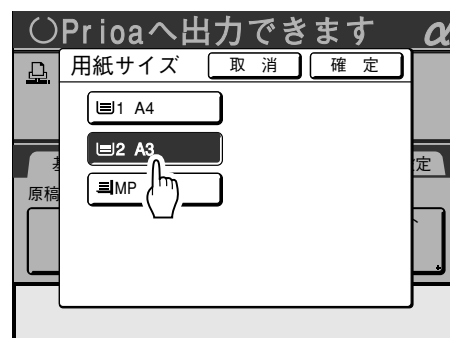
用紙を指定する

連携機に用紙トレイが複数あるときは[用紙]ボタンを押して、トレイ(サイズ)を指定してください。

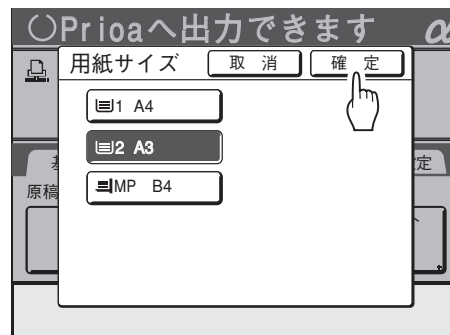
① RLP基本画面で[用紙]ボタンにタッチする



② 設定する用紙サイズのボタンにタッチする



③ にタッチする



紙原稿を読み取り連携機から出力する

4

必要に応じて、プリントに必要な各種機能を設定する

設定できる機能は次のとおりです。

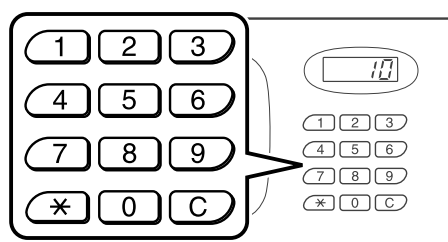
- 原稿モード(☞ P.42)
- 読取濃度(☞ P.43)
- 変倍(☞ P.44)
- 網点(☞ P.49)
- メモリー(☞ P.76)

参考

- 連携機に両面印刷ユニットなどのオプションを装着しているときは、オプション機能を使用することができます。
☞ P.114「連携機のオプション機能を使用する」
- 印刷の速度や濃度、位置は調節(調整)できません。
- 本機で作業をしている途中にパソコンからデータが送信されると、パソコンからのデータを優先してプリントすることがあります。
連携機からの出力を優先させるためには「環境設定」の「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。設定した時間内は、パソコンからのデータは処理されません。
☞ P.84「占有時間を延長する」

5

テンキーで印刷枚数を入力する



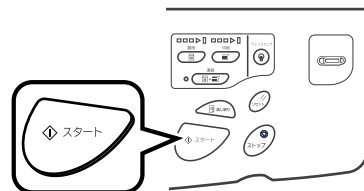
入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

枚数の入力をまちがえたときは、**[C]** を押して消去した後に入力しなおしてください。

6

スタートを押す



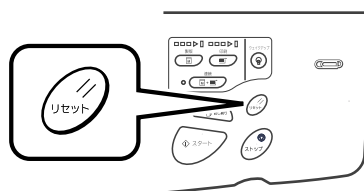
原稿の読み取りが始まります。
読み取られた原稿データは連携機に送信され、設定した枚数が連携機から出力されます。

参考

現在の設定をメモリーに登録しておくと、以後メモリーを呼び出すことにより同様の設定でプリントができます。
☞ P.76「メモリー機能を使う」

7

印刷終了後、リセットを押す

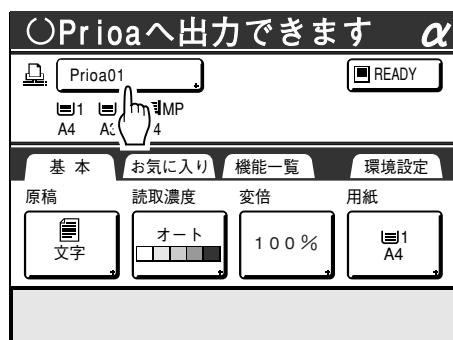


設定を初期値に戻します。

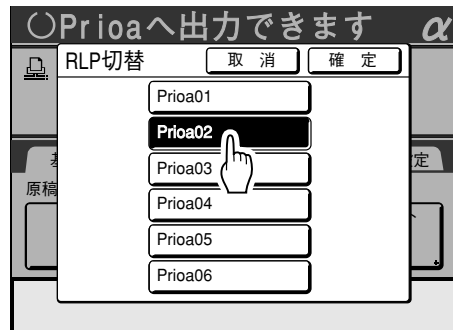
複数の連携機をネットワーク接続しているとき

複数の連携機をネットワーク接続で使用しているときは、出力先として使用する連携機を、必要に応じて切り替えることができます。
以下の手順で、出力先の連携機を切り替えます。

① RLP基本画面で[RLP名称]ボタンにタッチする



② 出力する連携機にタッチする



参考

連携機にエラーが発生している場合、その連携機は選択できません。

③ 確 定 にタッチする

参考

RLPモード中に、選択している連携機でエラーが発生したとき[RLP切替]画面が表示されます。出力可能な連携機を選択しなおしてください。
連携機の追加導入については、お買い上げの販売会社（または保守・サービス会社）に相談してください。

連携機のオプション機能を使用する

連携機

機能一覧

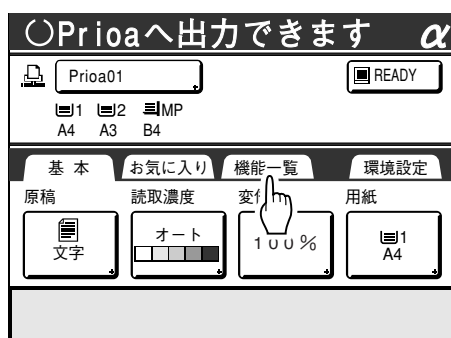
ソーターや両面印刷ユニットなど、オプションを取り付けたときに使用できる機能の設定について説明します。

参考

各機能の詳細については「Prioα取扱説明書」をご覧ください。

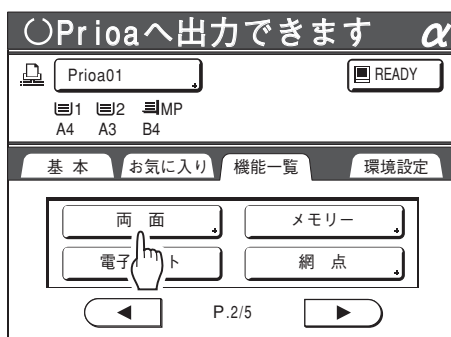
1

RLP基本画面で **機能一覧** に
タッチする



2

設定をする項目にタッチする



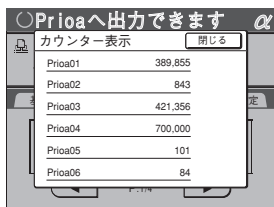
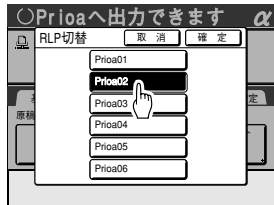
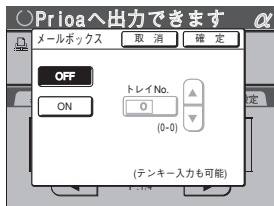
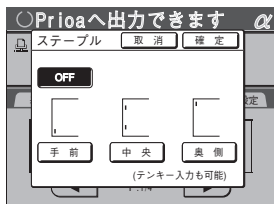
3

設定をする

「設定可能な項目一覧」(P.115)を参考にし
て、各項目を設定してください。

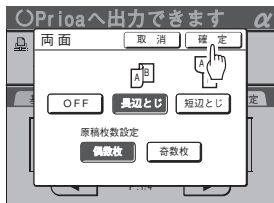
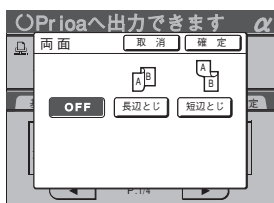
設定可能な項目一覧

は工場出荷時の初期設定です。

	概 要	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
カウンター表示	本機に情報登録した連携機ごとの、出力枚数が表示されます。	_____		_____
RLP切替	本機に情報登録した複数の連携機から出力先を選択します。 参考 連携機にエラーが発生しているときは選択できません。連携機の取扱説明書を参考に対処してください。	_____		_____
メールボックス	出力先の排紙トレイを選択します。	トレイNo.0~n（「環境設定」の「排紙口数」で設定したトレイの合計数）	 ▲ ▼ またはテンキーを押して入力します。	「排紙口数」: トレイ合計数を 1以上に設定
区分積み	複数ページの印刷物を1部ずつ交互にずらして排紙する機能を設定します。	ON・OFF	_____	「区分積み」:「有効」を設定したときのみ表示
ステープル	印刷物をとじる位置を設定します。	「環境設定」の「ステープル位置」により異なります。 ■「固定」に設定時: ON・OFF ■「可変」に設定時: OFF・手前・中央・奥側	 各ボタンにタッチして設定します。	「ステープル」:「有効」を設定したときのみ表示
パンチ	印刷物にパンチ穴を開ける機能を設定します。	ON・OFF	_____	「パンチ」:「有効」を設定したときのみ表示

連携機オプション機能を使用する

	概 要	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
中綴じ	2つ折りで、中央を閉じた状態で印刷物を排紙する機能を設定します。	ON・OFF	_____	中綴じ： 「有効」を設定したときのみ表示
フェイスアップ	印刷面を上向きにして排紙する機能を設定します。	ON・OFF	_____	フェイスアップ： 「有効」を設定したときのみ表示
ソート	複数ページの原稿を、ページ順序を保ったまま各トレイに仕分けして出力する機能を設定します。	ON・OFF	_____	ソート： 「有効」を設定したときのみ表示
電子ソート	複数ページの原稿を、ページ順序を保ったまま単一のトレイに出力する機能を設定します。	ON・OFF	_____	「電子ソート」： 「有効」を設定したときのみ表示
回転ソート	複数ページの印刷物を、一部ずつ縦横交互に排紙する機能を設定します。	ON・OFF	_____	「回転ソート」： 「有効」を設定したときのみ表示

	概 要	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
両面印刷	用紙の両面に印刷する機能です。本機に自動原稿送り装置(オプション)を付けている場合と、付けていない場合で画面と入力方法が異なります。 参考 両面印刷機能を使った印刷方法(「両面印刷のしかた」(P.118))を参照してください。	■ 自動原稿送り装置を付けた時 OFF・長辺とじ・短辺とじ 原稿枚数の奇数枚・偶数枚 ■ 自動原稿送り装置を付けない時 OFF・長辺とじ・短辺とじ	■ 自動原稿送り装置を付けた時  各ボタンにタッチして設定します。 ■ 自動原稿送り装置を付けない時  各ボタンにタッチして設定します。	



重要

オプションの各機能は、連携機の機種やオプション構成などにより同時に設定できない場合があります。

両面印刷のしかた

【両面】

連携機

機能一覧
両面

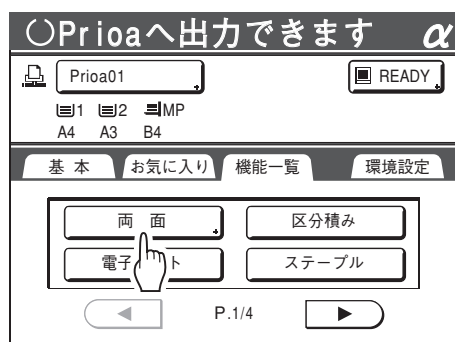
両面印刷ユニット(オプション)を連携機に装着しているときは、用紙の両面に印刷をすることができます。

参考

製版または印刷の機能一覧画面でも「両面設定」が行えます。
これらの画面で設定を行うと、設定した内容を反映して、連携機から出力されます。

1

機能一覧画面で **両面** にタッチする



2

両面とじ方向を設定する

以下の表を参考に、とじ方向を設定してください。原稿のセット方向と、とじ方向の組み合わせにより、印刷物の仕上がりが異なります。

原稿のセット方向と「両面とじ方向」の関係

原稿 セット とじ方向	縦置き (ポートレート)	横置き (ランドスケープ)
	縦置き (ポートレート)	横置き (ランドスケープ)
長辺とじ		
短辺とじ		

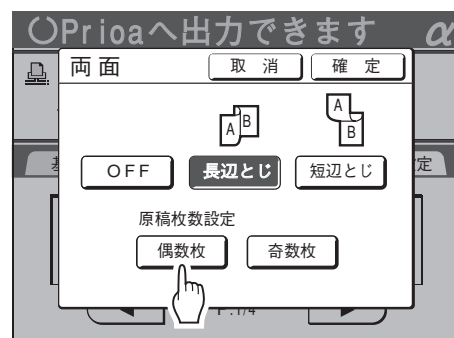
3

原稿枚数を設定する

自動原稿送り装置(オプション)を使用して原稿の読み取りを行うときは、原稿枚数が偶数枚か奇数枚かを設定します。

重要

自動原稿送り装置を使用しないときはこの手順は不要です。手順4へ進んでください。



4

確定 にタッチする



参考

両面印刷を行わないときは、**OFF** にタッチした後に **確定** にタッチしてください。

5

原稿をセットする

参考

- 原稿セットの詳細については「紙原稿をプリントする」(P.31)の手順4を参照してください。
- 原稿が1枚のときは、原稿台ガラスにセットしてください。
- 自動原稿送り装置に奇数枚数の原稿をセットし、両面印刷を行うと、最初に読み取られた原稿の裏面は何も印刷されません。

6

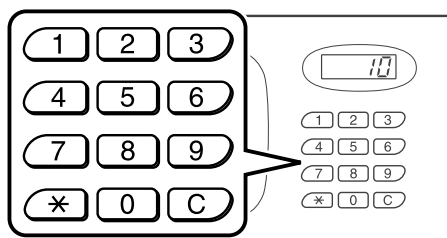
プリントに必要な設定をする

設定できる機能は次のとおりです。

- 原稿モード (P.42)
- 読取濃度 (P.43)
- 変倍 (P.44)
- 用紙サイズ (P.47)
- 網点 (P.49)
- メモリー (P.76)

7

テンキーで印刷枚数を入力する



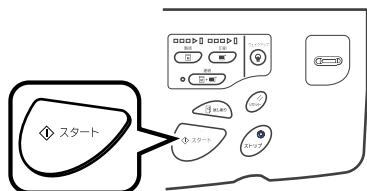
入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

枚数の入力をまちがえたときは、**[C]**を押して消去した後に入力しなおしてください。

8

スタートを押す



重要

原稿台ガラスにセットしたときと自動原稿送り装置にセットしたときとは、以降の操作手順が異なります。

以下の手順にしがたって操作を行ってください。

原稿台ガラスと自動原稿送り装置を併用して、原稿読み取りを行うことはできません。

■ 原稿台ガラスにセットしたとき
【両面出力中です】というメッセージ表示後、2枚目の原稿をセットし、**スタート**を押す



表裏両方のデータが送信されると、入力した枚数が連携機から出力されます。

複数の両面印刷物を作成する場合は、「両面印刷のしかた」の手順5～7を繰り返します。

重要

1枚目の原稿データが送信されてから、「環境設定」の「RLP両面待ち時間」(P.94)で設定されている時間内に次の原稿をセットしなかったときは、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。

参考

- 2枚目の原稿をセットしないで **ストップ**を押すと、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。
- 2枚目の原稿をセットして、原稿が読み取られる前には、次の設定ができます。
 - ・ 原稿モード (P.42)
 - ・ 読取濃度 (P.43)
 - ・ 変倍 (P.44)

■ 自動原稿送り装置にセットしたとき
セットした一番上の原稿から読み取りが始まります。
原稿が読み取られると、読み取られた順に入力した枚数が連携機から出力されます。

● 連携機（別売品）を接続して使う

消耗品の交換

- 122 消耗品の残量を確認する
- 123 マスター交換のしかた
- 126 インクボトル交換のしかた
- 128 排版ボックスのマスターの処理
- 129 ドラムのセット(交換)
 - 129 ドラムの取り出しかた
 - 130 ドラムのセットのしかた
- 132 使用済み消耗品の回収・廃棄について

消耗品の残量を確認する

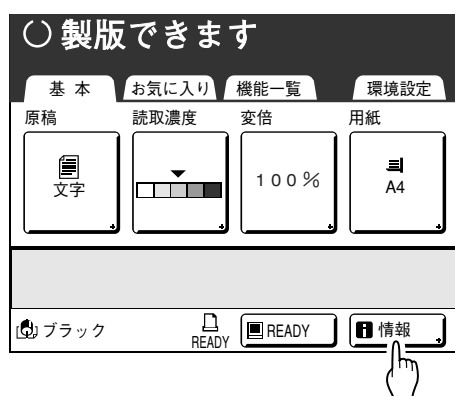
インクやマスター、排版ボックスの空き容量の確認ができます。

参考

- 残量検知が正しくできない場合には、残量が表示されないことがあります。
- 残量は目安であり正確な数値ではありません。

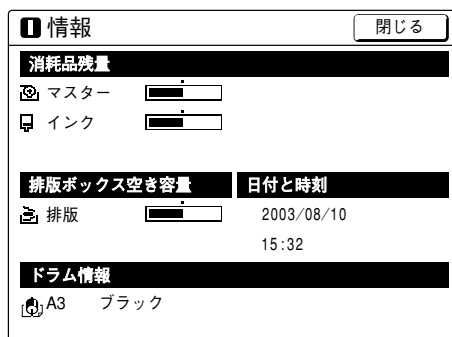
1

基本画面で **情報** に
タッチする



2

消耗品の残量を確認する



各消耗品の残量が少なくなったら、早めに
消耗品の在庫をご確認ください。

- ・ マスター (P.123)
- ・ インク (P.126)
- ・ 排版 (使用済みマスターの処理)
(P.128)

表示の内容

表示	内容
	黒色の部分が残量を示しています。 例) : 残量約10%
(不明)、「---」、 表示なし	消耗品の情報が取得できない、セットされていないなどを示します。

情報 (情報ボタン) について

情報 ボタンの **情報** アイコンは、消耗品から得た
マッチング情報の状態を表しています。
本機が読み取った消耗品の情報により、**情報** アイ
コンは次のように表示されます。

- (消耗品から) マッチング情報を適切に取得で
きたとき **情報** (表示)
- (消耗品から) マッチング情報を適切に取得で
きなかったとき **情報** (グレー表示)

情報 アイコンがグレー表示のときは、マスター・イン
クの残量は表示されません。

マスターやインクの残量が少なくなると、ボタンの
右側に **マスター** (マスター) または **インク** (インク) が点滅
して、交換時期が近いことをお知らせします。

参考

消耗品からマッチング情報を適切に取
得できなかったときには、適切な設定値
を入力する必要があります。

- P.154「消耗品情報入力画面が
表示されたら」

マスター交換のしかた

マスターがなくなるとメッセージが表示されて本機が停止します。新しいマスターと交換してください。

重要

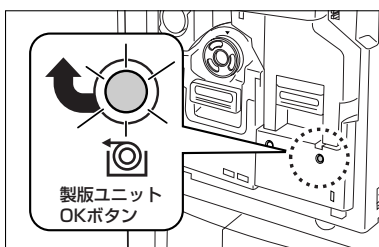
- マスターは、当社指定の本機専用マスターのご使用をおすすめします。
● P.166「消耗品について」
- マスター交換は本機の電源を入れた状態で行ってください。

1

前カバーを開ける

2

製版ユニットOKボタンの点灯を確認する



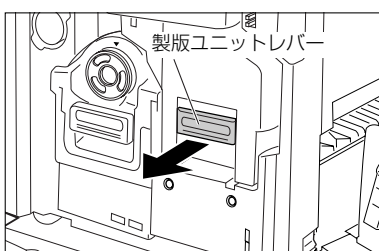
ランプが消えているときは、製版ユニットOKボタンを押して点灯させます。

重要

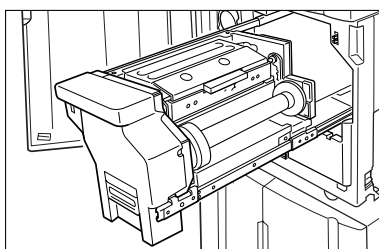
ドラムを引き出しているときは、製版ユニットを引き出せません。ドラムを戻してから、製版ユニットOK ボタンを押してください。
● P.129「ドラムのセット(交換)」

3

製版ユニットを引き出す



製版ユニットレバーを握って手前に引き出す。

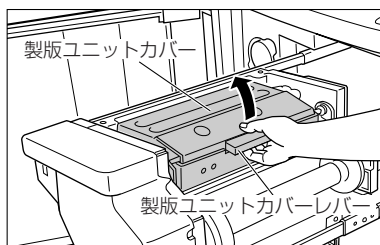


製版ユニットが止まるまでゆっくりと引き出してください。

マスター交換のしかた

4

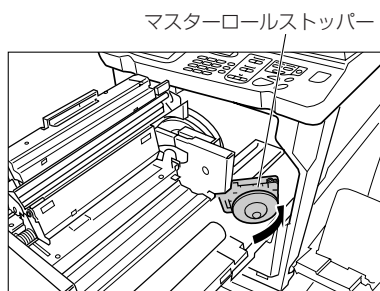
製版ユニットカバーを開ける



製版ユニットカバーレバーを握りながら、製版ユニットカバーを上を開けます。

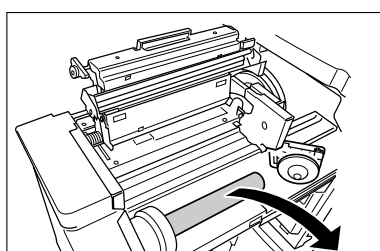
5

マスターロールストッパーを開ける



6

使用済みのマスター芯を外す



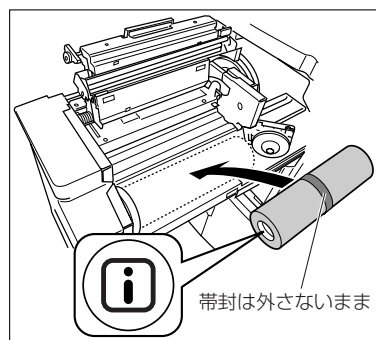
参考

使用済みのマスター芯は各自治体の規制に従って廃棄してください。

☛ P.132「使用済み消耗品の廃棄について」

7

新しいマスターをセットする



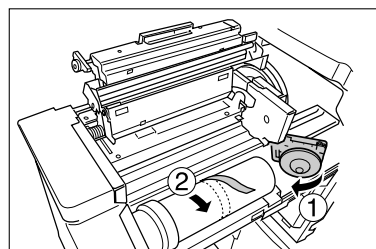
新しいマスターのシュリンク包装(透明フィルム)を取り除き、**i** マークがある方を左側にしてセットします。

重要

- シュリンク包装を取るときは、**i** 部分に傷を付けないように注意してください。**i** 部分が折れ曲がったりミシン目が切れてしまうと、そのマスターは使用できません。
- 帯封は、まだ外さないでください。

8

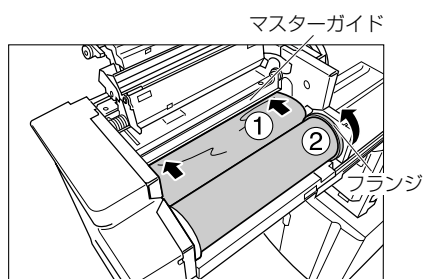
マスターロールストッパーを閉める



マスターロールストッパーを閉めた後、帯封を外します。

9

マスターの先端をガイドの下に差し込む

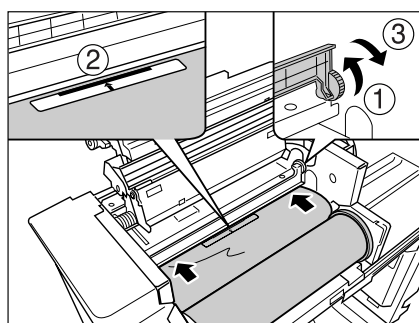


マスターガイドの下に、マスターの先端を奥にあたるまで差し込み①、右のフランジを奥側に回してたるみを巻き戻します②。

マスターが差し込めないとき

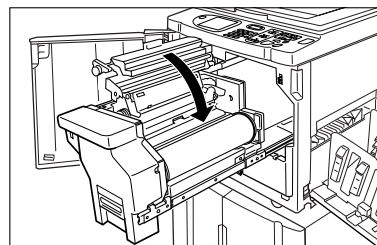
次の手順でマスターを差し込んでください。

- ① マスターガイドを上げる
マスターガイド端のダイヤル部分を奥側に回して、マスターガイドを上げます。
- ② マスターを矢印の先のライン部分まで引き出す
- ③ マスターガイドを戻す

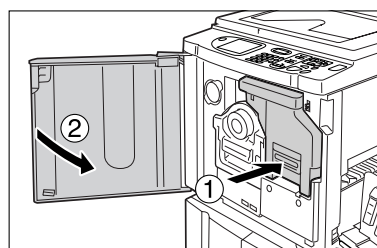


10

各部をもとに戻す



製版ユニットカバーを閉めます。



製版ユニットを戻し、前カバーを閉めます。

インクボトル交換のしかた

インクがなくなるとメッセージが表示されて本機が停止します。
新しいインクボトルと交換してください。

⚠ 注意 ドラム周辺にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないように注意してください。
手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落とすようにしてください。

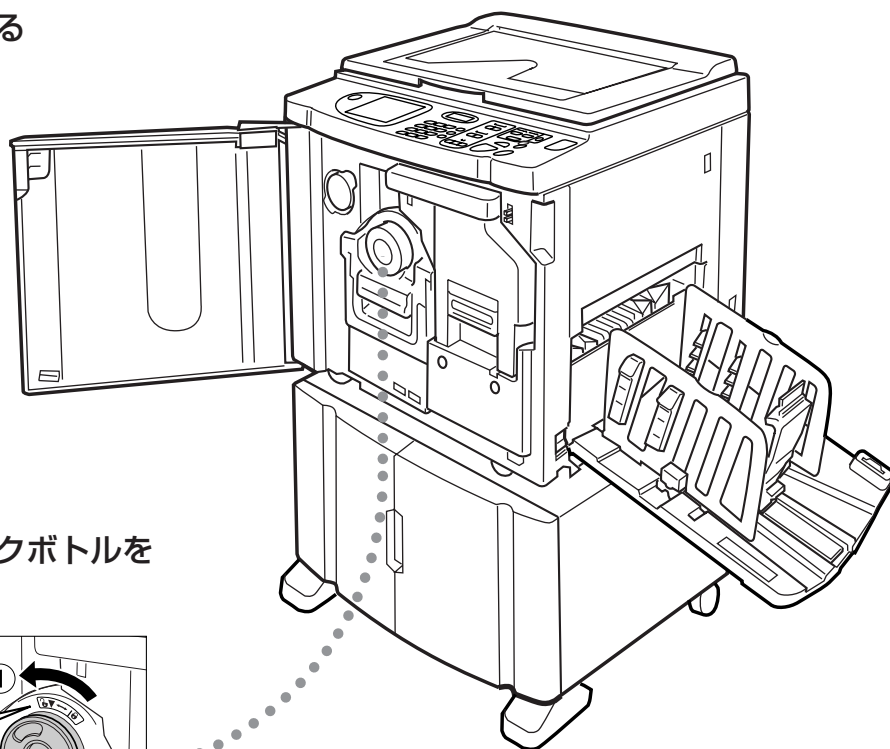
重要

- インクボトルは、当社指定の本機専用インク*のご使用をおすすめします。
☛ P.166「消耗品について」
- インク交換は本機の電源を入れた状態で行ってください。
- 必ず同じ色のインクボトルと交換してください。インクの色を換えるときは、ドラムごと交換してください。
☛ P.129「ドラムのセット(交換)」

* 当インクはエコマークの要求事項に準拠しています。

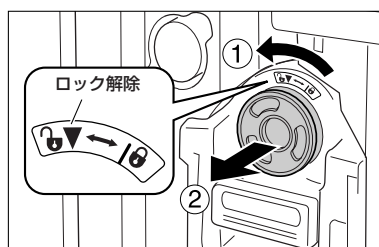
1

前カバーを開ける



2

使用済みのインクボトルを
引き抜く

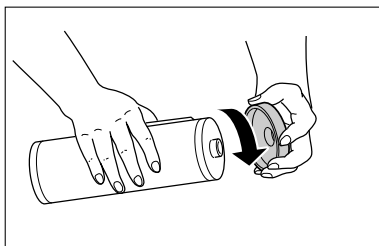


インクボトルを左方向(🔓)に回してから、
手前に引き抜きます。

3

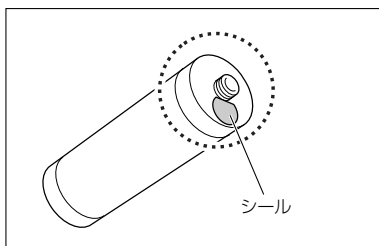
新しいインクボトルの キャップを外す

インクボトルのキャップを回して外します。



重要

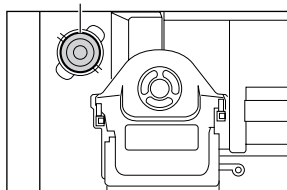
インクボトル口の周辺に触れたり、衝撃を与えないようにしてください。
また、インクボトル口の部分に貼ってあるシールは、はがさないでください。



参考

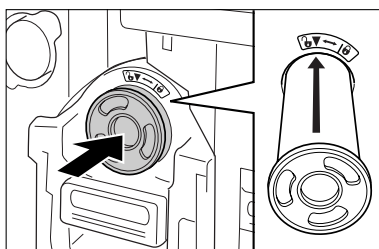
インクボトルから外したキャップは、ドラムの左上に留めておくことができます。

インクキャップ留め



4

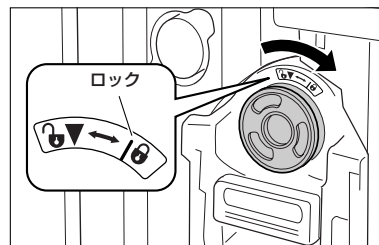
新しいインクボトルを セットする



インクボトルの矢印部分をドラムユニットの▼に合わせて、奥にあたるまで差し込みます。

5

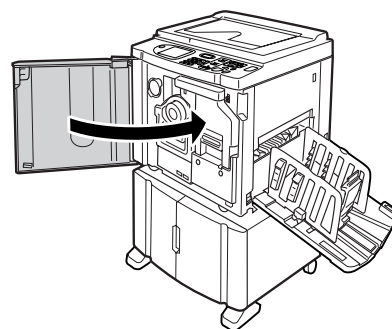
インクボトルをロックする



インクボトルを右方向(🔒)に回して、ロックします。

6

前カバーを閉める



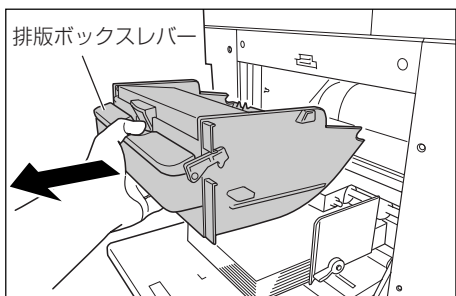
排版ボックスのマスターの処理

使用済みのマスターは排版ボックスに送られます。排版ボックスの容量がいっぱいになると、メッセージが表示されて本機が停止します。使用済みのマスターを廃棄してください。

⚠ 注意 作業中、手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落としてください。

1

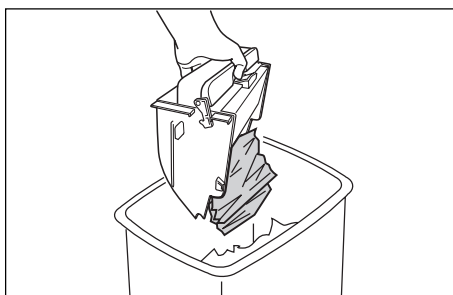
排版ボックスを外す



排版ボックスレバーを握りながら、排版ボックスを手前に引き出します。

2

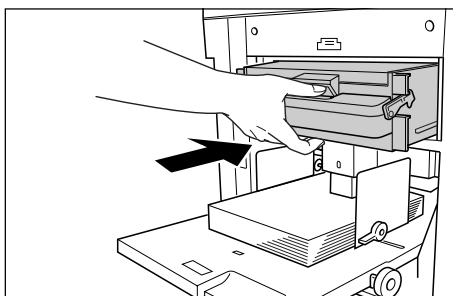
使用済みマスターを捨てる



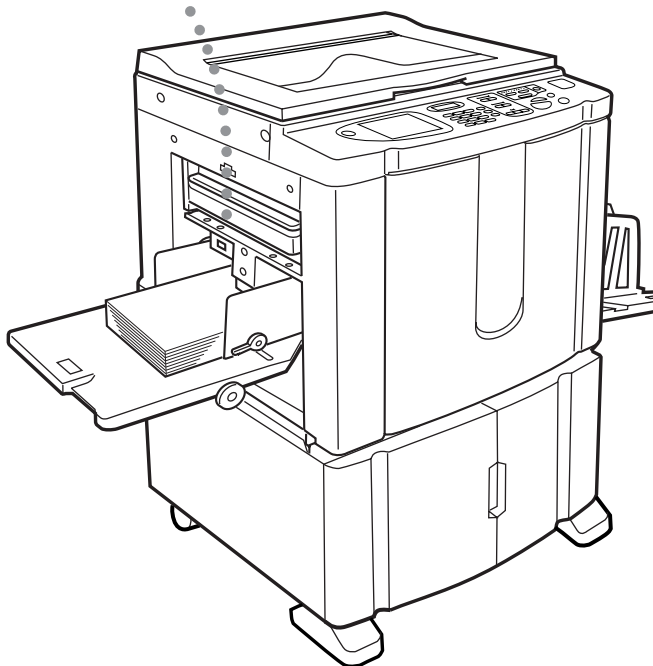
排版ボックスを下に傾けて、中の使用済みマスターを捨てます。

3

排版ボックスをセットする

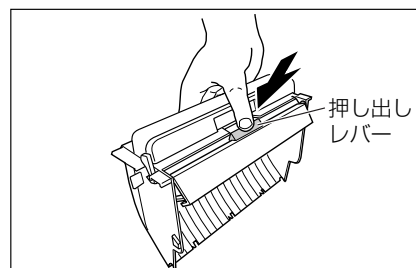


排版ボックスを奥にあたるまで差し込みます。



参考

- 使用済みのマスターは各自治体の規制に従って廃棄してください。
➡ P.132「使用済み消耗品の廃棄について」
- 使用済みマスターが排版ボックスの奥につまって捨てにくいときは、排版ボックスを下に傾けたまま、押し出しレバーを握って、つまっているマスターを捨ててください。



ドラムのセット(交換)

他の色で印刷するためにカラードラムを交換するときや、つまった紙を取り除くときは、ドラムを本体から外します。カラードラムは、オプションの専用カラードラムをご使用ください。

⚠ 注意 ドラムは垂直に立てて置かないでください。床などを汚すことがあります。

重要

- ドラムは必ず当社指定の本機専用ドラムを使用してください。
- ドラムの引き出しやセットは必ず本機の電源を入れた状態で行ってください。
- 交換したドラムは必ずドラムケースに入れて水平に保管してください。

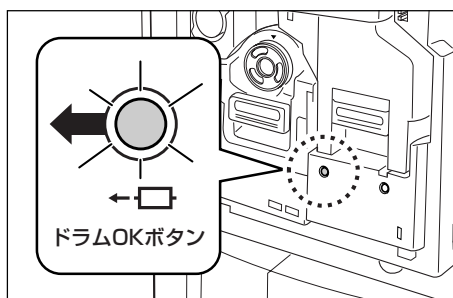
ドラムの取り出しかた

1

前カバーを開ける

2

ドラムOKボタンの点灯を確認する



ランプが消えているときは、ドラムOKボタンを押して点灯させます。

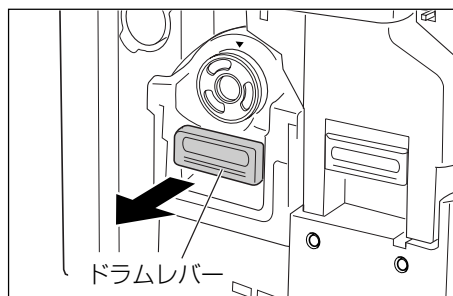
重要

製版ユニットを引き出しているときはドラムを引き出せません。製版ユニットを戻してから、ドラムOKボタンを押してください。

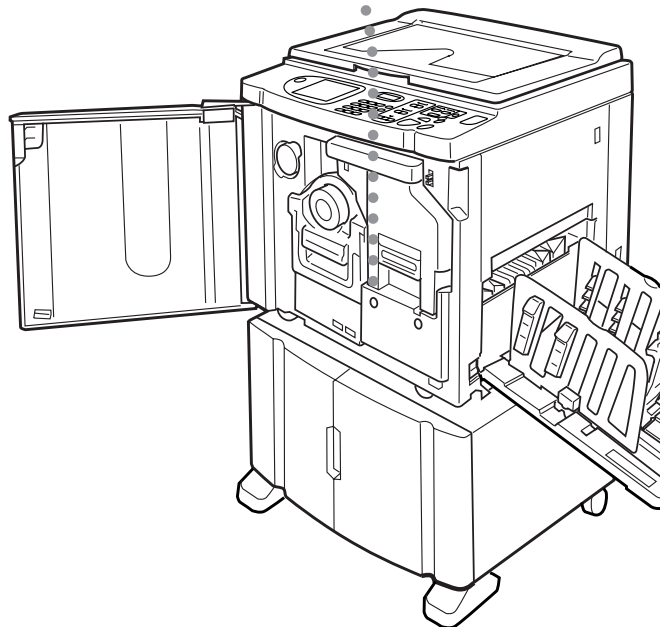
▶ P.123「マスター交換のしかた」

3

ドラムを引き出す



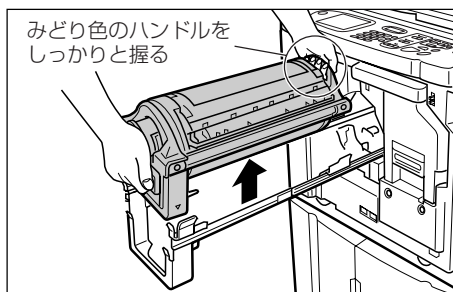
ドラムレバーを握りながら、ドラムが止まるまでゆっくりと引き出してください。



ドラムのセット(交換)

4

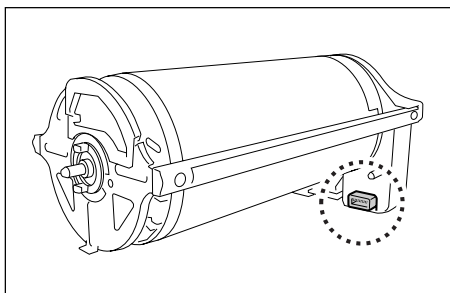
ドラムを外す



ドラムを両手で真上に持ち上げレールから外します。
ドラムの交換、紙詰まりの処理などを行います。

重要

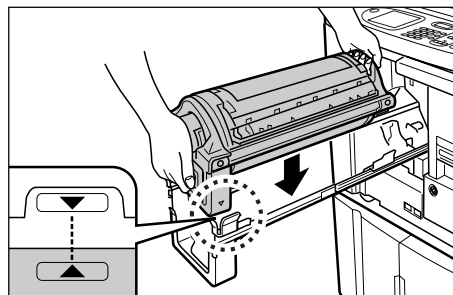
ドラムのコネクタには触れないでください。
静電気などによりドラム故障の原因になることがあります。



ドラムのセットのしかた

1

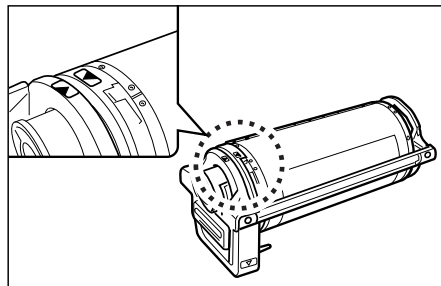
ドラムをレールにセットする



ドラムの ▼ マークとレールの ▲ マークを合わせて、ドラムをレールに水平にセットします。

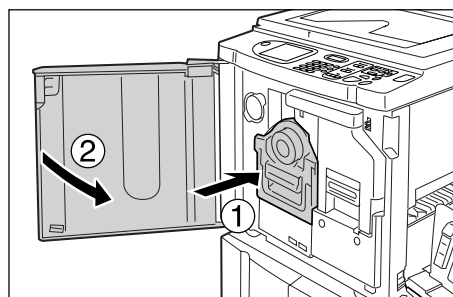
参考

手動でドラムを回転させたときは、作業後、必ず ▶ マークと ◀ マークが向かい合う位置までドラムを戻してください。



2

ドラムを本体に戻す



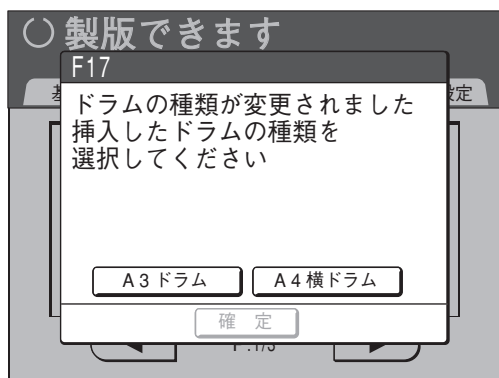
ドラムを奥に止まるまで押し込み、前カバーを閉めます。

重要

ドラムレバーを握った状態で押し込まないでください。

ドラムの種類を変更したとき

ドラムの種類を変更すると、[ドラム種類の確認]画面が表示され、メッセージが表示されます。
次の手順でドラム種類を確定してください。



- 1 セットしたドラムの種類にタッチする
- 2 **確定** にタッチする
ドラムの種類が確定し、プリントが可能になります。

重要

- ドラムの種類が確定するまで、プリントはできません。
- オプションの専用カラードラム以外のカラードラムをセットすると、
【ドラムが違います 正しいドラムをセットしてください。】と表示されます。
指示にしたがって、オプションの専用カラードラムをセットしてください。

使用済み消耗品の回収・廃棄について

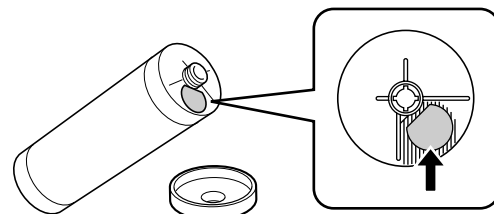
■ インクボトル

使用済みのインクボトルの回収システムがあります。詳しくはお買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にお問い合わせください。廃棄する場合は、各自治体の規制に従ってください。

分別の必要があるときは、以下を参考にしてください。

インクボトル口の金属を含むシールを、矢印部分からはがして分別してください。

インクボトルの口は、インクで汚れていることがありますので、手や衣服などを汚さないように注意してください。



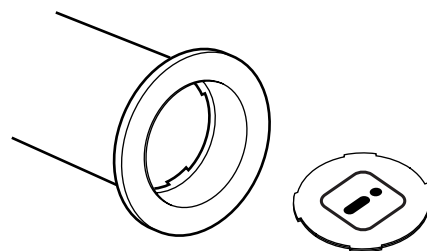
部品名	材質
インクボトル・キャップ	プラスチック(ポリプロピレン・ポリエチレン)
シール	金属を含むプラスチック
インク	大豆油・石油系炭化水素・水・顔料

■ マスター芯

使用済みのマスター芯は各自治体の規制に従って廃棄してください。分別の必要があるときは、以下を参考にしてください。

❶が型押しされている部分の裏面に金属を含むシールが付いています。

ミシン目から切り取り、分別してください。



部品名	材質
芯	紙
マスター	プラスチック・和紙
❶を切り取った部分	金属を含むプラスチック・紙

■ 排版されたマスター

使用済みの排版されたマスターは各自治体の規制に従って廃棄してください。

部品名	材質(成分)
マスター	プラスチック・和紙
インク	大豆油・石油系炭化水素・水・顔料

参考

成分は炭素と水素の化合物ですので、完全燃焼すれば水と炭酸ガスになります。

お手入れについて

- 134 クリーナーについて
- 135 お手入れのしかた

クリーナーについて

本機をお手入れするときに使用していただきたいクリーナーを紹介します。
クリーナーを使用するときは、各クリーナーの注意書きをよく読んでから使用してください。

- ⚠ **注意**
- お手入れに使うクリーナーは事務機専用です。顔や手など人体に付いた汚れには使用しないでください。
 - クリーナーを使用後は必ず手を洗ってください。

■理想ステージクリーナー

エチルアルコールを含ませた不織布シートです。原稿台ガラスなどの汚れをきれいに落とせます(1箱20袋入)。



■理想サーマルヘッドクリーナー

ペンタイプの使いやすいクリーナーです。サーマルヘッドの発熱部にペン先をあて、なでるように拭き取るだけで汚れをきれいに落とせます。トルエン、キシレン類の溶剤は使用しておりません。



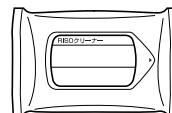
■リソグラフクリーナー

本体外装部の清掃に最適です。塗装面に直接スプレーし、柔らかい布や紙で拭き取ります。清掃後は汚れの付着を防止する効果もあります。



■RISOクリーナー(ティッシュタイプ)

本体外装部や原稿台ガラスなどの清掃にご使用いただける、ティッシュタイプのクリーナーです。



お手入れのしかた

製版ユニットのサーマルヘッドや自動原稿送り装置(オプション)のスキャナーガラス、ホワイトローラーなどに、ほこりやゴミ、インク、修正液などが付くと、プリントの仕上がりが汚れたりかすれたりすることがあります。

次の方法で、定期的にお手入れすることをおすすめします。

⚠ 注意 記載されている以外の作業(調整や修理など)は行わないでください。
調整や修理は必ずお買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)に依頼してください。

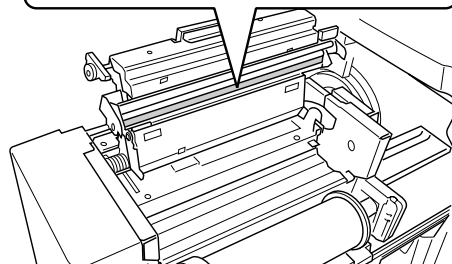
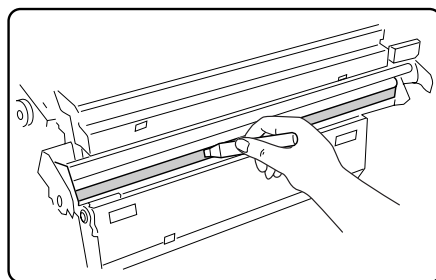
■サーマルヘッドのクリーニング

サーマルヘッドはマスター交換時(1ロールごと)にクリーニングしてください。

製版ユニットカバーを開けて、奥にあるサーマルヘッドを、理想サーマルヘッドクリーナーで数回軽くこすります。

重要

- サーマルヘッドは非常にデリケートな部分です。固いもので傷付けたり衝撃を与えたりすることは絶対におやめください。
- サーマルヘッドは静電気に弱い部分です。清掃する前に、必ず身体に帯電している静電気を除去してください。

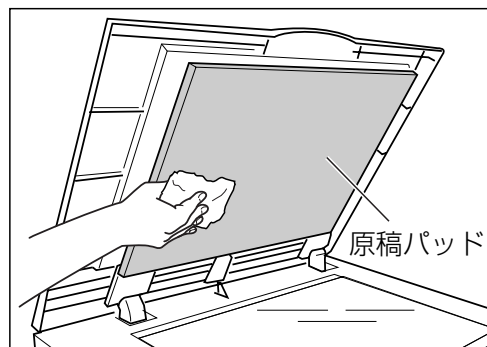
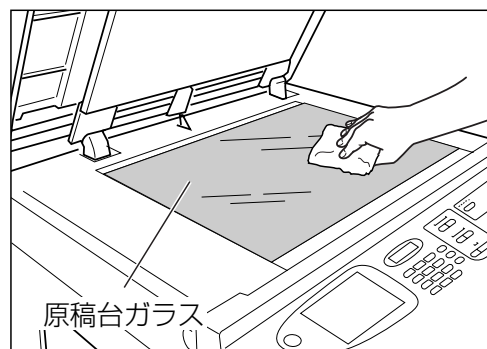


■原稿台ガラスと原稿パッド

原稿台ガラスや原稿パッドが汚れているときは、理想ステージクリーナーで数回軽く拭いてください。

重要

原稿台ガラスは非常にデリケートな部分です。固いもので傷付けたり衝撃を与えたりすることは絶対におやめください。



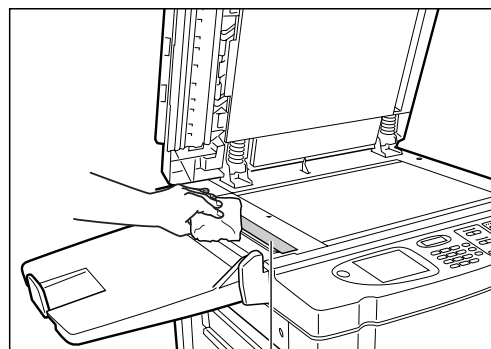
お手入れのしかた

■ 自動原稿送り装置(オプション)の スキャナーガラスとホワイト板

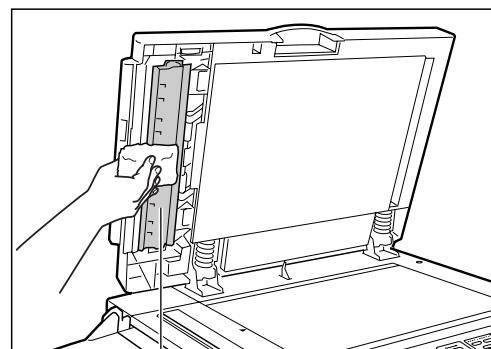
スキャナーガラスとホワイト板を、柔らかい布や
ティッシュペーパーで軽くこすり汚れを落とします。

重要

スキャナーガラスは非常にデリケートな部分です。
固いもので傷付けたり衝撃を与えたりすることは絶対
におやめください。



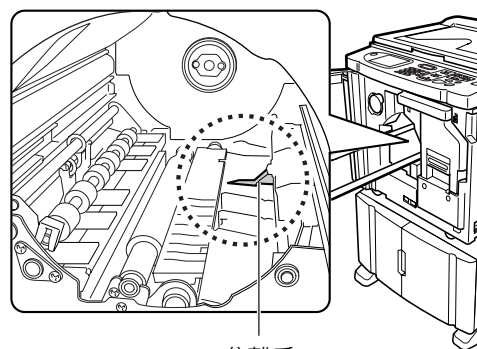
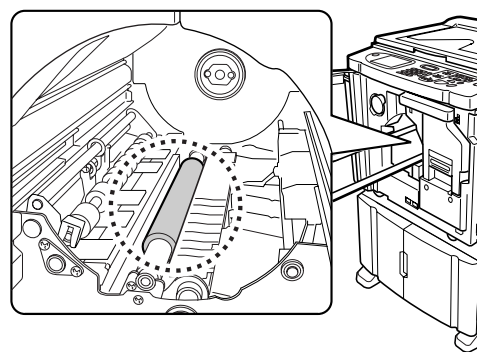
スキャナーガラス



ホワイト板

■ プレスローラー

ドラムユニットに用紙を圧着させるプレスローラーが汚れている
と、用紙の裏に帯状の汚れが付くことがあります。
理想ステージクリーナーで軽く拭いてください。



分離爪

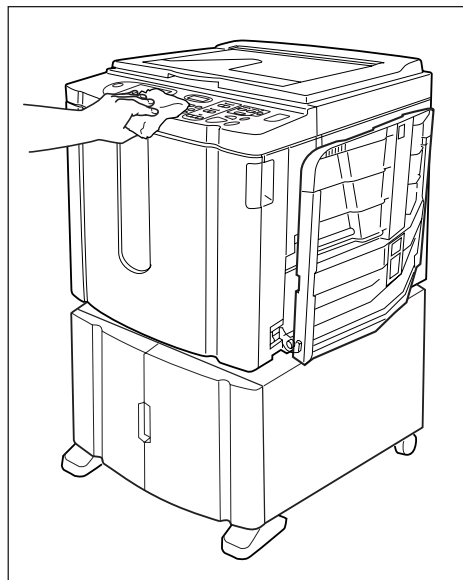
- ⚠ **注意**
- プレスローラーの清掃時には必ず本機の電源を切ってください。
 - 本体内部に手を入れるときは分離爪に触れないように注意してください。分離爪の先端は鋭利なため、けがの原因になることがあります。
 - ドラムユニットを外した本体内部にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないように注意してください。手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落とすようにしてください。

■ 外装部

本体にほこりなどが付くのを防ぐため、定期的に全体を柔らかい布で軽く拭いてください。
また、汚れ落としにはRISOクリーナーまたはリソグラフィクリーナーを使用してください。

重要

- 本体の外装にはプラスチックを使用しているのでアルコールや溶剤系の洗剤のご使用は絶対におやめください。
- ディスプレイ部の汚れは、通常、乾いた布で軽く拭き取ります。インクなどで汚れたときは、布などに少量のクリーナーを付けて軽く拭き取ってください。
ディスプレイに直接クリーナーを吹きかけたり塗布したりしないでください。
故障の原因になります。



こんなときには

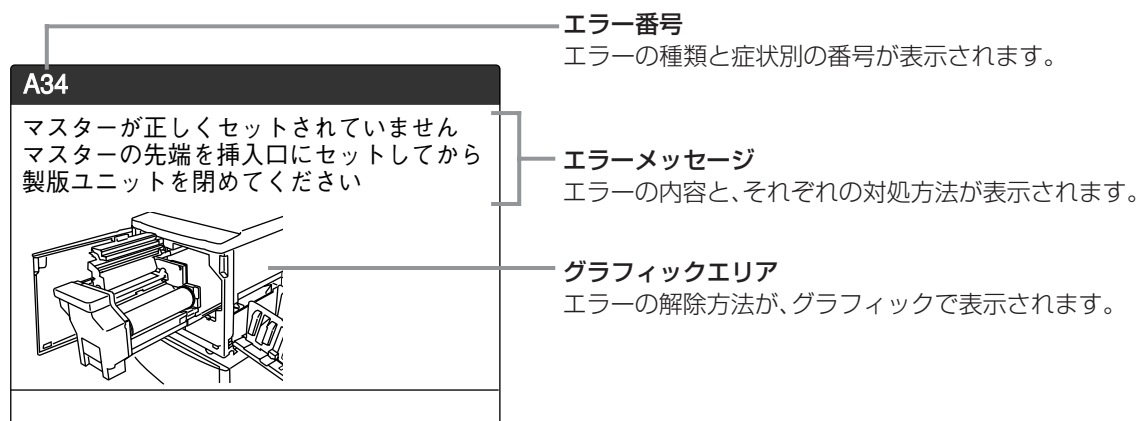
- 140 こんなメッセージが表示されたら
 - 140 エラーメッセージの見かた
 - 148 ワーニングメッセージ(ウインドウ表示)の見かた
 - 154 消耗品情報入力画面が表示されたら
- 157 「故障？」と思ったとき

こんなメッセージが表示されたら

ディスプレイにメッセージが表示され本機の動作が停止したときは、次の表から原因を確認し、対処してください。

エラーメッセージの見かた

エラーの種類に応じて、メッセージとエラーグラフィックで対処方法が表示されます。



エラー番号	エラーの種類	内 容	参照ページ
T00-000	サービスエラー	サービスマンによる点検・修理が必要なエラーです。 サービスエラーが発生したときには、エラー番号を販売会社 (または保守・サービス会社)に連絡してください。	☞ P.141
A00-000	ジャムエラー	マスターなどがつまったときに表示されます。	☞ P.141
B00-000	オプションエラー	接続しているオプション側でエラーが発生したときに表示され ます。	☞ P.143
C00-000	消耗品エラー	インク、マスターなどの消耗品がなくなったときに表示されます。	☞ P.144
D00-000	セット確認エラー	各部のセットが正しくされていないときに表示されます。	☞ P.144
J00-000	通紙ジャムエラー	原稿および用紙がつまったときに表示されます。	☞ P.146

■ T00-000: サービスエラー(50音順)

表 示	原 因	対 処
【電池交換が必要です サービス実施会社に連絡してください】	本機内部の電池が切れました。	お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)に連絡し、電池を交換してください。 ☛「アフターサービスについて」 エラーメッセージを消すには、  または  を押してください。
【トラブルが発生しました 電源を入れ直してください 復帰できない場合は、サービス実施会社に連絡してください】	トラブルが発生しました。	電源を入れなおしてください。 それでも復帰できない場合は、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。
【トラブルが発生しました リセットキーを押してください 復帰できない場合は、サービス実施会社に連絡してください】		 を押してください。 それでも復帰できない場合は、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。

■ A00-000: ジャムエラー(50音順)

表 示	原 因	対 処
【給紙台の安全スイッチが働きました 給紙台の用紙を再セットしてください】	給紙台の安全スイッチが働きました。	給紙台の下や用紙の上に障害物がないか確認してください。障害物があれば、取り除いてください。
【製版ユニットでトラブルが発生しました マスターをいったん取り出して 製版ユニットカバーを閉めてください】	マスターを切るカッターが正常に動作しませんでした。	製版ユニットを引き出し、マスターを取り出してください。 ☛ P.123「マスター交換のしかた」 製版ユニットカバーを閉めると、リセットされます。再度マスターをセットしてください。
【着版できませんでした ドラムを引き出して、 マスターを取り除いてください】	マスターがドラムに正しく巻き付けられませんでした。	①ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。 ☛ P.129「ドラムのセット(交換)」 ②ドラムをセットしなおしてください。 ③  を押してください。
【ドラムにマスターが残っています ドラムを引き出して、 マスターを取り除いてください】	ドラム上に不要なマスターが残っています。	①ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。 ☛ P.129「ドラムのセット(交換)」 ②ドラムをセットしなおしてください。
【排版できませんでした ドラムを引き出して、 マスターを取り除いてください】	マスターが排版されていません。	①ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。 ☛ P.129「ドラムのセット(交換)」 ②ドラムをセットしなおしてください。 ③  を押してください。
【排版部にマスターがつまりました 排版ボックスを取り出し、 つまったマスターを取り除いてください】	排版ユニット部にマスターがつまっています。	排版ボックスを取り出し、つまっているマスターを取り除いてください。 ☛ P.128「排版ボックスのマスターの処理」 それでもディスプレイのエラー表示が消えない場合は、お買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にご連絡ください。

こんなメッセージが表示されたら

表 示	原 因	対 処
【マスターが正しくセットされていません マスターの先端を挿入口に セットしてから、製版ユニットを 閉めてください】	マスターがセットされて いないか、正しくセット されていません。	製版ユニットを引き出し、マスターを正しく セットしてください。 ☛ P.123「マスター交換のしかた」  重要 巻き戻したマスターがしわになっ ていたり切れているときは、先端を まっすぐに切り取ってからセットして ください。
【マスターがつまりました 製版ユニットを引き出して マスターを巻き戻し、もう一度セット してください】	マスターが正しくセット されていません。	製版ユニットを引き出し、マスターを巻き戻し てセットしなおしてください。 ☛ P.123「マスター交換のしかた」

■ B00-000: オプションエラー(50音順)

表 示	原 因	対 処
【Prioaが認識できません Prioaが接続されていないか、 電源が入っていない可能性があります 確認してください】	連携機(Prioa)の電源が 入っていないか、ケー ブルが正しく接続されて いないか、断線している可 能性があります。	連携機(Prioa)の電源を確認してください。 ケーブルが正しく接続されているか確認して ください。接続に異常がない場合は、ケーブルに 異常がないか確認してください。
【Prioaでエラーが発生しています】	連携機(Prioa)でサービス コールエラーが発生して います。	連携機(Prioa)側を確認し、エラーを解除して ください。
【Prioaのトナーがありません】	連携機(Prioa)のトナーが ありません。	連携機(Prioa)のトナーを交換してください。
【Prioaへの出力中にエラーが 発生したため出力を中止しました ネットワークやPrioaの状態を 確認して再度出力してください】	連携機(Prioa)への印刷 データ送信に失敗しまし た。	連携機(Prioa)や本機のケーブルが、ハブなどに 正しく接続されていることを確認してくださ い。接続に異常がない場合は、サーバーやネット ワークの通信状態を確認し、サーバーやネット ワークの管理者に相談してください。
【STソーターのテープがつまりました つまっているテープを取り除いて ください】	STソーター(オプション) にテープがつまりました。	STソーターを確認し、つまっているテープを 取り除いてください。
【STソーターのテープがなくなりま した 新しいテープをセットしてください】	STソーター(オプション) のテープがなくなりまし た。	STソーターに新しいテープをセットしてくだ さい。
【STソーターの電源が入っていません 電源を入れてください】	STソーター(オプション) の電源が入っていません。	STソーターの電源を入れてください。
【カードカウンターのカードをセット してください】	カードカウンター(オプ ション)にカードがセット されていません。	カードカウンターにカードをセットしてくださ い。
【本機IPアドレスが設定されて いません 管理者に連絡してください】	本機のIPアドレスの設定 が完了していません。	システム管理者に連絡し、本機のIPアドレスを 設定してください。 ☛ P.92「初期設定を変更する／ 本機IPアドレス設定」

こんなメッセージが表示されたら

■ C00-000: 消耗品エラー(50音順)

表 示	原 因	対 処
【インクがなくなりました 新しいインクに交換してください】	インクがなくなっています。	新しいインクボトルに交換し、正しくセットしてください。 インクは専用のものをご使用ください。 ☛ P.126「インクボトル交換のしかた」 重要 交換後も表示が消えないときは、インクボトルが正しくセットされているか確認してください。
【排版ボックスがいっぱいになりました 排版ボックスのマスターを捨ててください】	排版ボックスがいっぱいになりました。	排版ボックス内のマスターを捨ててください。 ☛ P.128「排版ボックスのマスターの処理」
【マスターがなくなりました 新しいマスターに交換してください】	マスターがなくなっています。	新しいマスターをセットしてください。 マスターは専用のものをご使用ください。 ☛ P.123「マスター交換のしかた」
【用紙がなくなりました 用紙を補給してください】	給紙台の用紙がなくなっています。	給紙台に用紙をセットしてください。 ☛ P.26「給紙台と用紙のセット」

■ D00-000: セット確認エラー(50音順)

表 示	原 因	対 処
【インクボトルが違います 正しいボトルをセットしてください】	違うインクボトルがセットされています。	正しいインクボトルをセットしてください。 ☛ P.126「インクボトル交換のしかた」 重要 インクボトルは本機専用のものをご使用ください。他のインクをご使用になりますと、故障やトラブルの原因になります。
	インクボトル口面のシールがはがれているか、汚れています。	インクボトル口面のシールには印刷に必要な情報が入っています。情報が読み取れないと、本機は稼動しません。 シールが貼ってあり、かつ汚れていない本機専用のインクボトルをセットしてください。
【インクボトルをセットしてください】	インクボトルがセットされていないか、または正しくセットされていません。	インクボトルを正しくセットしてください。 ☛ P.126「インクボトル交換のしかた」
【製版ユニットカバーを閉めてください】	製版ユニットカバーが開いているか、または正しくセットされていません。	製版ユニットを引き出して確認し、製版ユニットカバーをしっかりと閉じてください。
【製版ユニットが引き出せます】	製版ユニットが引き出せる状態になっています。	製版ユニットを引き出してください。
【製版ユニットをセットしてください】	製版ユニットがセットされていないか、または正しくセットされていません。	製版ユニットを正しくセットしてください。 ☛ P.123「マスター交換のしかた」

表 示	原 因	対 処
【ドラムが正しくセットされていません ドラムOKボタンを押し、 ボタンが点灯してから ドラムをいったん引き出してください】	ドラムが奥までセットされていない状態でロックされています。	ドラムOKボタンを押し、ボタンが点灯してからドラムを引き出して、セットしなおしてください。
【ドラムが違います 正しいドラムをセットしてください】	違うドラムがセットされています。	正しいドラムをセットしてください。 ☛ P.129「ドラムのセット(交換)」 重要 ドラムは本機専用のものをご使用ください。他のドラムをご使用になりますと、故障やトラブルの原因になります。
【ドラムが引き出せます】	ドラムが引き出せる状態になっています。	ドラムを引き出してください。
【ドラムをセットしてください】	ドラムがセットされていないか、または正しくセットされていません。	ドラムを正しくセットしてください。 ☛ P.129「ドラムのセット(交換)」
【排版ボックスをセットしてください】	排版ボックスがセットされていないか、または正しくセットされていません。	排版ボックスを正しくセットしてください。 ☛ P.128「排版ボックスのマスターの処理」
【本体リアカバーが外れています サービス実施会社に連絡してください】	本体リアカバーが外れています。	お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。
【前カバーを閉めてください】	本機前カバーが開いているか、または正しくセットされていません。	前カバー下のマグネットを確認して、しっかりと閉じてください。
【マスターが違います 正しいマスターをセットしてください】	違うマスターがセットされています。	正しいマスターをセットしてください。 ☛ P.123「マスター交換のしかた」 重要 マスターは本機専用のものをご使用ください。他のマスターをご使用になりますと、故障やトラブルの原因になります。
	マスター芯の ① マーク部がないか、切れたり傾いた状態になっています。	マスター芯の ① マーク部には、プリントに必要な情報が入っています。 情報が読み取れないと、本機は稼動しません。 ① マーク部があり、かつ切れたり傾いた状態になっていない本機専用のマスターをセットしてください。
【マスターをセットしてください】	マスターがセットされていません。	マスターをセットしてください。 ☛ P.123「マスター交換のしかた」

こんなメッセージが表示されたら

■ J00-000: 通紙ジャムエラー

本体内部や自動原稿送り装置(オプション)に、原稿および用紙が詰まったときに表示されます。

通紙ジャムの発生箇所を、グラフィック上の点滅表示(①~④)でお知らせします。エラーが発生したときには、以下の該当する欄(①~④)を参照し、それぞれに対処してください。

参考

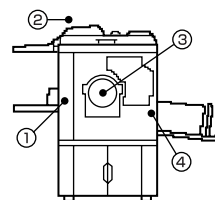
通紙ジャムを防ぐために、印刷に適した用紙を使用してください。また、自動原稿送り装置に原稿をセットするときは、適切な原稿を使用してください。

☛ P.12「印刷用紙に関する注意」

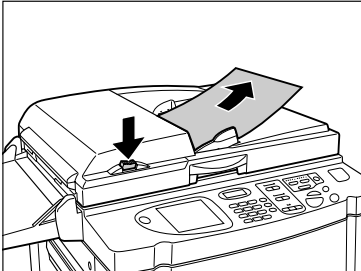
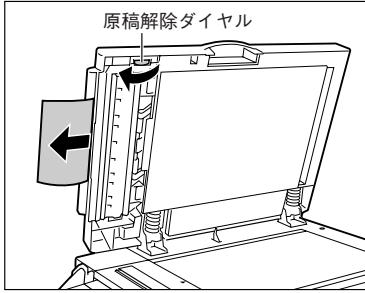
☛ P.12「原稿に関する注意」

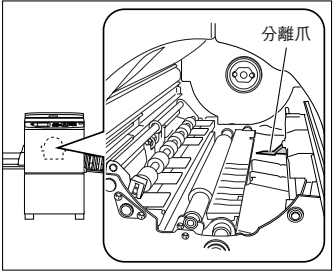
J08

用紙が詰まりました
給紙側を確認してください



確認

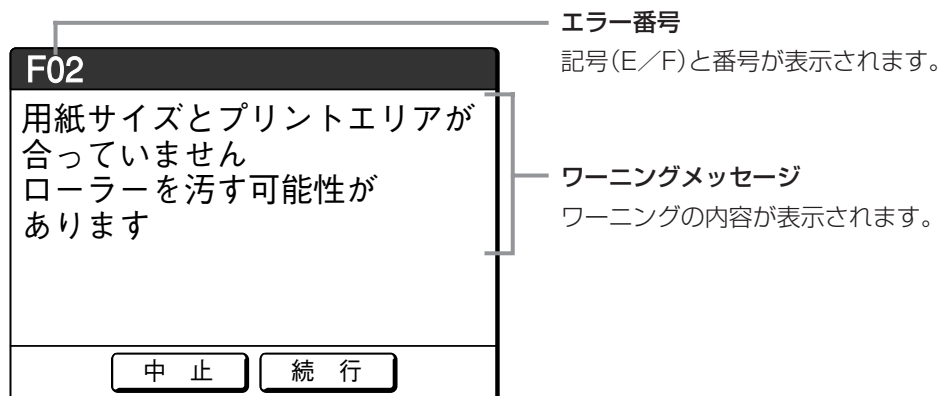
点滅箇所／表示	原因	対処
①	給紙側に用紙が詰まりました。	① 給紙側を確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。 ② 用紙をセットしなおしてください。 ③ 表示が消えないときは、 を押してください。 特殊な用紙の場合は、給紙圧調節レバーを紙質に合わせて調節してください。 ☛ P.26「給紙台と用紙のセット」
②	自動原稿送り装置(オプション)に原稿が詰まりました。	原稿の挿入口方向に取り出すとき 原稿解除ボタンを押しながら原稿を引き出してください。  原稿の排出方向に取り出すとき 原稿台カバーを上げ、自動原稿送り装置の下にある原稿解除ダイヤルをまわしながら原稿を引き出してください。 

点滅箇所／表示	原因	対処
③	ドラム周辺に用紙が詰まりました。	① ドラムを引き出してください。 ● P.129「ドラムのセット(交換)」 ② 詰まっている用紙を取り除いてください。 ⚠ 注意 本体内部に手を入れて用紙を取り除く際には、分離爪に触れないように注意してください。分離爪の先端は鋭利になっているので、けがの原因になることがあります。 
④	正常に排紙できませんでした。	排紙側に詰まっている用紙がないか確認し、詰まっている場合は取り除いてください。特殊な用紙の場合は、排紙フェンスの紙揃えプレートを調節してください。 ● P.28「排紙台のセット」

こんなメッセージが表示されたら

ワーニングメッセージ(ウインドウ表示)の見かた

各種のワーニングメッセージが、専用のウインドウ上に表示されます。
内容によって、続行が可能なものと、対処するまで続行が不可能なものがあります。



エラー番号	エラーの種類	内 容	参照ページ
E00-000	サービスコール	サービスマンによる電池交換や定期点検が必要なときに表示されます。	☞ P.149
F00-000	ワーニングメッセージ	操作パネルでの設定と、本機あるいは連携機の状態が適合せず、プリントできないときに表示されます。	☞ P.149

■ E00-000: サービスコール(50音順)

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【定期点検の時期がきました サービス実施会社に連絡してください】	(原因) メンテナンスの時期がきたことをお知らせしています。 (対処) お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。 ☛「アフターサービスについて」	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【電池交換が必要です サービス実施会社に連絡してください】	(原因) 本機内部の電池が切れかかっています。 (対処) お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)に連絡し、電池を交換してください。 ☛「アフターサービスについて」	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)

■ F00-000: ワーニングメッセージ(50音順)

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【「A4→ハガキ」変倍とAFIは 併用できません 原稿台ガラスを使用してください】	(原因) 「A4→ハガキ」変倍設定時に、自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットしています。 (対処) 原稿を原稿台ガラスにセットしてください。	原稿を自動原稿送り装置から取り出すと、ワーニングメッセージは消去されます。 ● プリントを続行するとき 自動原稿送り装置から原稿を取り出し、原稿台ガラスにセットする ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても中止できます。)
【Prioaの情報を取得中です しばらくお待ちください】	(原因) 本機のシステムが、連携機(Prioa)の情報を取得している状態です。この間は、RLPモードでのプリントはできません。 (対処) 連携機(Prioa)の情報取得が終了してから、プリントを開始してください。 または、本機からプリントしてください。	 にタッチすると、ワーニングメッセージを消去して、元の画面に戻ります。 ● 本機でプリントするとき  または  を押す ● 連携機から出力するとき システム情報の取得が終了するまでお待ちください。(数分かかる場合があります。)

こんなメッセージが表示されたら

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【RISORINC-NETを起動中です しばらくお待ちください】	(原因) RISORINC-NETが起動 しています。 (対処) しばらくお待ちください。 または、本機からプリント してください。	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【印刷枚数が0枚のときは 本機で製版します】	(原因) 連携機(Prioα)接続時の 「自動振り分け枚数」を「有 効」に設定しているとき に、印刷枚数0枚でプリン トしようとした。 (対処) 印刷枚数を入力してくだ さい。 ☛ P.94「初期設定を変更 する／自動振分枚数」	● 本機でプリントするとき  にタッチする ( を押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【回転ソートに必要な用紙が セットされていません 同じサイズの用紙を 別々のトレイに 縦向きと横向きにセットし てください】	(原因) 「回転ソート」を行うた めに適切なサイズの用紙が、 用紙トレイにセットされ ていませんでした。 (対処) 適切なサイズの用紙を、連 携機(Prioα)の別々のトレ イに「縦置き」と「横置き」 にセットしてください。	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【原稿データと印刷用紙の サイズが合っていない 印刷用紙のサイズを 確認してください】	(原因) パソコンから送信された 原稿データと印刷用紙の サイズが合っていない。 (対処) 印刷用紙のサイズを確認 し、必要に応じてサイズを 変更してください。	● プリントを続行するとき  にタッチする ( を押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【原稿を検知できません 原稿を再セットしてください】	(原因) 原稿を検知できませんで した。または、原稿がセッ トされていません。 (対処) 原稿をセットしなおして ください。	原稿をセットしなおすと、ワーニングメッセ ージは消去されます。 ● プリントを続行するとき  にタッチする ( を押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても解除できます。)

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【現在セットされている用紙では 連写できません 適切な定型用紙をセットして ください】	(原因) 給紙台に不定形の用紙が セットされているため、連 写機能が使えません。 (対処) 給紙台に定形用紙をセッ トしてください。	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【ご使用のインクの 在庫を確認の上 必要であれば 発注をお願いします インク色:】	(原因) ご購入されたインクやマ スターの在庫数が「在庫 確認数」より少なくなりま した。 ☛ P.93「初期設定を変更 する／サブライ在庫 管理」 (対処) 必要があればインクや マスターを発注してくだ さい。	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【ご使用のマスターの 在庫を確認の上 必要であれば 発注をお願いします】	(原因) ご購入されたインクやマ スターの在庫数が「在庫 確認数」より少なくなりま した。 ☛ P.93「初期設定を変更 する／サブライ在庫 管理」 (対処) 必要があればインクや マスターを発注してくだ さい。	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【最低印刷枚数が設定されていま すnn枚以上入力してください】	(原因) 「最低印刷枚数」で設定さ れている印刷枚数未満の 枚数でプリントしようと しています。 (対処) 印刷枚数を変更する、また は「環境設定」の「最低印刷 枚数」設定を変更してくだ さい。 ☛ P.93「初期設定を変更 する／最低印刷枚数」	 にタッチして、印刷枚数をメッセージで 表示している枚数以上に指定しなおす
【自動振分できません 選択中のPrioaにエラーが発生 しているか、電源が入っていな い可能性があります】	(原因) 「自動振分枚数」の設定が 「有効」で、印刷枚数入力に よりRLPモードに切り換 わったときに、現在選択し ている連携機(Prioa)にエ ラーが発生しています。 (対処) 連携機(Prioa)のエラーを 解除してから、再度プリン トを行ってください。 または、別の連携機に切り 換えてプリントするか、本 機からプリントしてくだ さい。 ☛ P.94「初期設定を変更 する／自動振分枚数」	● 製版画面に戻るとき  にタッチする ( または  を押しても戻ることができ ます。) ● 利用可能な別の連携機に切り換えるとき  にタッチして「RLP切替」画面で 他の連携機を選択する (他に利用可能な連携機がない場合は、  は表示されません。) ☛ P.113「複数の連携機をネットワーク接 続しているとき」

こんなメッセージが表示されたら

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【選択したドラム種類は無効です ドラムを交換するか、 ドラムの種類を選択しなおして ください】	(原因) ドラム交換後の「ドラム種類 の確認」画面で、挿入し たドラムと異なる種類を 選択しました。 (対処) 挿入したドラムと同じ種 類を選択してください。 または、ドラムを交換して ください。 ☛ P.129「ドラムの セット(交換)」	● 設定を変更するとき 「ドラム種類の確認」画面で、挿入した ドラムと同じ種類を選択して 確定 に タッチする ● ドラムをセットしなおすとき 挿入したドラムを引き出し、希望する種類の ドラムをセットする ドラムをセットしなおすと、ワーニングメッ セージは解除されます。
【ドラムにマスターがついて いません 製版を行ってください】	(原因) ドラムにマスターが付い ていない状態で印刷しよ うとしています。 (対処) 原稿をセットして、製版を 行ってください。	閉じる にタッチする 重要 ドラムにマスターがついていない状態 で放置するとドラムが乾いて故障の 原因となります。必ず、製版または 「機密」を行ってマスターを巻きつけて ください。
【ドラムの種類が変更されました 挿入したドラムの種類を 選択してください】	(原因) ドラム交換時に、前回と異 なる種類のドラムを挿入 しました。 (対処) 挿入したドラムと同じ種 類を選択してください。 または、前回と同じ種類の ドラムと交換してください。 ☛ P.129「ドラムの セット(交換)」	● 設定を変更するとき 「ドラム種類の確認」画面で、挿入した ドラムと同じ種類を選択して 確定 に タッチする ● ドラムをセットしなおすとき 挿入したドラムを引き出し、前回と同じ種類 のドラムをセットする ドラムをセットしなおすと、ワーニングメッ セージは解除されます。
【中綴じできるサイズ用の紙が セットされていません】	(原因) RLPモードで「中綴じ」を 「ON」に設定して スタート を 押したときに、連携機 (Prioa)の用紙トレイに適 切なサイズ用の紙がセッ トされていませんでした。 (対処) 連携機のトレイに、以下の いずれかの用紙をセッ トしてください： A3、A4(縦)、Ledger、 Letter(縦)	閉じる にタッチする (スタート) または (リセット) を押しても解除できます。)

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【パソコンからのジョブを処理しています ジョブ処理中は RLPモードは使用できません】	(原因) パソコンから指示された原稿データの受信中です。ジョブの処理中は、RLPモードでのプリントは行えません。 (対処) ジョブの受信・出力が終了してから、プリントを再試行するか、本機から出力してください。	● 本機で出力するとき [閉じる] にタッチし、その後、製版または印刷を行う ● RLPモードでの出力が必要なとき ジョブの処理が完了した後、再試行する
【ブックモードとAFは併用できません 原稿台ガラスを使用してください】	(原因) ブックモード設定時に、自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットしています。 (対処) 原稿を原稿台ガラスにセットしてください。 ● P.55「雑誌や本をプリントする」	[閉じる] にタッチする (または を押しても解除できます。)
【用紙サイズとプリントエリアが合っていない ローラーを汚す可能性があります】	(原因) 製版サイズより小さい印刷用紙で印刷しようとしています。 (対処) 正しいサイズの印刷用紙をセットしてください。	● 本機でプリントするとき [続行] にタッチする (または を押してもプリントできません。) ● プリントを中止するとき [中止] にタッチする (または を押しても中止できます。)
【用紙サイズとプリントエリアが合っていない ローラーを汚す可能性があります (続行は試し刷りキー)】	(原因) 製版サイズより小さい印刷用紙で印刷しようとしています。 (対処) 正しいサイズの印刷用紙をセットしてください。	● 本機でプリントするとき を押す ● プリントを中止するとき [中止] にタッチする (または を押しても中止できます。)

こんなメッセージが表示されたら

消耗品情報入力画面が表示されたら

本機は、最適なプリント状態を保つために、消耗品から情報(マッチング情報)を得ています。マッチング情報が適切に取得できなかった場合は、消耗品情報入力画面が表示されますので、適切な設定値を入力してください。

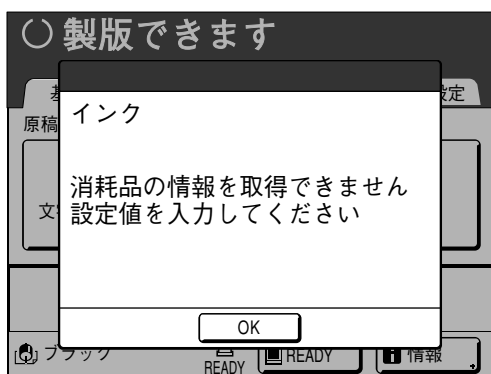
このとき、**情報** ボタンの **情報** アイコンはグレー表示されます。

☛ P122「**情報** (情報ボタン)について」

参考

- 入力した設定値が不適切でも通常動作には問題ありませんが、プリントの仕上がりが悪くなる場合があります。
- 次のような操作を行った場合消耗品情報入力ウィザード]画面で設定した情報が消失するため、再度、消耗品情報の入力が必要となります。
 - ・ 電源スイッチを「OFF」にして、再度「ON」したとき
 - ・ スリープ状態になった後、**電源** を押したとき

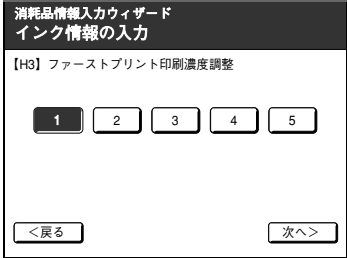
■ インク情報入力画面が表示された場合



インクのマッチング情報が適切に取得できなかった場合に表示されます。

OK にタッチしてから、以下の表を参考に、項目を設定してください。

画面表示	設定内容	設定値
	【H1】インク色設定 現在使用しているドラムと同じ色を選択します。	1:黒 2:カラー
	【H2】印刷濃度微調整 インクに合わせて、適正な印刷濃度になるように、微調整を行います。	1(薄い)～5(濃い)

画面表示	設定内容	設定値
	【H3】ファーストプリント印刷濃度調整 インクに合わせて、ファーストプリントの印刷濃度の調整を行います。 「【H2】印刷濃度微調整」とは、独立して調整できます。	1 (薄い)～ 5 (濃い)

消耗品情報入力ウィザード
インク情報の入力

以下の入力内容でよろしいですか？
設定値を確認して、スタートキーを押してください

項目	設定値
【H1】インク色設定	1
【H2】印刷濃度微調整	1
【H3】ファーストプリント印刷濃度調整	1

<戻る

設定が終了すると、確認画面が表示されます。
設定値を確認し、 を押してください。
基本画面に戻ります。

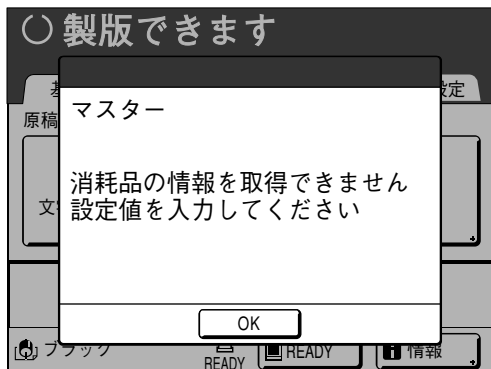
参考

マスター情報入力画面が表示された場合は、引き続き適切な設定値を入力してください。

☛ P156「マスター情報入力画面が表示された場合」

こんなメッセージが表示されたら

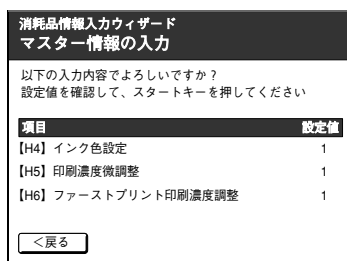
■ マスター情報入力画面が表示された場合



マスターのマッチング情報が適切に取得できなかった場合に
表示されます。

OK にタッチしてから、以下の表を参考に、項目を設定
してください。

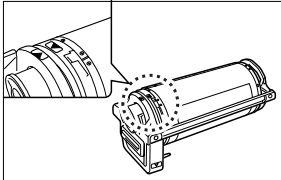
画面表示	設定内容	設定値
	【H4】製版濃度設定 マスター製版時における基準濃度の設定 を行います。	1 (薄い)～ 10 (濃い)
	【H5】印刷濃度微調整 マスターに合わせて、適正な印刷濃度にな るように、微調整を行います。	1 (薄い)～ 5 (濃い)
	【H6】ファーストプリント印刷濃度調整 マスターに合わせて、ファーストプリン トの印刷濃度の調整を行います。 「【H5】印刷濃度微調整」とは、独立して調 整できます。	1 (薄い)～ 5 (濃い)



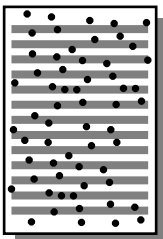
設定が終了すると、確認画面が表示されます。
設定値を確認し、 を押してください。
基本画面に戻ります。

「故障？」と思ったとき

「故障かな？」と思ったときには、サービスマンに連絡をする前に、次の表から原因を確認し対処してください。

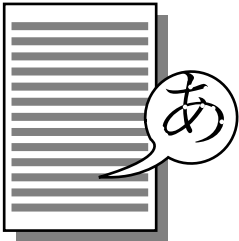
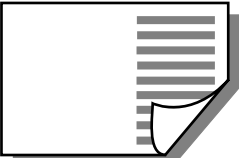
状 況	原 因	対 処
電源を入れても起動しない	スリープ状態(節電モード)を電源「OFF」と誤解して、電源スイッチを押していませんか？	もう一度、電源スイッチを押してください。 電源スイッチを押す前に、操作パネルの⑨を確認してください。⑨が点灯しているときはスリープ状態です。⑨を押すとスリープが解除され、操作が可能な状態になります。
	電気は通じていますか？	● 電源コードが本機とコンセントに確実に接続されているか確認してください。 ● 商用電源のブレーカーが落ちていないか確認してください。
前カバーが閉まっているのに、エラーメッセージが消えない	前カバーは完全に閉まっていますか？	前カバー下のマグネットが付くように、完全に閉めてください。
給紙台が閉まらない	給紙フェンスは左右いっぱいに広がっていますか？	電源を入れて、給紙台を最下部まで下げてください。その後、給紙フェンスロックレバーを< >にして、給紙フェンスを左右いっぱいに広げてから給紙台を閉じてください。 ☞ P.26「給紙台と用紙のセット」
	給紙台が最下部まで下がりきる前に電源を「OFF」にしていませんか？	
ドラムが入らない	正しい停止位置にドラムを回転させていますか？	手動でドラムを回転させたときは、作業後必ず▶マークと◀マークが向かい合う位置までドラムを戻してください。 
	ドラムをレールに正しくセットしていますか？	ドラムを正しくセットしてください。 ☞ P.130「ドラムのセットのしかた」
消耗品(インク、マスター)をセットしたのにエラーメッセージが消えない	消耗品(インク、マスター)を正しくセットしていますか？	インクボトルを差し込んで、右方向(🔒)に回し、ロックしてください。 または、セットしなおしてください。 ☞ P.126「インクボトル交換のしかた」
		マスター芯の❶マークがある方を左にしてセットしてください。 ☞ P.123「マスター交換のしかた」
	消耗品情報のないインクボトルをセットしていませんか？	インクボトル口の部分に貼ってあるシールは、はがさないでください。 はがしてしまった場合は、新しいインクボトルをセットしてください。 ☞ P.126「インクボトル交換のしかた」
	消耗品情報のないマスターをセットしていませんか？	マスター芯の❶マークは切り取らないでください。切り取ってしまった場合は、新しいマスターをセットしてください。 ☞ P.123「マスター交換のしかた」

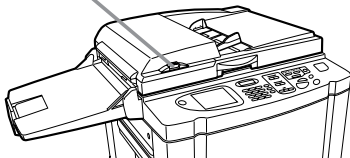
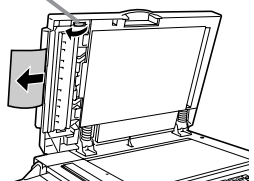
「故障？」と思ったとき

状 況	原 因	対 処
出てきた用紙が真っ白で何も印刷されていない	原稿面の表裏を逆にしてセットしていませんか？	原稿面を下にしてセットしてください。
	マスターの表裏を逆にしてセットしていませんか？	マスターの表裏を確認してセットしてください。 ☛ P.123「マスター交換のしかた」
プリントの一部が欠けてしまう 	原稿台ガラスや自動原稿送り装置(オプション)のスクャナーガラスが汚れていませんか？	原稿台ガラスやスクャナーガラスを柔らかい布などで拭いてください。 拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想ステージクリーナーの使用をおすすめします。 ☛ P.135「お手入れのしかた」
	マスターに何か付いていませんか？	ドラムを引き出して、マスターに何か付いているときは取り除いてください。 マスターとドラムの間に異物が挟まっているときは、マスターをはがし異物を取り除いてください。その後、ドラムをセットし、製版しなおしてください。
	● 製版時に、給紙台にセットされている用紙サイズと原稿サイズが合っていますか？ ● 製版時に、給紙台の給紙フェンスが用紙にぴったりと合っていますか？	給紙台に原稿サイズと同じサイズの用紙をセットしてから製版を行ってください。 製版サイズは給紙台に載せている用紙のサイズ(給紙フェンスの幅と用紙の長さ)で決定しています。製版時、原稿サイズよりも小さいサイズの用紙を給紙台にセットしていると、原稿全体を製版することができません。
プリントされた用紙に白い縦線が入る 	製版ユニット部のサーマルヘッドや自動原稿送り装置(オプション)のスクャナーガラスに、ちりや修正液などが付いていませんか？	サーマルヘッドやスクャナーガラスを柔らかい布などで軽く拭いてください。 サーマルヘッドを拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想サーマルヘッドクリーナーの使用をおすすめします。 ☛ P.135「お手入れのしかた」
プリントされた用紙に地汚れが出る 	新聞など、地色のある原稿を使用していませんか？	「読取濃度」を薄くして製版しなおしてください。 ☛ P.43「原稿の読取濃度を 選択する」

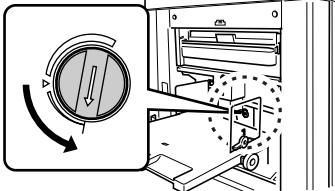
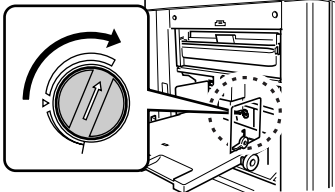
状 況	原 因	対 処
プリントされた用紙に汚れが印刷される	原稿台ガラスや自動原稿送り装置（オプション）のスキナーガラスが汚れていませんか？	原稿台ガラスやスキナーガラスを柔らかい布などで拭いてください。 拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想ステージクリーナーの使用をおすすめします。 ☛ P.135「お手入れのしかた」
プリントされた用紙の縁（フチ）がインクで汚れる	製版時、原稿よりも大きなサイズの用紙を給紙台にセットしていませんか？	原稿と同じサイズの用紙を給紙台にセットして製版しなおしてください。原稿よりも大きなサイズを読み取って製版するときに、原稿台カバーがしっかり閉じていないと原稿の縁が影として製版されます。 または、下記で紹介しているセロハンテープを貼る方法で対処してください。
	「フルサイズ製版」していませんか？	
	はがきなど厚い用紙を印刷しているとき、用紙の角がマスターにあたってマスターを傷付けていませんか？	
用紙の裏がインクで汚れる	プレスローラーがインクで汚れていませんか？	ドラムを取り外して、プレスローラーを柔らかい布などで拭いてください。拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想ステージクリーナーのご使用をおすすめします。 ☛ P.135「お手入れのしかた」 また、印刷位置が用紙からはみ出ると、ゴムローラーを汚す原因となります。「印刷位置調整」で印刷位置が用紙におさまるようにしてください。
	給紙フェンスは用紙の幅に合っていますか？	給紙フェンスを用紙の幅に合わせてください。 給紙フェンスが用紙幅に合っていないと、用紙サイズより余分に製版してしまうことがあります。 ☛ P.26「給紙台と用紙のセット」
	インクの乾きが悪い用紙を使っていますか？	インクが乾く前に次の用紙が排紙されて、裏移りしています。 用紙を変えるが「省インク」「インターバル印刷」をお試しください。 ☛ P.50「インクを節約する」 ☛ P.63「裏移りを防ぐ」

「故障？」と思ったとき

状 況	原 因	対 処
プリントが薄い 文字がかすれる 	本機を使用しない状態が長時間続いた後に、プリントしていませんか？	本機を長時間使用しないと、ドラム表面のインクが乾きます。この状態でプリントすると、印刷物が薄くなったり、かすれることがあります。  を押して、何枚か印刷してから使用してください。「アイドリング」機能をご利用になると便利です。  P.85「アイドリングをする」
	原稿自体が薄くありませんか？	「読取濃度」を濃くして製版しなおしてください。  P.43「原稿の読取濃度を選択する」 えんぴつ書き原稿のときは「原稿モード」で「えんぴつ」を設定してください。  P.42「原稿に適したモードを選択する」
	本機の使用環境またはインクの保管場所の温度が低温(15℃以下)ではありませんか？	常温の場所にしばらく置いてから使用してください。  P.9「使用環境について」
	「省インク」を設定していませんか？	「省インク」を設定すると、印刷の仕上がりが通常よりも薄くなります。  P.50「インクを節約する」
連写されずに片面が何も印刷されない 	ブザーが鳴って[次の原稿をセットし、スタートキーを押してください]と表示されている間に原稿をセットしましたか？	「連写」でプリントすると、連写待ち時間にブザーが鳴ります。その間に原稿をセットしてください。 原稿台ガラスに原稿をセットしていて、ブザーが鳴らずに2枚目の原稿が読み込まれてしまうときは「環境設定」で「多原稿連写待ち時間」の設定を変更してください。  P.92「初期設定を変更する／連写待ち時間」
	原稿読み込み中に  を押しませんでしたか？	原稿読み込み中に  を押すと、作業を中止します。すべての原稿が読み込まれるまで、  を押さないでください。
「ブックモード」でセンター消去の位置がずれる	給紙台に不定形用紙をセットしていませんか？	定形サイズの内紙をセットしてください。不定形の印刷用紙は「ブックモード」で使用できません。
	不定形サイズの本や雑誌を原稿台ガラスにセットしていませんか？	とじ部分が、印刷する用紙のセンターにくるようにして、本や雑誌を原稿台ガラスの上へセットしてください。
	原稿サイズと「ブックモード」の「原稿サイズ」で指定しているサイズが合っていますか？	原稿と同じサイズに「ブックモード」の「原稿サイズ」を設定しなおしてください。  P.55「雑誌や本をプリントする」
左右の印刷位置がずれている	左右位置調整がセンターになっていますか？	給紙台を下げてから位置を調整し、試し刷りで確認してください。  P.60「印刷位置を調整する」

状 況	原 因	対 処
用紙がドラムに巻き付いてしまう	原稿上部または印刷物上部の余白は十分に取っていますか？	原稿上部(印刷物の排紙方向先端)には5mm以上の余白が必要です。印刷の天地位置を下げて印刷してください。印刷位置が下げられないときは、原稿の余白を取って製版しなおしてください。 ☛ P.44「原稿を拡大／縮小する」
	印刷用紙は適切ですか？	推奨範囲の用紙を使用してください。 ☛ P.12「印刷用紙に関する注意」
	原稿上部に大きなベタ面がありませんか？	原稿上部に大きいベタ面があると、排紙されにくくなります。原稿のセット方向を逆にして、製版しなおしてください。
用紙が丸まって排紙される	排紙方向が横目(紙の繊維の流れ)になる印刷用紙をセットしていませんか？	印刷用紙は、排紙方向が縦目(紙の繊維の流れ)になる印刷用紙をセットしてください。
自動原稿送り装置(オプション)に用紙がつまる	自動原稿送り装置内部に用紙が引き込まれていませんか？	原稿解除ボタンを押すか、原稿解除ダイヤルを回して、引き込まれている用紙を取り除いてください。 原稿解除ボタン  原稿解除ダイヤル 
排紙台に用紙がきれいに揃わない	排紙フェンス、ストッパーの位置は適切ですか？	排紙フェンスとストッパーは用紙サイズに合わせてください。厚い用紙のときは少し広めにセットしてください。 また、給紙台で左右位置調整をしているときは、排紙フェンスも同じ方向にずらしてセットしてください。 ☛ P.28「排紙台のセット」
	紙揃えプレートを適切にセットしていますか？	紙揃えプレートを適切にセットしてください。 ☛ P.28「排紙台のセット」
給紙台から用紙がうまく送られない (空送または重送する)	印刷用紙は適切ですか？	推奨範囲の用紙を使用してください。 ☛ P.12「印刷用紙に関する注意」
	給紙圧調節レバーの位置は適切ですか？	厚紙や滑りやすい用紙のときは、給紙圧調節レバーを「厚紙」にセットしてください。 ☛ P.26「給紙台と用紙のセット」

「故障？」と思ったとき

状 況	原 因	対 処
給紙台から用紙がうまく送られない (空送または重送する)	サバキ板角度は適切ですか？	状況に応じてサバキ板角度調節ダイヤルを回して、サバキ板角度を調節してください。 ■ 用紙が空送するとき ダイヤルを左に回してください。  ■ 用紙が重送するとき ダイヤルを右に回してください。  重要 調節を行うときは、必ず給紙台から用紙を取り除き、給紙台が最下部まで完全に下がっていることを確認してから行ってください。
	機能一覧の「特殊給紙調整」は正しく設定されていますか？	「特殊給紙調整」を調整してください。調整方法につきましては、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。
プリントされたカードの裏がめくれたり、先端にしわができる	サバキ板角度は適切ですか？	サバキ板角度調節ダイヤルを回して、サバキ板角度を調節してください。
紙がつまっていないのにエラーメッセージが表示される	舞い上がった紙が、ドラム2回転目に出てきていませんか？	印刷物を確認し、上部に余白が5mm以上ないときは印刷位置を少し下げてください。
	日光が本機に直接あたっていませんか？	日光が本機に直接あたると、センサーが誤検知することがあります。 カーテンなどで光を遮るか、日光が直接あたらない場所に本機を移動してください。
パソコンから原稿データを送信したとき、原稿データが複数ページであるにもかかわらず、1ページごとに製版を繰り返す	プリンタドライバの設定で「部単位で印刷」を選択していませんか？	現在のデータのジョブを削除し「部単位での印刷」のチェックをはずしてから、原稿データを送信しなおしてください。 ☛ P.36「パソコンデータをプリントする」の手順3 ☛ P.39「出力指示の変更」

状 況	原 因	対 処
パソコンから原稿データを送信したが本機がデータを受信しない。	ディスプレイに[環境設定]画面が表示されていませんか？	 にタッチして[環境設定]画面から基本画面に切り替えてください。
 が点滅している	受信データが出力待ちの状態ではありませんか？	 を押して印刷してください。

付録

- 166 消耗品について
- 167 オプションについて
- 168 仕様
- 170 索引

消耗品について

本機で使用できる消耗品は次のとおりです。

■ 専用消耗品

マスター、インクなどの消耗品は、下記の当社指定の本機専用消耗品を使用してください。
不適切な消耗品の使用は故障やトラブルの原因となりますのでおやめください。

種 類	RZ570	RZ530
マスター	RISOマスターZタイプ77 RISOマスターZタイプ37 (1ロール220版 相当)	RISOマスターZタイプ73 RISOマスターZタイプ33 (1ロール250版 相当)
インク	RISOインクZタイプ(各色)	

色の種類については、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

■ 理想用紙

種 類	サイズ	単 位	特 長
厚口(S) 厚口 薄口	A3 B4 A4 B5	1包500枚	厳しい選定基準をパスした用紙です。紙さばきが不要で、給紙および排紙のトラブルが少ないのが特長です。一般の複写機にも使用できます。また、厚口(S)は裏抜け、細字の再現性平滑度を向上させたハイクレイドな用紙です。

■ 理想環境用紙

種 類	サイズ	単 位	特 長
100※1 70 70WHITE UP	A3 B4 A4 B5	1包500枚	環境保全と資源保護、また紙ゴミの処理対策をふまえ、天然資源の再利用をめざして開発された中性紙です。100は古紙含有率が100%、70シリーズは古紙含有率が70%のリサイクルペーパー(再生紙)です。
クリーム ピンク ライトブルー ライトグリーン ライトベージュ ライトパープル オレンジ クリアブルー※2 キャメル※2 さくら色 若草色 レモン色			古紙含有率が30%のリサイクルペーパー(再生紙 64.0g/m ²)の色用紙です。

※1 100:理想環境用紙100には特厚(S)81.4g/m²、厚口(s)68.0g/m²、厚口64.0g/m²があります

※2 クリアブルー: B4、A4のみ/キャメル: A3、B4、A4のみ

参考

- 仕様、種類は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 価格については、本体お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

オプションについて

本機をより便利に使用するために、さまざまなオプションを用意しています。
お求めの際はお買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)へお問い合わせください。

■ 自動原稿送り装置

最大約50枚までの原稿を自動的に送ることができます。

■ カラードラム

ドラムを交換するだけで簡単に多色刷りができます。(専用ケース付き)

■ A4／レター横ドラム(RZ570のみ)

A4／レターサイズ横方向通紙専用のドラムです。(専用ケース付き)

■ カードカウンター

一定期間ごとやカードごとにプリント枚数の集計やマスター使用枚数などがワンタッチで確認でき、コスト管理に便利です。また、部門ごとのプリント枚数やマスター使用枚数の記録を取ることができます。

■ STソーター

プログラム機能との併用で、自動的にグループごとにテープを差し込み、印刷物の仕分けが簡単に行えます。

■ 架台

■ RISO PRINTER Network Interface Card RISORINC-NET

本機をネットワークに接続するためのオプションです。
各パソコンから印刷機の状態を確認できるモニタリングソフトウェア(RISO-MONITOR)が付いています。

■ 厚紙サバキユニット

ハガキや封筒などを給紙するためのユニットです。

■ サプライキーパー

インクやマスターを収納する組み立て式のラックです。

仕様

製版方式	高速デジタル製版
製版時間	約20秒(A4縦等倍時)
印刷方式	全自動孔版印刷
原稿の種類	ブック(10kg以下)／シート
原稿紙質*1	50～110g/m ² (43～94.6kg連量:四六判)紙
原稿サイズ	最大297mm×420mm 最小50mm×90mm:名刺サイズ(自動原稿送り装置使用時 90mm×140mm)
用紙紙質	46～210g/m ² (40～180kg連量:四六判)紙
用紙サイズ	最大297mm×420mm(長尺モード使用時297mm×555mm) 最小100mm×148mm
印刷面積	RZ570:最大291mm×413mm RZ530:最大251mm×357mm
給紙台積載枚数	1,000枚*2
排紙揃え方式	ドミノ排紙方式
印刷速度	60～130枚／分(5段階可変)
印刷位置調整	天地(上下)±15mm 左右:±10mm
原稿モード	文字／写真／文字写真／えんぴつ
印刷倍率	ズーム(50～200%)、等倍、拡大4段階(163%、141%、122%、116%)、 縮小4段階(87%、82%、71%、61%)、周囲余白率縮小(90～99%)
操作	対話式大型液晶パネル
各種機能	●アイドリング ●印刷濃度調節 ●AFオート製版(オプションの自動原稿送り装置を装着時のみ) ●用紙サイズ検知 ●連写(かんたん／2原稿) ●メモリー登録 ●省エネモード(オートスリープ、オートシャットOFF) ●RPL出力*3 ●フルサイズ製版 ●用紙サイズ ●自動原稿送り装置(オプション) ●印刷位置調整 ●原稿読取濃度調節(マニュアル／オート) ●再製版 ●環境設定 ●連続 ●試し刷り ●占有延長 ●印刷速度調節 ●網点(2種類) ●プログラム印刷(2種類) ●RISO i Quality System ●機密 ●自動振り分け機能*3 ●省インク ●インターバル印刷 ●ダイレクトプリント ●ブックモード ●特殊給紙調整
カラーチェンジ	カートリッジ式ドラム変換
インク供給	全自動(1,000ml／本)
マスター給・排版	全自動(RZ570:220版／ロール相当、RZ530:250版／ロール相当)
マスター排版方式	水平排版方式
電源容量	AC100V、50/60Hz、3.4A以上
定格消費電力	250W (RZ570:製版時130W／印刷時250W) (RZ530:製版時115W／印刷時250W)
本体サイズ	使用時:1,380(幅)×645(奥行)×1,050*4(高さ)mm 収納時:775(幅)×645(奥行)×1,050*4(高さ)mm
質量*5	約103kg

付属品	保証書1部 取扱説明書一式 使用許諾契約書1部 [RISO Printer Driver]ソフトウェアCD-ROM一式 理想ステージクリーナー1袋 電源コード1本 取説ケース1個		
専用架台	RISO架台Nタイプ	650(幅)×630(奥行)×390(高さ)mm	約18kg
	RZ架台Dタイプ	635(幅)×645(奥行)×390(高さ)mm	約19kg
	RZドラム収納架台	635(幅)×645(奥行)×390(高さ)mm	約36kg
オプション	自動原稿送り装置 カラードラム A4/レター横ドラム(RZ570のみ) カードカウンター STソーター 架台 RISO Printer Network Interface Card RISORINC-NET 厚紙サバキユニット サプライキーパー		

- *1 自動原稿送り装置使用時
- *2 64g/m²(55kg連量:四六判)紙使用時、積載高さ110mm以下
- *3 連携機(Prio)登録時のみ
- *4 専用架台含む
- *5 質量には、インク、マスターおよび架台は含みません。

おことわり

- 機械の改良、変更等により、本書の図版や記載事項とお客様の機械が、一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 製品の仕様や種類は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

索引

本書で使用されている名称や用語をアルファベット順／50音順で記載しています。

英数字

✳ キー 16、68、76
+キー 16、68
×キー 16、68
1原稿プログラム 66、68
2原稿連写 51、54
2面取り 51
A4／レター横ドラム 167
AF オート製版 89
C キー 16、33、46、54、69、89
i情報 20、122
POP 20、97
RISOクリーナー 134
RLP基本画面 19
RLPモード機能 106
RISO Printer Driver 10
ST ソーター 67、167

五十音順

あ

アースの接続 7
アイドリング 85
網点 49
安全上のご注意 7
インク 8、126、132
インク情報入力 154
インクキャップ留め 15、127
インクボトル 15、126、132
印刷位置調整 17、60
印刷キー 17
印刷基本画面 19
印刷工程 23
印刷速度 17、58
印刷速度調節キー 17、58
印刷速度ランプ 17、58
印刷に関する注意 13
印刷濃度 17、59
印刷濃度調節キー 17、59
印刷濃度ランプ 17、59
印刷前ストップ 35、37、40
印刷用紙
 注意 12
 変更 27
インターバル印刷 63
ウェイクアップキー 17
裏移り 63
エラーメッセージ 140
オートアイドリング 33、85、93
オートシャットOFF 93
オートスリープ 93
お気に入り画面 19、97
押し出しレバー 128
お手入れ
 原稿台ガラス 135
 原稿パッド 135
 自動原稿送り装置
 スキャナーガラス 136
 自動原稿送り装置
 ホワイト板 136
 サーマルヘッド 135
 プレスローラー 136
 外装部 137
オプション 167

オプションエラー 140、143
 オプションエリア 21
温度範囲 9

か

カードカウンター 167
カウンター 15
拡大(変倍)
 固定変倍 44、45
 ズーム変倍 44、46
各部の名称とはたらき 14
架台 167
紙原稿
 基本画面 19
 プリント 30
紙揃えプレートノブ 15、29
カラードラム 129、167
環境設定 91
かんたん連写 51、54
機能一覧 2
機能一覧画面 19
基本画面 19
基本機能エリア 20
機密 86
給紙圧調節レバー 14、27
給紙台
 下降ボタン 14、27
 セットのしかた 26
 閉じかた 27
給紙フェンス 14、26
グループ 66
クリーナー 134
警告 7
原稿解除ダイヤル 161
原稿解除ボタン 14、161
原稿ストッパー 14
原稿セットフェンス 14、31
原稿台カバー 14
原稿台ガラス 13、14、31、52、
 53、81、135
原稿の余白 12
原稿排出トレイ 14
原稿パッド 14、135

原稿モード 42
原稿読取濃度 43
故障 157
固定変倍 44、45
こんなときには 139

さ

サービスエラー 140、141
サービスコールエラー 148、149
サーマルヘッド 135
再製版 21、87
左右位置調整ダイヤル 14、61
湿度範囲 9
自動原稿送り装置
 AF オート製版 89
 各部の名称 14
 セットのしかた 31
自動振分 32、106
次ページ 21、39
写真(原稿モード) 42
シャットOFF 時刻 93
ジャムエラー 140、141
周囲余白
 固定変倍 44、45
 周囲余白縮小率 92
 ズーム変倍 44、46
出力指示の変更 39
仕様 168
省インク 50
省エネモード設定 93
消去
 1 原稿／多原稿
 プログラム 73
 メモリー 82
 用紙サイズ登録 104
消耗品 166
消耗品の残量確認 122
消耗品エラー 140、144
消耗品の交換 121
消耗品の回収・廃棄 132
初期画面 18

初期設定
 設定可能な項目一覧 91
 変更 95
ジョブ 21
ジョブ削除 39
ジョブ情報表示 21
ジョブ操作ボタンエリア 21
ズーム変倍 44、46
スタートキー 17
スタビライザー 15
ステータスエリア 21
ストッパー 15、28、29
ストップキー 17
製版キー 17
製版基本画面 19
製版工程 23
製版前ストップ 35、37、40
製版ユニット 15、123
製版ユニットOKボタン 15、123
製版ユニットカバー 15、124
製版ユニットカバーレバー 124
製版ユニットレバー 15、123
設置上の注意 9
設置場所 7
設定確認画面 77、80、82
セット確認エラー 140、144
センターランプ 60
占有延長時間 84、93
専有面積 9
専用消耗品 166
操作パターン表示 6
操作パネル
 左側部分 16
 右側部分 17
速度(印刷速度) 58
その他の機能 65

た

ダイレクトプリント 35
ダイレクトプリントの
 停止タイミング 35
多原稿プログラム 66、69
タブエリア 20、21
試し刷り 23、33、62

試し刷りキー 17、62
長尺モード 103
長尺用紙 103
通紙ジャムエラー 140、146
注意 7
停止タイミング 35、40
ディスプレイ
 位置 14、16
 表示と画面の移り変わり 18
 ボタン 20
テープ仕分け 67
展開 20
テンキー 16、33
電源スイッチ 15、26
電池交換 141、149
天地(上下)位置調整 60
登録
 1 原稿／多原稿
 プログラム 70
 メモリー 77
 用紙サイズ登録 101
ドラム
 OK ボタン 15、129
 位置 15
 交換 129
 コネクタ 130
 セット 130
 取り出し 129
ドラムレバー 15、129
取り扱い 8

な

日時設定 93
濃度(印刷濃度) 59

は

排紙ウイング 15、64
排紙ウイング特殊 64
排紙台
 位置 15
 セット 28
 閉じかた 29
排紙フェンス 15、28、29

索引

排版ボックス

位置 14

使用済みのマスター処理 128

排版ボックスレバー 128

パソコンデータ

基本画面 21

プリント 35

ブックモード 55

不定形の用紙 101

フランチ 125

プリント

紙原稿のプリント 30

流れ 22

パソコンデータのプリント 35

メモリーによるプリント 80

フルサイズ製版 88

プレスローラー 136

付録 165

プログラム

1 原稿プログラム 66、68

消去 73

多原稿プログラム 66、69

名称入力 71

設定 68

登録 70

呼び出し 74

プログラムキー 16

プログレスバー 17

文中の表記について 6

分離爪 136、147

変更(内容／名称)

1 原稿／多原稿

プログラム 71

初期設定 95

メモリー 78

用紙サイズ登録 101

変倍

固定変倍 44、45

周囲余白 44、45

ズーム変倍 44、46

変倍率

固定変倍 45

奉書 103

ま

枚数カウンター 16、62

前カバー 15

マスター

交換 123

再製版 87

使用済みのマスター処理 128

専用消耗品 166

マスターガイド 15、125

マスター情報入力 156

マスター芯 124、132

マスターロールストッパー 15、124

名称変更

1 原稿／多原稿

プログラム 71

メモリー 78

用紙サイズ登録 101

名称入力画面 72

メッセージ

エラーメッセージ 140

ワーニングメッセージ 148

メモリー

消去 82

登録 77

呼び出し 80

名称入力 78

モードキー 18

モード選択画面 18

文字(原稿モード) 42

文字・写真(原稿モード) 42

や

用紙サイズ 47、111

用紙サイズ登録

消去 104

登録 101

内容／名称変更 101

呼び出し

1 原稿／多原稿

プログラム 74

メモリー 80

読取濃度 43

ら

リセットキー 17

理想環境用紙 166

理想サーマルヘッドクリーナー

134

理想ステージクリーナー 134

理想用紙 166

リソグラフィクリーナー 134

両面印刷 118

連携機

オプション機能 114

準備 107

設定可能な項目一覧 115

連携機情報の設定一覧 107

連写 51

連写待ち時間 52

連続 35、48

連続キー 17

連続モード 21、35、40

連続ランプ 48

わ

ワーニングメッセージ 148